

院内がん登録 2012年10年生存率集計

がん診療連携拠点病院等/小児がん拠点/拠点外病院

令和7(2025)年2月
国立研究開発法人 国立がん研究センター
がん対策研究所 がん登録センター

院内がん登録 2012 年 10 年生存率集計の公表について

国立がん研究センターでは、がん対策研究所・がん登録センターを中心に、これまで全国がん登録及び院内がん登録の標準化や体制整備に努めて参りました。院内がん登録は、2007 年診断例から全国のがん診療連携拠点病院のデータを収集し、院内がん登録全国集計として我が国のがん診療の実態を把握する資料となるよう、毎年、全国集計報告書を公表しています。院内がん情報をもとにした生存率集計としては 10 年生存率、5 年生存率、そして科学的根拠に基づく情報をより迅速に提供するためにより早い段階での生存率として、3 年生存率を公表して参りました。

本報告書では、長期予後の報告書として、全国 501 施設から 2012 年診断例の 10 年予後情報付院内がん情報を提供していただき、生存状況把握割合が 90%以上であった 361 施設のデータを用いて集計しました。

2012 年診断例は、2007～2011 年診断例と同様に、院内がん登録が開始されてから間もない時期であるため、データの精度に関しては一定の限界があり、全国のがん診療連携拠点病院等を代表する数値として捉えることができない点にご留意ください。本集計報告書ががん医療の実態を把握する一つの参考資料としてご活用いただけますと幸いです。

令和 7 年 2 月
国立研究開発法人国立がん研究センター 理事長

中釜 斉

生存率について

がん医療を評価する重要な一つの指標として、生存率がある。伝統的に、診断後あるいは治療後 5 年経過した時の生存率が治癒の目安とされており、がん(部位)によっては 10 年生存率が治癒の目安とされることもある。この報告書では、がん診療連携拠点病院 2012 年全国集計の結果を踏まえて、2012 年に診断された例の 10 年生存率を集計した。

信頼性の高い生存率を算定するためには、患者の生存確認を行うことが重要であるため、自施設への来院情報だけにたよらずに、患者の生存状況を把握する生存確認調査(いわゆる予後調査)が必須となる。この生存状況の把握が不十分な場合には真の値よりも高い生存率となることが知られている。また、生存率は生存状況把握割合以外にも生存率を算出した対象集団の基礎疾患の頻度や年齢分布などの偏りなどによっても大きな影響が出る。このように生存率の結果の解釈には様々な要因が影響することに留意する必要がある。

1) 生存状況把握割合の意味

生存率の算出において、先行研究における試算では、生存状況把握割合によって院内のデータのみを使って計算した場合、5 年相対生存率が真の値よりも 10~15% 高く推定されてしまうことがあるとの報告がある。そのため、わが国で先行して施設別生存率の公表をしてきた全国がんセンター協議会の集計方法¹⁾を踏まえて、生存状況把握割合が 90%以上であることを基準として、この基準を全がんにおいて達成した施設のデータのみを集計の対象とした。この生存状況把握割合は国際的には 95%以上が望ましいとされており、わが国の院内がん登録でもより高い把握割合をめざすべきであると考えられる。

2) 生存率の種類

生存率には、その算出の仕方によって大きく「実測生存率」、「疾病特異的生存率」、「相対生存率」、「ネット・サバイバル(Net Survival)」に分けられる。

「実測生存率」は、死因に関係なく、全ての死亡を計算に含めた生存率で、診断例に対する～年後の生存患者の割合で示される。計算方法は複数存在するが、Kaplan-Meier 法が頻用され、医療機関の公表する生存率は Kaplan-Meier 法による実測生存率であることが多い。本報告においても、実測生存率については Kaplan-Meier 法を用いて計算している。

一方で、がんによる生存への影響を把握したいときには、「疾病特異的生存率」、「相対生存率」、「ネット・サバイバル(Net Survival)」が用いられる。「疾病特異的生存率」は、実測生存率で計算される対象にはがん以外の死因による死亡も死亡の中に含まれるため、がん以外の死因による死亡を、「打ち切り」として計算している。この疾病特異的生存率を正確に推定するためには、がんが死因でないかどうかを判定できなければならない。そのため原死因を用いて判定するか、それ以外の死因も含めて判定するかで結果が変わってくる。現在の日本の現状において、この死因の把握はかなり困難である。

これに対し「相対生存率」は、実測生存率を対象と同じ性・年齢、診断年(歴年)の一般の日本人集団で「がんではなかった場合の生存率」という考えによる期待生存率を算出し、それを実際の生存率で割って算出する方法である。疾患特異的生存率のように個々の死因を把握する必要がないため、国際的によく用いられている。

この期待生存率の算出方法の違いから、Ederer I 法、Ederer II 法、Hakulinen 法などがこれまでに開発されてきた。

3) ネット・サバイバル(Net Survival)について

相対生存率は一般的な方法の 1 つではあるが、生存率の高いがん種において理論上 100%以上になることが生じるなど課題も多い。そこで、期待生存率を算出することなく純粋に「がんのみが死因となる状況」を仮定して計算する純生存率(Net Survival、Pohar-Perme 法)が開発された。この方法は国際的にも広く採用されている方法であり、本報告書においても相対生存率に代わりネット・サバイバルを採用している。

4) 生存率をどう解釈するか

本集計による生存率は、既存の地域がん登録や全国がんセンター協議会の集計結果に比べても、より広汎な集計データといえるが、それでも拠点病院と一部の拠点外病院に限ったデータであることに留意する必要がある。なお、本報告書では、生存率に影響を与えることが想定される情報で、かつ院内がん登録としてデータ収集されている情報として、①性、②年齢、③病期(がんの進行状況)、④観血的治療の有無(手術されたか、されなかったか)などを参考資料として併記して示している。

1) 全国がんセンター協議会調査などでは、消息判明率と呼ばれてきたが、本報告書ではこの呼び方で表記する。

参考資料

がん登録実務者のためのマニュアル 生存率解析 味木和喜子

2001 年 9 月、大阪府立成人病センター調査部

がん専門施設における生存率計測の標準化 木下洋子他、

癌の臨床 第 46 巻第 10 号、2000 年 9 月、篠原出版新社

目次

院内がん登録 2012 年 10 年生存率集計の公表について.....	2
生存率について.....	3
I 2012 年 10 年生存率集計 調査方法.....	5
1. 収集の対象と方法.....	5
(1) 収集の対象.....	5
(2) 収集方法.....	5
(3) 収集項目と定義.....	5
2. 集計の対象と集計方法.....	6
(1) 集計の対象.....	6
(2) 集計の手順.....	6
(3) 集計項目の定義.....	7
(4) 集計方法.....	8
(5) 公表の対象.....	8
II 2012 年 10 年生存率集計 結果概要.....	13
1. 調査参加施設と登録数.....	13
2. 集計対象.....	13
3. 生存率集計対象者.....	13
III 2012 年 10 年生存率集計 結果詳細(全体) :悪性新生物<腫瘍>.....	24
1. 全がん.....	24
2. 胃がん(胃癌).....	27
3. 大腸がん(大腸癌)・結腸がん(結腸癌)・直腸がん(直腸癌).....	29
4. 肝細胞がん(肝細胞癌)・肝内胆管がん(肝内胆管癌).....	35
5. 小細胞肺癌(小細胞肺癌)・非小細胞肺癌(非小細胞肺癌).....	39
6. 女性乳がん(女性乳癌).....	43
7. 食道がん(食道癌).....	44
8. 膵臓がん(膵臓癌).....	46
9. 子宮頸がん(子宮頸癌).....	48
10. 子宮体がん(子宮体癌).....	49
11. 前立腺がん(前立腺癌).....	50
12. 膀胱がん(膀胱癌).....	51
13. 喉頭がん(喉頭癌).....	53
14. 胆嚢がん(胆嚢癌).....	55
15. 腎がん(腎癌).....	57
16. 腎盂尿管がん(腎盂尿管癌).....	59
17. 甲状腺がん(甲状腺癌).....	61
18. 女性卵巣がん(女性卵巣癌).....	66
IV 特別集計 サバイバー生存率.....	69

付表 1 2012 年 10 年生存率集計対象施設一覧

I 2012 年 10 年生存率集計 調査方法

1. 収集の対象と方法

(1) 収集の対象

本集計では、2012 年診断例について院内がん登録全国集計(0 年集計)にデータを提出した拠点病院および拠点外病院の合計 652 施設に調査を依頼した。

データ収集に当たっては、院内がん登録 2012 年診断例の通年データを持ち、死亡日、最終生存確認日、生存期間等の生存状況情報を含めたデータ提出が可能と考えられる上記の調査依頼施設に、「予後情報付集計」の名称で、2012 年 10 年予後情報付登録情報の提供を依頼した。調査対象例は、2012 年 1 月 1 日から 12 月 31 日までの 1 年間に、自施設で診断または他施設で既に診断されて自施設に初診した、全悪性新生物(がん)及び頭蓋内の良性及び良悪性不詳の腫瘍の登録患者*である。これら対象例の 10 年予後情報付の登録情報(以下「予後情報付腫瘍データ」という。)の提供を各施設に依頼した。なお、各施設における登録対象患者は、下記の通りである。

* 各施設における登録患者について

各施設における登録対象は、登録を実施する自施設での新規の診断患者または他施設で診断された初診患者であり、初発例、再発例を含む。また、治療を行わない経過観察例も含まれる。セカンドオピニオンのみを目的とした初診に関しては登録対象とするかどうかは各施設の判断に任されている。1 腫瘍 1 登録の原則に基づき、同一患者に別のがん種と判断されるがんが同時または時間をあけて(異時性に)生じた場合には、多重がんとして登録される。なお、多重がんの判断は各施設に任されている。登録済みの同じがんについて当該施設で治療中に再発した患者については登録対象ではないが、同じ患者が同じがんで複数の病院を受診した場合は、異なる施設において同じ患者の同じがんが登録されている可能性がある。(本全集計では提供されたデータは匿名化後のデータであるため、重複の整理は行わない。)

(2) 収集方法

2024 年 5 月 15 日に、対象施設へ、「院内がん登録予後情報付集計 手順書」を送付し、手順書に従って作成されたデータの提供を依頼した。データは、エラーチェックのための品質管理ツールを用いインターネット(ネットワーク型)を通しての提出を依頼し、データ収集期間は、2024 年 7 月 8 日から 8 月 9 日までとした。

提出においては、「がん診療連携拠点病院院内がん登録標準登録様式登録項目とその定義 2006 年度版修正版」において定義された標準項目(以下「標準項目」という。)を満たす腫瘍データを収集した。項目の品質管理(定義通りの項目・区分で登録されているか、関連する項目間の登録内容に矛盾はないか等)については、ネットワーク型ではデータ收受の段階で品質管理を実施し、論理矛盾がない状態でデータ提供の協力を依頼した。なお、健総発第 0907001 号「がん診療連携拠点

病院で実施する院内がん登録における必須項目の標準登録様式に係る改正等」において定義された必須項目のみによるデータ提供については、データ精度管理上の問題から集計対象としなかった。

(3) 収集項目と定義

収集項目は、前述の診断から 10 年後の生存状況の情報を含む標準項目である。また、予後情報付腫瘍データの提出にあたり、下記の計算式に従って、追跡期間(日数)を計算し入力するよう依頼した。

* 追跡期間(日数)の計算方法

追跡期間(日数)とは、起算日から生存最終確認日もしくは死亡日までの日数とする。起算日は、後述する集計用診断日決定のルールに従って決定する。追跡終了日とは、予後調査結果が死亡であり死亡日があれば死亡日、生存の場合は生存最終確認日とする。

$$\text{追跡期間 (日)} = \text{追跡終了日} - \text{起算日} + 1$$

本集計に関連する項目について以下に記述する。その他の標準項目の定義は、2012 年全国集計報告書を参照いただきたい。

i. 診断区分

診断区分は、わが国の地域がん登録との整合性を図るために用いられている分類で、「1:初発(治療開始前)」、「2:治療開始後」に分けられる。この項目は当該腫瘍について自施設に受診する前に他施設において既に治療が開始されていたか否かを区別するもので、この項目が「1:初発(治療開始前)」であったケースでは、自施設で行われた治療は初回治療とみなす。本来であれば、一連の治療方針の下で施設を問わずに初回治療とされるべきであるが、わが国の現状では施設が異なると、一連の治療であるかないかが判明しないことが多く、そのため、他施設での治療の情報は、初回治療であっても「初回治療なし」とするルールを定めている。

ii. 症例区分

症例区分は生存率の算定等で対象となる患者範囲を決定する重要な区分である。院内がん登録の機能の一つには、各施設の対がん医療活動評価のための基礎資料を提供することにある。他施設と比較し自施設のがん診療実態を把握するためには、がん対象例を正しく識別する必要がある。この項目では、初回診断(登録施設での診断の有無)と初回治療(登録施設における初回治療の有無)の組み合わせにより患者を分類するための区分を登録している。本集計では、原則として「症例区分 2:診断ならびに初回治療に関する決定・施行がなされた症例」及び「症例区分 3:他施設で診断確定され、自施設で初回治療方針に関する決定・施行が行われた症例」を分析対象とする。また、施設によっては前述の診断区分のみを入力している施設もあり、本

集計では診断区分の組み合わせから症例区分を算出する対応表を用いて集計を行った。

iii. 臨床病期

治療前ステージ

UICC (Union for International Cancer Control) の定める病期の分類方法に基づき、何らかの治療が行われる以前につけられたステージを指す。わが国の一般的な臨床現場で使用される癌取扱い規約に基づくステージとは若干異なる部分がある。胃、乳房、肝臓、大腸、肺についてのみ、標準項目とされているが、他のがんについては任意の登録となっている。肝臓については、取扱い規約のステージも標準項目として登録することになっている。

前医で治療がなされており治療前のステージが不明の場合などは「不明」に分類されるか、空白のままに登録される。わが国の診療情報に関わる施設間の情報交換に関する懸念からこのような方針をとっている。

術後病理学的ステージ

手術が行われた患者に対して、術後に検体が提出され病理学的に算出されたステージを登録する。手術が行われなかった場合には空欄で、術前に化学療法や放射線療法、免疫・内分泌療法などが行われた場合には、手術前の治療の影響が予想されるため、術後病理学的ステージは適応外として登録される。定義上は、原発巣に対する切除術が行われ、断片が陰性であるような治癒的な切除が行われた場合に本ステージが評価できるとされている。術後病理学的ステージは、腫瘍やリンパ節を顕微鏡的に観察して得られるステージであることから、治療前ステージと比較して、治療開始時点でのがんの状態をより正確に表しているといえる。

なお、2012年登録対象はUICC TNM 第7版準拠で登録されている。

iv. 治療の有無

院内がん登録において登録される治療は、登録対象となったがんに対する初回治療である。初回治療とは治療開始時点で計画された一連の治療のことであり、症状・治療の進行に従って後に追加された治療などは含まれない。当初経過観察が計画されていたが、病状が悪化したために治療が行われた場合なども「初回治療なし」となる。また、症状緩和的な目的で行われた手術や放射線治療は、部分的に腫瘍に対する治療であるといえることから登録対象に対する治療の一環に考えるが、腫瘍に影響のない、鎮痛剤や制吐剤などの治療は、「治療あり」としない。

現時点の院内がん登録では、「i 診断区分」で既に述べたとおり、登録施設で行われた治療のみを「初回治療あり」としている。

① 手術・体腔鏡的治療

手術とは一般に外科的治療を指し、体腔鏡とは麻酔下に行われる腹腔鏡、胸腔鏡などの手術を指す。これらには、消化管や気管支内視鏡による治療を含めない。

② 内視鏡治療

上記で除外された、消化管、気管支内視鏡などによる治療を指す。

③ 放射線治療

原発巣に対する放射線治療だけではなく転移巣に対する放射線治療も含まれる。小線源療法も放射線治療として登録される。

④ 化学療法、免疫療法・BRM、内分泌療法

症状緩和のための薬物療法（鎮痛剤、制吐剤）などは含まない。また、通常の静注・経口化学療法だけではなく、肝動脈化学塞栓療法（TACE）に含まれる化学療法や動注療法も化学療法に分類される。内分泌療法には前立腺癌における除睾術等も含まれる。

⑤ 外科的・体腔鏡的・内視鏡的治療の結果

当該がんに対する外科・体腔鏡的・内視鏡的治療の根治度を登録する。ここでは、初回治療として行った総合的な結果を記載する。つまり、最初内視鏡的な治療を行ったが、その後外科的な追加切除が行われた場合は、外科的切除の根治度を登録する。

2. 集計の対象と集計方法

(1) 集計の対象

生存率集計における集計対象は、2012年に診断された例で次の i から iii を満たす例を集計対象とした。

i. 自施設診断・自施設治療と他施設診断・自施設治療例

「症例区分 2:診断ならびに初回治療に関する決定・施行がなされた症例」及び「症例区分 3:他施設で診断確定され、自施設で初回治療方針に関する決定・施行が行われた症例」を集計対象とした。

ii. 悪性新生物<腫瘍> (一部良性の脳腫瘍)

本集計では、原則として新生物<腫瘍>の性状コード3の「悪性、原発部位(悪性新生物<腫瘍>)」の例を集計対象とした。但し、脳・中枢神経系に発生した腫瘍性疾患については、良性、良性又は悪性の別不詳の例を含めて集計対象とした。

iii. 年齢

診断時の年齢が0から99歳までの例を集計対象とした。

(2) 集計の手順

① 集計対象例の選定

提出されたデータから上記の i から iii に該当する例を抽出した。

i 自施設診断・自施設治療と他施設診断・自施設治療例

集計対象施設から提供されたデータを、表 1-1 集計用診断日の決定のルール、及び表 1-2 集計用症例区分の決定のルールに基づいて、「項目:集計用診断日」、「項目:集計用症例区分」を作成した。その後、集計用症例区分が 2, 3 であった例を集計対象とした。

ii 悪性新生物<腫瘍> (一部良性の脳腫瘍)

原則として、「項目:330 組織診断名コード」の新生物

＜腫瘍＞の性状を表す第5桁コードが「3:悪性、原発部位」であった例を集計対象とした。ただし、一部の脳・中枢神経系に発生した腫瘍性疾患、ICD-O-3 の局在コードが「C70.0, C70.9, C71.0, C71.1, C71.2, C71.3, C71.4, C71.5, C71.6, C71.7, C71.8, C71.9, C72.2, C72.3, C72.4, C72.5, C72.8, C72.9, C75.1, C75.2, C75.3」の場合は、「0:良性」又は「1:良性又は悪性の別不詳」であった場合も集計対象に含めた。

iii 年齢

年齢は、生年月と集計用診断年月を用いて、院内がん登録全国集計と同様に下記の定義で求めた。

診断年月の月 ≥ 生年月日の月

⇒ 診断年月の年 - 生年

診断年月の月 < 生年月日の月

⇒ 診断年月の年 - 生年 - 1

上記で求めた年齢が 0～99 歳までの例を集計対象とした。

上記で選定した例から、下記の㉞～㉟に該当する場合は集計対象から除外した。

㉞ 性別不詳の場合

半陰陽や性同一性障害による戸籍性別の変更等のため、性別で特有の臓器に発生した腫瘍と戸籍上の性別が矛盾していないかを確認した上で、性別が不詳(項目:性別が 9)であった者を除外した。性別で特有の臓器に発生した腫瘍について矛盾があった場合は、臓器に基づいて性別を修正した上で集計した(例:前立腺と登録があった場合に性別が女性として登録されていたら、男性として集計)。

㉟ 追跡終了日の年月が不明の場合

追跡終了日は、「項目 660: 予後調査結果」が死亡であった場合は死亡日、生存であった場合は最終生存確認日となる。ただし、死亡例であっても死亡日の年または月が不明の場合は、打ち切り扱いとし、生存最終確認日を追跡終了日とした。追跡終了日の年あるいは月が不明であった場合は、集計対象から除外した。

㊲ UICC TNM 分類総合ステージが 0 期の場合

病期は、患者の予後を予測する上で重要である。院内がん登録では、UICC TNM 分類に基づく治療の選択と評価に不可欠である臨床分類(治療前ステージ)と、術後アジュバント療法の指針となり、予後推定や遠隔成績の計算のための追加情報を提供する術後病理学的分類ステージについて情報を収集している。本集計では、腫瘍切除例(外科的・体腔鏡的・内視鏡的治療の結果が、1:治癒切除、2:非治癒切除、3:治癒/非治癒の別不詳)については腫瘍の縮小を目的とした化学療法や放射線療法あるいは免疫・内分泌療法などを施行後の腫瘍切除例(術後病理学的ステージ適応外例)及び術後病理学的ステージが不詳であった例を除き、UICC TNM 分類術後病理学的ステージをより患者の治療前の病期を表すとして UICC TNM 分類総合ステージとして

用いた。腫瘍切除例以外は UICC TNM 分類治療前ステージを UICC TNM 分類総合ステージとして用いた。なお、本集計では総合ステージが 0 期であった場合は、集計対象から除外した。

㊳ 追跡期間(日数)の確認

追跡期間(日数)は正確な生存率を算出するために必須の項目である。2012 年診断例については、品質管理において、登録された追跡期間の確認を行っている。

㊴ 集計対象施設の選定

生存率の推定値は、生存状況把握割合に影響を受ける。10 年生存率を計算する場合には、対象者全員の 10 年後の生存状況を把握することが必要となる。これまで、全国がんセンター協議会は、加盟施設の生存率を公表してきた。その中で、がんの生存率は生存状況把握割合を 100%に近づけるほど、真の値に近づくときれ、概ね 95%以上の生存状況把握割合を維持する必要があるとされている。しかしながら、現在の院内がん登録における生存確認調査の実施においては、障害も多く、調査を実施しても生存状況が確認できず、生存状況把握割合が低い施設も存在する。また全国がんセンター協議会の生存率公表においても、改善が要するとされつつも生存状況把握割合が 90%を超えた場合に施設の生存率が公表されてきた。これらの経緯を踏まえ、本集計では前述の集計対象例の生存状況把握割合が 90%以上の施設を集計対象とした。具体的には、予後調査結果が生存であるが追跡期間(日数)が 10 年未満の打ち切り例が施設の生存率集計対象例の 10%未満である施設を集計対象施設とした。

生存状況把握割合 = (1 - 打ち切り例数 / 集計対象例数) × 100

(3) 集計項目の定義

● 部位区分

表 1-3 部位分類コード対応に基づき、作成した。

● 臨床病期

UICC TNM 分類総合ステージ

2012 年診断例では、UICC TNM 分類第 7 版に準拠して UICC TNM 分類の治療前及び術後病理学的ステージが登録されている。

本集計では、がん患者の予後に影響するステージとして、治療開始時点のがんの状態をより正確に表している術後病理学的ステージがある場合(適応外、不詳、空欄を除く)は術後病理学的ステージを、ない場合は治療前ステージを用いて、UICC TNM 分類総合ステージとして集計に用いた。なお、本集計では、各施設で登録されたステージの値を用いて集計をしており、登録されている TNM 情報からみてステージが UICC TNM 分類のステージと一致しない場合であってもデータに修正は加えていない。

局在コードは、原則として別途定める部位分類コードに基づく。肺は C34、肝細胞癌は C22.0、肝内胆管癌は C22.1 を対象とした。

また、各生存率の集計対象は、表 1-4 の部位・組織形態コードとする。

● 観血的治療

当該がんに対する外科・体腔鏡的・内視鏡的治療の根治度について、「項目 520:外科的・体腔鏡的・内視鏡的治療の結果」に登録することとなっている。登録の際には「1:原発巣-治癒切除」、「2:原発巣-非治癒切除」、「3:原発巣-治癒/非治癒の別不詳」、「4:姑息/対象治療、転移巣切除」、「8:その他」、「9:不詳」の中から一つを選択する。本集計では、観血的治療の有無、外科・体腔鏡的・内視鏡的治療の根治度別に生存率を集計した。

(4) 集計方法

前述のとおり選定された集計対象例・集計対象施設において、10年後の生存状況変数を作成し生存率を推定した。追跡期間(日数)が10年未満でかつ予後調査結果が死亡であった場合は、10年後の生存状況＝死亡(1)とした。

生存率は、Kaplan-Meier 法を用いた実測生存率と国立がん研究センターがん対策研究所がん登録センターにおいて作成されたコホート生存率表(2016年版)を用い、ネット・サバイバルを推定した。なお、本報告書では StataMP 16.0 (Stata Corporation, College Station, TX, USA)を用い、stnsを用いてネット・サバイバルを推定している。

がんごとの集計では、集計対象定義に基づいて集計を行った。なお、上皮内がん(総合ステージ 0 期)については生存状況把握割合の算出の際には対象に含めていない。

(5) 公表の対象

令和 6 年度第 1 回都道府県がん診療連携拠点病院連絡協議会がん登録部会での検討に基づき、以下の公表基準に沿って、生存率を公表する。

生存率の推定値は、対象例数、死亡者数等の件数に依存する。一般に対象例数が 30 例未満の場合、推定された生存率の信頼性が低くなるため、本集計では対象例数が 30 例未満の場合は、10 年生存率を公表しないこととする。なお、各集計表において、集計値が 10 未満の場合、個人が特定される可能性が高い反面、患者、家族や国民に対して有用な診療情報を提供するため、第 9 回がん診療提供体制のあり方に関する検討会資料として提出された「資料 2 少数例のがんの情報提供について」の通り、1 件以上 10 件未満の場合は、1～3 件、4～6 件、7～9 件として公表し、10 件以上は原則実数で公表する。

なお、都道府県別生存率については、当該都道府県で集計対象が 1 施設となる場合は表示していない。

参考資料

- 1) 全国がんセンター協議会. 全がん協加盟施設におけるがん患者生存率公表にあたっての指針(案) 2004/11/25版 厚生労働省がん研究助成金「地域がん専門診療施設におけるソフト面の整備拡充に関する研究」班

表1-1 集計用診断日決定のルール

集計用症例区分	集計用診断日	備考
1:診断のみ	診断日2	
2:自施設診断自施設治療	診断日2	
3:他施設診断自施設治療	当該腫瘍初診日	
4:初回治療開始後の症例、 もしくは再発症例	当該腫瘍初診日	*
5:剖検	診断日2	死亡日
8:その他	診断日2、当該腫瘍初診日のいずれか	*

* 優先する集計用診断日となる日付が登録されていない場合、診断日2、当該腫瘍初診日、診断日1、入院日の中で、2012年の日付の項目を用いて作成した。

表1-2 集計用症例区分の決定のルール

診断区分	診断施設	治療方針	集計用症例区分
1:初発	1:自施設診断	1:自施設で治療	2:自施設診断自施設治療
1:初発	1:自施設診断	3:自施設で経過観察	2:自施設診断自施設治療
1:初発	1:自施設診断	4:他施設へ紹介	1:診断のみ
1:初発	1:自施設診断	8:来院中断	1:診断のみ
1:初発	1:自施設診断	9:その他	1:診断のみ
1:初発	2:他施設診断	1:自施設で治療	3:他施設診断自施設治療
1:初発	2:他施設診断	3:自施設で経過観察	3:他施設診断自施設治療
1:初発	2:他施設診断	4:他施設へ紹介	8:その他
1:初発	2:他施設診断	8:来院中断	8:その他
1:初発	2:他施設診断	9:その他	8:その他
2:治療開始後	2:他施設診断	1:自施設で治療	4:初回治療開始後の症例、 もしくは再発症例
2:治療開始後	2:他施設診断	3:自施設で経過観察	4:初回治療開始後の症例、 もしくは再発症例
2:治療開始後	2:他施設診断	4:他施設へ紹介	8:その他
2:治療開始後	2:他施設診断	8:来院中断	8:その他
2:治療開始後	2:他施設診断	9:その他	8:その他

症例区分が登録されているケースでは症例区分を優先、症例区分が登録されていない例では、診断区分・診断施設・治療方針から上記のルールで変換した集計用症例区分を用いて集計用症例区分を作成した。

表 1-3 部位分類コード対応

部位名	第 1 段階 ICD-O-3 形態コード	第 2 段階 ICD-O-3 部位コード
口腔・口唇		C00、C02.0-02.3、C02.8-02.9、C03.0-C05.0、C05.8-C06.9
大唾液腺		C07、C08
上咽頭		C11
中咽頭		C01、C02.4、C05.1-05.2、C09、C10.0、C10.2-10.9、C14
下咽頭		C12-C13
食道		C15
胃		C16
小腸		C17
結腸		C18
直腸		C19-C20
大腸		C18-C20
肛門/肛門管		C21
肝臓		C22
胆嚢・胆管		C23-C24
膵臓		C25
喉頭		C10.1、C32
肺		C33-C34
骨・骨軟部		C40-C41、C47、C49
皮膚(黒色腫を含む)		C44
乳房		C50
膣・外陰		C51、C52
子宮頸部		C53
子宮体部		C54
子宮		C55
卵巣		C56
前立腺		C61
精巣		C62、C63.0、C63.1
腎		C64
膀胱		C67
腎盂・尿管		C65、C66、C68
脳・中枢神経系		C70、C71、C72、C751-C753
甲状腺		C73
悪性リンパ腫	959-972 974-975	
多発性骨髄腫	973、976	
白血病	980-994	
他の造血器腫瘍	995-998 999	C421
その他		第 1 段階、第 2 段階で変換された以外の症例

表 1-4 病期分類対象コード：各部位に発生した主に上皮性のがんが対象

	局在	組織形態
胃癌	C160, 161-166, 168, 169	8000-8005, 8010-8015, 8020-8022, 8030-8046, 8050, 8051-8084, 8090-8110, 8120-8131, 8140-8149, 8150-8157, 8160-8162, 8170-8180, 8190-8221, 8230-8231, 8246-8247, 8250-8255, 8260-8337, 8340-8347, 8350-8551, 8560-8562, 8570-8576, 8580-8671, 8940-8941
大腸癌	C180, 182-189, 199, 209	8000-8005, 8010-8015, 8020-8022, 8030-8046, 8050, 8051-8084, 8090-8110, 8120-8131, 8140-8149, 8150-8157, 8160-8162, 8170-8180, 8190-8221, 8230-8231, 8246-8247, 8250-8255, 8260-8337, 8340-8347, 8350-8551, 8560-8562, 8570-8576, 8580-8671, 8940-8941
肝細胞癌	C220	8000-8005, 8010-8015, 8020-8022, 8030-8046, 8050, 8051-8084, 8090-8110, 8120-8131, 8140-8149, 8150-8157, 8160-8162, 8170-8180, 8190-8221, 8230-8231, 8246-8247, 8250-8255, 8260-8337, 8340-8347, 8350-8551, 8560-8562, 8570-8576, 8580-8671, 8940-8941
肝内胆管癌	C221	8000-8005, 8010-8015, 8020-8022, 8030-8046, 8050, 8051-8084, 8090-8110, 8120-8131, 8140-8149, 8150-8157, 8160-8162, 8170-8180, 8190-8221, 8230-8231, 8246-8247, 8250-8255, 8260-8337, 8340-8347, 8350-8551, 8560-8562, 8570-8576, 8580-8671, 8940-8941
肺小細胞癌	C340-343, 348, 349	8041-8045
肺非小細胞癌		8000-8157 (8013, 8041-8045 を除く), 8160-8162, 8170-8231, 8240-8245, 8246-8247, 8249, 8250-8551, 8560-8576, 8940-8941, 8972, 8980
乳癌 (女)	C500-509	8000-8005, 8010-8015, 8020-8022, 8030-8046, 8050, 8051-8084, 8090-8110, 8120-8131, 8140-8149, 8150-8157, 8160-8162, 8170-8180, 8190-8221, 8230-8231, 8246-8247, 8250-8255, 8260-8337, 8340-8347, 8350-8551, 8560-8562, 8570-8576, 8580-8671, 8940-8941
食道癌	C150-152, 158, 159	8000-8005, 8010-8015, 8020-8022, 8030-8046, 8050, 8051-8084, 8090-8110, 8120-8131, 8140-8149, 8150-8157, 8160-8162, 8170-8180, 8190-8221, 8230-8231, 8246-8247, 8250-8255, 8260-8337, 8340-8347, 8350-8551, 8560-8562, 8570-8576, 8580-8671, 8940-8941
膵臓癌	C250-252, 259	8000-8005, 8010-8015, 8020-8022, 8030-8046, 8050, 8051-8084, 8090-8110, 8120-8131, 8140-8149, 8150-8157, 8160-8162, 8170-8180, 8190-8221, 8230-8231, 8246-8247, 8250-8255, 8260-8337, 8340-8347, 8350-8551, 8560-8562, 8570-8576, 8580-8671, 8940-8941
前立腺癌	C619	8000-8005, 8010-8015, 8020-8022, 8030-8046, 8050, 8051-8084, 8090-8110, 8140-8149, 8150-8157, 8160-8162, 8170-8180, 8190-8221, 8230-8231, 8246-8247, 8250-8255, 8260-8337, 8340-8347, 8350-8551, 8560-8562, 8570-8576, 8580-8671, 8940-8941
子宮頸癌 (女)	C530-531, 538, 539	8000-8005, 8010-8015, 8020-8022, 8030-8046, 8050, 8051-8084, 8090-8110, 8120-8131, 8140-8149, 8150-8157, 8160-8162, 8170-8180, 8190-8221, 8230-8231, 8246-8247, 8250-8255, 8260-8337, 8340-8347, 8350-8551, 8560-8562, 8570-8576, 8580-8671, 8940-8941
子宮体癌 (女)	C540-543, 548, 549	8000-8005, 8010-8015, 8020-8022, 8030-8046, 8050, 8051-8084, 8090-8110, 8120-8131, 8140-8149, 8150-8157, 8160-8162, 8170-8180, 8190-8221, 8230-8231, 8246-8247, 8250-8255, 8260-8337, 8340-8347, 8350-8551, 8560-8562, 8570-8576, 8580-8671, 8940-8941
膀胱癌	C670-679	8000-8005, 8010-8015, 8020-8022, 8030-8046, 8050, 8051-8084, 8090-8110, 8120-8131, 8140-8149, 8150-8157, 8160-8162, 8170-8180, 8190-8221, 8230-8231, 8246-8247, 8250-8255, 8260-8337, 8340-8347, 8350-8551, 8560-8562, 8570-8576, 8580-8671, 8940-8941
甲状腺乳頭・濾胞癌	C739	8050, 8230, 8260, 8290, 8330-8332, 8335, 8337, 8340-8344, 8350
甲状腺未分化癌	C739	8020, 8021
甲状腺髄様癌	C739	8345
胆嚢癌	C23.9	8000-8157, 8160-8162, 8170-8231, 8244, 8246-8247, 8250-8551, 8560-8576, 8940-8941
喉頭癌	C32.0, 32.1, 32.2, 10.1	8000-8157, 8160-8162, 8170-8231, 8246-8247, 8250-8551, 8560-8576, 8940-8941
腎癌	C64.9	8000-8157, 8160-8162, 8170-8231, 8246-8247, 8250-8551, 8560-8576, 8940-8941
腎盂尿管癌	C65.9, 66.9	8000-8157, 8160-8162, 8170-8231, 8246-8247, 8250-8551, 8560-8576, 8940-8941

	局在	組織形態
卵巢癌 (女)	C56.9	8000-8157, 8160-8162, 8170-8231, 8246-8247, 8250-8551, 8560-8576, 8600-8670, 8930-8935, 8940-8941, 8950-8973, 8980, 8982-8983, 8990-8991, 9000-9015, 9020, 9040-9044, 9060-9090, 9100-9105, 9110

II 2012年10年生生存率集計 結果概要

1. 調査参加施設と登録数

調査を依頼した652施設のうち、501施設(このうちがん診療連携拠点病院等は393施設)から10年予後情報付腫瘍データが提供された(協力率76.8%)。なお、表2-1-1に全登録数と集計対象を示す。

2. 集計対象

(1) 集計の対象

① 集計対象例の選定

i 自施設診断自施設初回治療及び他施設診断自施設初回治療

提出されたデータ全体で、「自施設診断・自施設初回治療(症例区分2)」が426,910例(61.6%)、「他施設診断・自施設初回治療(症例区分3)」が134,215例(19.4%)であり、全登録数の81.0%を占めた。

ii 悪性新生物<腫瘍>

症例区分2,3(自施設診断・自施設初回治療又は他施設診断・自施設初回治療)のうち悪性新生物<腫瘍>(新生物<腫瘍>の性状コードが3)は、490,916例(70.8%)であった。脳腫瘍の良性又は良性・悪性の別不詳を合わせると集計対象腫瘍例は、500,496例(72.2%)であった。

iii 年齢

診断時の年齢を見ると、100歳以上が159例あり、生存率集計からは除外した。年齢別にみると、70歳代が23.1%と最も多く、次いで60歳代が20.5%であった。

上記で選定した例から、性別不詳及び追跡終了日不明またはUICC TNM分類総合ステージ0期の合計162例を集計対象から除外した。

② 追跡期間(日数)の確認

予後情報付データ収集では、品質管理において追跡期間の確認を行った。なお、追跡終了日(死亡例の場合は、死亡日の年月、生存例の場合は、生存最終確認日の年月)が不明の場合は集計対象から除外した。但し、死亡例で死亡日の年月が不明であっても、生存最終確認日の年月が判明している場合は、生存最終確認日を追跡終了日とし、打ち切り例として集計した。

(2) 生存状況把握割合

各施設における集計対象例に対する生存状況把握割合について検討した結果、最も低かった施設の生存状況把握割合は、27.5%で、最も高かった施設は100%であった。以降の集計結果では、生存状況把握割合が90%以上であった361施設(がん診療連携拠点病院315施設、拠点外病院46施設)における登録例を集計対象とした。

3. 生存率集計対象者

全がんで生存状況把握割合が90%以上であった361施設において集計対象例は、394,108例であった。

表 2-1-1 2012 年診断例調査参加施設の全登録数と集計対象

	集計対象外施設		集計対象施設		全体	
	140 施設	(%)	361 施設	(%)	501 施設	(%)
全登録数	150,290	100.0	543,081	100.0	693,371	100.0
症例区分別登録数						
1. 診断のみ	9,737	6.5	28,887	5.3	38,624	5.6
2. 自施設診断・自施設初回治療	93,198	62.0	333,712	61.4	426,910	61.6
3. 他施設診断・自施設初回治療	25,945	17.3	108,270	19.9	134,215	19.4
4. 初回治療開始後・再発	15,340	10.2	53,981	9.9	69,321	10.0
5. 剖検	81	0.1	291	0.1	372	0.1
6. 不明・その他	5,989	4.0	17,940	3.3	23,929	3.5
症例区分(2, 3)(再掲)	119,143	79.3	441,982	81.4	561,125	80.9
症例区分 2, 3 のうち						
良性	1,738	1.2	6,379	1.2	8,117	1.2
良性又は悪性の別不詳	553	0.4	2,485	0.5	3,038	0.4
上皮内癌	12,707	8.5	46,347	8.5	59,054	8.5
悪性新生物<腫瘍>	104,145	69.3	386,771	71.2	490,916	70.8
集計対象腫瘍*	106,157	70.6	394,339	72.6	500,496	72.2
症例区分 2, 3、集計対象腫瘍のうち(年齢不詳除く)						
年齢 0~14 歳	335	0.2	1,332	0.2	1,667	0.2
15~39 歳	3,333	2.2	12,394	2.3	15,727	2.3
40 歳代	6,385	4.2	24,000	4.4	30,385	4.4
50 歳代	12,711	8.5	47,554	8.8	60,265	8.7
60 歳代	29,954	19.9	112,347	20.7	142,301	20.5
70 歳代	33,888	22.5	126,217	23.2	160,105	23.1
80-99 歳	19,514	13.0	70,373	13.0	89,887	13.0
100 歳以上	37	0.0	122	0.0	159	0.0
0~99 歳(再掲)	106,120	70.6	394,217	72.6	500,337	72.2
除外対象(以下重複有)						
性別不詳	0	0.0	0	0.0	0	0.0
追跡終了日不明	11	0.0	16	0.0	27	0.0
総合ステージ 0 期	42	0.0	93	0.0	135	0.0
集計対象例	106,067	70.6	394,108	72.6	500,175	72.1

*症例区分 2, 3 のうち、悪性新生物<腫瘍>、脳・中枢神経系に発生した良性または良性・悪性の別不詳の腫瘍を含む

表 2-2-1 がん診療連携拠点病院等調査参加施設の全登録数及び症例区分 2, 3 の登録数

都道府県	施設名称	集計対象	全登録数	自施設診断 自施設治療 (症例区分 2)	他施設診断 自施設治療 (症例区分 3)	自施設治 療 (症例 区分 2, 3) 登録割合
総数		315	615, 835	372, 951	124, 860	80. 8
北海道	独立行政法人国立病院機構 北海道がんセンター	集計対象	2, 324	1, 045	651	73. 0
北海道	JA 北海道厚生連 旭川厚生病院	集計対象	1, 437	972	185	80. 5
北海道	王子総合病院	集計対象	979	754	98	87. 0
北海道	砂川市立病院		542	464	23	89. 9
北海道	市立釧路総合病院		1, 059	642	182	77. 8
北海道	JA 北海道厚生連 帯広厚生病院	集計対象	1, 476	1, 147	202	91. 4
北海道	北見赤十字病院	集計対象	1, 328	821	241	80. 0
北海道	市立函館病院	集計対象	1, 334	847	206	78. 9
北海道	日鋼記念病院		591	326	38	61. 6
北海道	函館厚生院 函館五稜郭病院	集計対象	1, 563	1, 224	179	89. 8
北海道	札幌医科大学附属病院		2, 278	1, 101	509	70. 7
北海道	JA 北海道厚生連 札幌厚生病院	集計対象	1, 621	1, 082	270	83. 4
北海道	手稲溪仁会病院	集計対象	2, 121	1, 288	384	78. 8
北海道	旭川医科大学病院		1, 666	935	420	81. 3
北海道	市立旭川病院		900	690	106	88. 4
北海道	独立行政法人労働者健康安全機構 釧路労災病院	集計対象	790	645	98	94. 1
青森	青森県立中央病院		2, 055	1, 233	472	83. 0
青森	八戸市立市民病院	集計対象	1, 435	996	286	89. 3
青森	一部事務組合下北医療センターむつ総合病院		570	433	46	84. 0
青森	十和田市立中央病院		693	412	84	71. 6
岩手	岩手県立中央病院	集計対象	1, 892	1, 357	355	90. 5
岩手	岩手県立二戸病院	集計対象	372	245	55	80. 6
岩手	岩手医科大学附属病院	集計対象	2, 759	1, 281	928	80. 1
岩手	岩手県立中部病院	集計対象	1, 118	696	233	83. 1
岩手	岩手県立磐井病院	集計対象	696	420	161	83. 5
岩手	岩手県立宮古病院	集計対象	471	314	62	79. 8
岩手	岩手県立胆沢病院	集計対象	851	648	134	91. 9
岩手	岩手県立大船渡病院	集計対象	572	382	54	76. 2
岩手	岩手県立久慈病院	集計対象	380	305	22	86. 1
岩手	岩手県立釜石病院	集計対象	387	191	62	65. 4
宮城	東北大学病院	集計対象	3, 373	1, 388	904	68. 0
宮城	宮城県立がんセンター	集計対象	1, 918	1, 041	372	73. 7
宮城	石巻赤十字病院	集計対象	1, 855	1, 134	255	74. 9
宮城	仙台医療センター	集計対象	1, 617	978	320	80. 3
宮城	大崎市民病院	集計対象	1, 578	1, 188	251	91. 2
宮城	独立行政法人労働者健康安全機構 東北労災病院	集計対象	914	646	172	89. 5
宮城	東北医科薬科大学病院	集計対象	717	437	117	77. 3
秋田	国立大学法人 秋田大学医学部附属病院	集計対象	1, 486	658	532	80. 1
秋田	秋田県厚生農業協同組合連合会 由利組合総合病院	集計対象	615	418	125	88. 3
秋田	秋田県厚生農業協同組合連合会 大曲厚生医療セン ター	集計対象	673	523	86	90. 5
秋田	秋田県厚生農業協同組合連合会 平鹿総合病院		817	695	92	96. 3
秋田	秋田県厚生農業協同組合連合会 能代厚生医療セン ター	集計対象	614	445	78	85. 2
秋田	秋田赤十字病院	集計対象	1, 175	864	217	92. 0
秋田	秋田県厚生農業協同組合連合会 雄勝中央病院	集計対象	290	202	26	78. 6
秋田	大館市立総合病院	集計対象	684	493	126	90. 5
秋田	秋田県厚生農業協同組合連合会 秋田厚生医療セン ター	集計対象	1, 026	717	176	87. 0
山形	山形県立中央病院	集計対象	1, 941	1, 208	448	85. 3
山形	山形大学医学部附属病院	集計対象	1, 957	962	520	75. 7
山形	山形市立病院済生館	集計対象	966	729	103	86. 1
山形	置賜広域病院企業団 公立置賜総合病院	集計対象	951	692	169	90. 5
山形	日本海総合病院	集計対象	1, 727	1, 362	237	92. 6
福島	福島県立医科大学附属病院	集計対象	2, 166	997	544	71. 1
福島	太田西ノ内病院		1, 789	1, 261	297	87. 1

都道府県	施設名称	集計対象	全登録数	自施設診断 自施設治療 (症例区分 2)	他施設診断 自施設治療 (症例区分 3)	自施設治療 (症例 区分2,3) 登録割合
福島	一般財団法人竹田健康財団 竹田総合病院		1,315	808	292	83.7
福島	総合南東北病院	集計対象	2,025	1,100	428	75.5
福島	会津中央病院	集計対象	823	642	85	88.3
福島	白河厚生総合病院	集計対象	824	545	70	74.6
茨城	茨城県立中央病院	集計対象	1,712	1,130	308	84.0
茨城	筑波メディカルセンター病院・茨城県地域がんセンター	集計対象	882	638	121	86.1
茨城	茨城県厚生農業協同組合連合会 総合病院土浦協同病院・茨城県地域がんセンター	集計対象	1,472	1,150	188	90.9
茨城	株式会社日立製作所 日立総合病院・茨城県地域がんセンター		1,410	1,061	237	92.1
茨城	東京医科大学茨城医療センター	集計対象	807	615	112	90.1
茨城	友愛記念病院	集計対象	884	531	101	71.5
茨城	筑波大学附属病院	集計対象	2,578	1,294	572	72.4
茨城	国立病院機構水戸医療センター	集計対象	1,089	813	186	91.7
茨城	株式会社 日立製作所 ひたちなか総合病院	集計対象	703	503	70	81.5
茨城	医療法人社団善仁会 小山記念病院		459	231	12	52.9
栃木	地方独立行政法人栃木県立がんセンター	集計対象	2,112	1,100	596	80.3
栃木	自治医科大学附属病院	集計対象	3,245	1,878	830	83.5
栃木	栃木県済生会宇都宮病院	集計対象	1,832	1,414	190	87.6
栃木	獨協医科大学病院	集計対象	2,565	1,793	444	87.2
栃木	那須赤十字病院	集計対象	809	585	78	82.0
栃木	足利赤十字病院	集計対象	1,226	863	207	87.3
群馬	群馬県立がんセンター		2,262	1,045	770	80.2
群馬	群馬大学医学部附属病院	集計対象	3,182	1,578	1,041	82.3
群馬	独立行政法人国立病院機構 渋川医療センター	集計対象	508	314	72	76.0
群馬	独立行政法人国立病院機構 高崎総合医療センター	集計対象	1,264	824	203	81.3
群馬	桐生厚生総合病院	集計対象	824	701	57	92.0
群馬	前橋赤十字病院	集計対象	1,419	1,022	229	88.2
埼玉	さいたま赤十字病院	集計対象	1,385	1,063	188	90.3
埼玉	埼玉県立がんセンター	集計対象	3,773	1,884	1,048	77.7
埼玉	深谷赤十字病院	集計対象	623	492	125	99.0
埼玉	春日部市立医療センター	集計対象	798	518	77	74.6
埼玉	さいたま市立病院	集計対象	1,087	806	159	88.8
埼玉	埼玉医科大学総合医療センター		2,562	1,598	374	77.0
埼玉	獨協医科大学埼玉医療センター	集計対象	1,974	1,198	397	80.8
埼玉	川口市立医療センター	集計対象	1,280	764	179	73.7
埼玉	独立行政法人国立病院機構 埼玉病院		1,027	602	217	79.7
埼玉	埼玉医科大学国際医療センター	集計対象	4,272	2,158	1,416	83.7
埼玉	社会福祉法人恩賜財団済生会支部埼玉県済生会川口総合病院	集計対象	1,231	816	164	79.6
埼玉	上尾中央総合病院	集計対象	1,395	1,000	77	77.2
埼玉	戸田中央総合病院	集計対象	614	478	36	83.7
千葉	国立研究開発法人 国立がん研究センター東病院	集計対象	5,235	2,163	1,574	71.4
千葉	国保旭中央病院	集計対象	2,383	1,793	196	83.5
千葉	医療法人鉄蕉会 亀田総合病院	集計対象	2,745	1,836	452	83.4
千葉	国保直営総合病院 君津中央病院	集計対象	1,383	1,050	124	84.9
千葉	成田赤十字病院		1,307	889	194	82.9
千葉	千葉県がんセンター	集計対象	4,473	1,964	1,201	70.8
千葉	独立行政法人労働者健康安全機構 千葉労災病院	集計対象	968	765	142	93.7
千葉	船橋市立医療センター	集計対象	1,511	917	296	80.3
千葉	千葉大学医学部附属病院		3,405	1,748	858	76.5
千葉	独立行政法人国立病院機構 千葉医療センター	集計対象	1,069	741	99	78.6
千葉	東京歯科大学市川総合病院	集計対象	1,295	895	125	78.8
千葉	順天堂大学医学部附属浦安病院	集計対象	1,638	1,193	189	84.4
千葉	東京慈恵会医科大学附属柏病院	集計対象	1,840	1,302	319	88.1
千葉	松戸市立総合医療センター	集計対象	1,220	630	130	62.3
千葉	日本医科大学千葉北総病院	集計対象	1,103	792	171	87.3
東京	国立がん研究センター中央病院		6,523	2,446	2,000	68.2
東京	東京都立駒込病院	集計対象	4,292	2,041	1,033	71.6

都道府県	施設名称	集計対象	全登録数	自施設診断 自施設治療 (症例区分 2)	他施設診断 自施設治療 (症例区分 3)	自施設治療 (症例 区分 2, 3) 登録割合
東京	市立青梅総合医療センター	集計対象	1,204	896	94	82.2
東京	NTT 東日本関東病院	集計対象	1,944	1,119	480	82.3
東京	日本赤十字社医療センター	集計対象	2,248	917	327	55.3
東京	日本大学医学部附属板橋病院	集計対象	2,780	1,489	333	65.5
東京	武蔵野赤十字病院	集計対象	2,213	1,523	331	83.8
東京	がん研有明病院	集計対象	8,794	3,264	2,705	67.9
東京	国立大学法人 東京大学医学部附属病院	集計対象	3,770	1,820	855	71.0
東京	日本医科大学付属病院	集計対象	2,601	1,598	516	81.3
東京	聖路加国際病院	集計対象	2,343	1,265	605	79.8
東京	帝京大学医学部附属病院	集計対象	2,155	1,229	424	76.7
東京	東京医科大学 八王子医療センター	集計対象	1,437	999	219	84.8
東京	杏林大学医学部付属病院	集計対象	2,439	1,775	424	90.2
東京	順天堂大学医学部附属 順天堂医院	集計対象	3,838	2,060	1,004	79.8
東京	昭和大学病院	集計対象	2,556	1,467	539	78.5
東京	慶應義塾大学病院	集計対象	3,591	1,808	709	70.1
東京	東京都立多摩総合医療センター	集計対象	2,608	1,481	707	83.9
東京	東京医科大学病院	集計対象	3,430	2,053	979	88.4
東京	公立昭和病院	集計対象	1,545	1,089	267	87.8
東京	東京慈恵会医科大学附属病院	集計対象	3,302	1,900	677	78.0
東京	虎の門病院	集計対象	3,407	1,576	1,022	76.3
東京	東邦大学医療センター大森病院	集計対象	2,237	1,551	282	81.9
東京	独立行政法人国立病院機構東京医療センター	集計対象	2,129	1,403	361	82.9
東京	東京医科歯科大学病院	集計対象	2,750	1,353	729	75.7
東京	東京都立墨東病院	集計対象	1,436	1,011	180	82.9
神奈川	神奈川県立がんセンター	集計対象	3,360	1,555	1,089	78.7
神奈川	国家公務員共済組合連合会 横須賀共済病院	集計対象	2,206	1,610	353	89.0
神奈川	横浜市立市民病院	集計対象	1,676	1,115	316	85.4
神奈川	小田原市立病院	集計対象	874	527	137	76.0
神奈川	川崎市立井田病院	集計対象	642	342	94	67.9
神奈川	相模原協同病院	集計対象	1,212	767	102	71.7
神奈川	公立大学法人 横浜市立大学附属病院	集計対象	2,298	1,103	643	76.0
神奈川	聖マリアンナ医科大学病院	集計対象	2,789	1,653	615	81.3
神奈川	東海大学医学部付属病院	集計対象	3,710	2,262	775	81.9
神奈川	藤沢市民病院	集計対象	1,190	851	222	90.2
神奈川	北里大学病院	集計対象	1,912	1,346	460	94.5
神奈川	横浜労災病院	集計対象	1,835	1,182	190	74.8
神奈川	昭和大学横浜市北部病院	集計対象	2,056	1,279	443	83.8
神奈川	横浜市立みなと赤十字病院	集計対象	1,460	867	194	72.7
神奈川	大和市立病院	集計対象	989	685	78	77.1
神奈川	労働者健康安全機構 関東労災病院	集計対象	1,009	689	111	79.3
神奈川	済生会横浜市東部病院	集計対象	1,870	1,090	378	78.5
神奈川	独立行政法人国立病院機構横浜医療センター	集計対象	825	445	281	88.0
神奈川	横浜市立大学附属市民総合医療センター	集計対象	2,232	1,601	385	89.0
新潟	新潟県立がんセンター新潟病院	集計対象	3,077	1,926	971	94.2
新潟	新潟県立中央病院	集計対象	1,438	1,002	306	91.0
新潟	新潟市民病院	集計対象	1,750	1,224	389	92.2
新潟	長岡赤十字病院	集計対象	1,763	1,277	289	88.8
新潟	新潟県厚生農業協同組合連合会 長岡中央総合病院	集計対象	1,610	1,151	388	95.6
新潟	新潟大学医歯学総合病院	集計対象	2,151	994	740	80.6
新潟	県立新発田病院	集計対象	1,235	837	225	86.0
富山	富山県立中央病院	集計対象	2,415	1,600	504	87.1
富山	黒部市民病院	集計対象	663	531	66	90.0
富山	国立大学法人 富山大学附属病院	集計対象	1,139	746	222	85.0
富山	厚生連高岡病院	集計対象	1,262	977	157	89.9
富山	市立砺波総合病院	集計対象	763	494	63	73.0
石川	国立大学法人金沢大学附属病院	集計対象	2,115	1,032	475	71.3
石川	独立行政法人国立病院機構 金沢医療センター	集計対象	714	592	76	93.6
石川	石川県立中央病院	集計対象	1,713	1,104	531	95.4
石川	金沢医科大学病院	集計対象	1,214	808	178	81.2
石川	国民健康保険小松市民病院	集計対象	746	515	93	81.5

都道府県	施設名称	集計対象	全登録数	自施設診断 自施設治療 (症例区分 2)	他施設診断 自施設治療 (症例区分 3)	自施設治療 (症例 区分2,3) 登録割合
福井	福井県立病院	集計対象	1,568	1,029	286	83.9
福井	社会福祉法人恩賜財団済生会支部 福井県済生会病院	集計対象	1,518	1,077	272	88.9
福井	福井赤十字病院	集計対象	1,202	929	152	89.9
福井	福井大学医学部附属病院	集計対象	1,241	754	311	85.8
福井	市立敦賀病院		438	333	28	82.4
山梨	山梨県立中央病院	集計対象	1,848	1,214	286	81.2
山梨	国立大学法人 山梨大学医学部附属病院	集計対象	1,769	1,057	306	77.0
山梨	国民健康保険 富士吉田市立病院	集計対象	476	337	34	77.9
長野	長野県厚生農業協同組合連合会 佐久総合病院 佐久医療センター	集計対象	1,854	1,224	484	92.1
長野	国立大学法人 信州大学医学部附属病院	集計対象	2,178	982	621	73.6
長野	諏訪赤十字病院	集計対象	1,149	769	185	83.0
長野	飯田市立病院		966	642	157	82.7
長野	長野市民病院	集計対象	1,662	1,118	404	91.6
長野	長野赤十字病院	集計対象	1,576	956	316	80.7
長野	社会医療法人財団慈泉会 相澤病院	集計対象	1,360	929	156	79.8
長野	伊那中央病院	集計対象	906	575	188	84.2
長野	北アルプス医療センターあづみ病院		292	190	7	67.5
長野	長野県厚生農業協同組合連合会 北信総合病院		553	462	56	93.7
岐阜	岐阜市民病院	集計対象	1,291	957	163	86.8
岐阜	岐阜大学医学部附属病院	集計対象	2,028	1,081	588	82.3
岐阜	高山赤十字病院	集計対象	633	416	56	74.6
岐阜	岐阜県総合医療センター	集計対象	1,588	1,111	255	86.0
岐阜	岐阜県立多治見病院	集計対象	1,457	902	259	79.7
岐阜	大垣市民病院	集計対象	2,070	1,739	237	95.5
岐阜	中部国際医療センター		1,089	614	196	74.4
岐阜	松波総合病院	集計対象	721	582	46	87.1
静岡	静岡県立静岡がんセンター	集計対象	6,495	2,780	1,929	72.5
静岡	静岡県立総合病院	集計対象	2,515	1,618	581	87.4
静岡	社会福祉法人 聖隷福祉事業団 総合病院 聖隷三方原病院	集計対象	1,513	883	230	73.6
静岡	社会福祉法人 聖隷福祉事業団 総合病院 聖隷浜松病院	集計対象	1,969	1,367	353	87.4
静岡	順天堂大学医学部附属静岡病院	集計対象	1,407	1,030	192	86.9
静岡	静岡市立静岡病院	集計対象	1,257	998	120	88.9
静岡	藤枝市立総合病院		1,108	861	99	86.6
静岡	浜松医科大学医学部附属病院	集計対象	1,490	851	375	82.3
静岡	浜松医療センター	集計対象	1,143	840	137	85.5
静岡	磐田市立総合病院	集計対象	1,410	980	172	81.7
静岡	富士市立中央病院	集計対象	764	437	64	65.6
愛知	愛知県がんセンター	集計対象	3,073	1,111	1,496	84.8
愛知	愛知県厚生農業協同組合連合会 安城更生病院	集計対象	2,038	1,456	274	84.9
愛知	海南病院	集計対象	1,315	948	98	79.5
愛知	独立行政法人国立病院機構名古屋医療センター	集計対象	1,726	1,081	239	76.5
愛知	小牧市民病院	集計対象	1,803	1,362	207	87.0
愛知	豊橋市民病院	集計対象	2,251	1,547	337	83.7
愛知	名古屋大学医学部附属病院		2,594	1,432	743	83.8
愛知	独立行政法人 地域医療機能推進機構 中京病院		1,348	951	200	85.4
愛知	一宮市立市民病院	集計対象	1,256	1,015	205	97.1
愛知	公立陶生病院	集計対象	1,219	984	107	89.5
愛知	愛知県厚生農業協同組合連合会 豊田厚生病院	集計対象	1,502	1,108	173	85.3
愛知	名古屋市立大学病院	集計対象	1,736	1,033	472	86.7
愛知	日本赤十字社愛知医療センター名古屋第一病院	集計対象	2,234	1,589	341	86.4
愛知	日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院	集計対象	2,114	1,356	332	79.8
愛知	藤田医科大学病院	集計対象	2,797	1,393	953	83.9
愛知	愛知医科大学病院	集計対象	1,303	960	249	92.8
愛知	半田市立半田病院		1,157	935	144	93.3
三重	伊勢赤十字病院	集計対象	1,696	1,178	292	86.7
三重	松阪中央総合病院		783	565	75	81.7

都道府県	施設名称	集計対象	全登録数	自施設診断 自施設治療 (症例区分 2)	他施設診断 自施設治療 (症例区分 3)	自施設治療 (症例 区分2,3) 登録割合
三重	三重大学医学部附属病院		2,546	1,323	535	73.0
三重	三重県厚生農業協同組合連合会 鈴鹿中央総合病院		1,105	853	101	86.3
三重	市立四日市病院		1,789	1,251	257	84.3
滋賀	市立長浜病院	集計対象	637	544	46	92.6
滋賀	滋賀県立総合病院		1,424	824	245	75.1
滋賀	大津赤十字病院		1,417	1,060	181	87.6
滋賀	彦根市立病院		697	509	44	79.3
滋賀	滋賀医科大学医学部附属病院	集計対象	1,534	904	390	84.4
京都	京都府立医科大学附属病院	集計対象	2,519	1,303	671	78.4
京都	京都桂病院	集計対象	1,297	1,081	117	92.4
京都	京都市立病院	集計対象	1,291	816	112	71.9
京都	京都第一赤十字病院	集計対象	1,499	1,078	201	85.3
京都	京都第二赤十字病院	集計対象	1,576	1,189	209	88.7
京都	独立行政法人国立病院機構 京都医療センター	集計対象	1,727	1,041	276	76.3
京都	市立福知山市民病院	集計対象	877	532	105	72.6
京都	京都岡本記念病院		646	344	21	56.5
京都	京都中部総合医療センター	集計対象	526	399	39	83.3
大阪	大阪府立病院機構 大阪急性期・総合医療センター	集計対象	1,967	1,354	304	84.3
大阪	市立岸和田市民病院	集計対象	1,216	886	149	85.1
大阪	地方独立行政法人市立東大阪医療センター	集計対象	1,191	902	126	86.3
大阪	市立豊中病院	集計対象	2,077	1,544	245	86.1
大阪	地方独立行政法人大阪府立病院機構 大阪国際がんセンター	集計対象	3,415	1,499	1,375	84.2
大阪	地方独立行政法人大阪市民病院機構大阪市民総合医療センター	集計対象	2,802	1,609	645	80.4
大阪	大阪赤十字病院	集計対象	2,401	1,852	245	87.3
大阪	独立行政法人国立病院機構 大阪南医療センター	集計対象	922	597	179	84.2
大阪	独立行政法人労働者健康安全機構大阪労災病院	集計対象	1,669	1,213	257	88.1
大阪	大阪大学医学部附属病院		3,352	1,313	908	66.3
大阪	大阪医科薬科大学病院	集計対象	2,333	1,224	749	84.6
大阪	大阪公立大学医学部附属病院	集計対象	3,481	1,575	1,015	74.4
大阪	関西医科大学附属病院	集計対象	3,088	1,774	804	83.5
大阪	独立行政法人国立病院機構 大阪医療センター	集計対象	1,514	971	344	86.9
兵庫	兵庫県立がんセンター	集計対象	3,929	1,737	1,246	75.9
兵庫	神戸大学医学部附属病院	集計対象	3,507	1,598	970	73.2
兵庫	神戸市立医療センター中央市民病院	集計対象	2,519	1,398	516	76.0
兵庫	独立行政法人労働者健康安全機構 関西労災病院	集計対象	1,833	1,046	371	77.3
兵庫	公立学校共済組合近畿中央病院		784	593	93	87.5
兵庫	姫路赤十字病院	集計対象	1,691	1,113	360	87.1
兵庫	赤穂市民病院	集計対象	488	384	21	83.0
兵庫	公立豊岡病院組合立豊岡病院	集計対象	953	751	101	89.4
兵庫	兵庫県立淡路医療センター	集計対象	754	553	91	85.4
兵庫	兵庫医科大学病院	集計対象	2,632	1,397	523	72.9
兵庫	兵庫県立丹波医療センター	集計対象	282	129	49	63.1
兵庫	神戸市立西神戸医療センター		1,461	970	205	80.4
兵庫	神鋼記念病院	集計対象	1,079	761	230	91.8
兵庫	兵庫県立尼崎総合医療センター		1,035	835	136	93.8
奈良	奈良県立医科大学附属病院	集計対象	2,474	1,296	615	77.2
奈良	奈良県総合医療センター	集計対象	1,008	635	217	84.5
奈良	天理よろづ相談所病院	集計対象	2,134	1,783	234	94.5
奈良	近畿大学奈良病院	集計対象	1,368	836	264	80.4
奈良	市立奈良病院	集計対象	814	570	102	82.6
奈良	南奈良総合医療センター		193	116	15	67.9
和歌山	紀南病院		668	424	102	78.7
和歌山	南和歌山医療センター		667	364	141	75.7
和歌山	日本赤十字社和歌山医療センター	集計対象	2,005	1,659	213	93.4
和歌山	和歌山県立医科大学附属病院	集計対象	2,622	1,323	894	84.6
和歌山	橋本市民病院	集計対象	527	402	39	83.7
和歌山	公立那賀病院		624	407	76	77.4
鳥取	鳥取県立厚生病院	集計対象	521	363	46	78.5

都道府県	施設名称	集計対象	全登録数	自施設診断 自施設治療 (症例区分 2)	他施設診断 自施設治療 (症例区分 3)	自施設治 療(症例 区分2,3) 登録割合
鳥取	鳥取県立中央病院	集計対象	782	652	68	92.1
鳥取	鳥取大学医学部附属病院	集計対象	1,807	1,165	409	87.1
島根	松江市立病院	集計対象	801	576	91	83.3
島根	松江赤十字病院	集計対象	1,151	920	134	91.6
島根	島根大学医学部附属病院	集計対象	1,245	709	356	85.5
島根	島根県立中央病院	集計対象	1,245	970	143	89.4
島根	独立行政法人国立病院機構 浜田医療センター	集計対象	719	537	87	86.8
岡山	岡山済生会総合病院	集計対象	1,720	1,123	294	82.4
岡山	岡山赤十字病院	集計対象	1,020	758	113	85.4
岡山	岡山大学病院	集計対象	2,750	1,238	882	77.1
岡山	公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構 倉敷中央 病院	集計対象	3,108	2,249	472	87.5
岡山	津山中央病院	集計対象	1,336	845	127	72.8
岡山	岡山医療センター	集計対象	1,136	825	157	86.4
岡山	川崎医科大学附属病院	集計対象	1,570	942	316	80.1
岡山	川崎医科大学総合医療センター	集計対象	655	329	59	59.2
広島	県立広島病院	集計対象	1,606	978	273	77.9
広島	地方独立行政法人広島市立病院機構 広島市立広島 市民病院	集計対象	2,994	1,868	717	86.3
広島	広島赤十字・原爆病院	集計対象	1,368	1,046	179	89.5
広島	独立行政法人国立病院機構 呉医療センター	集計対象	1,640	965	231	72.9
広島	東広島医療センター	集計対象	824	431	125	67.5
広島	JA尾道総合病院	集計対象	1,078	698	241	87.1
広島	福山市民病院	集計対象	1,543	925	343	82.2
広島	市立三次中央病院	集計対象	700	500	90	84.3
山口	山口県立総合医療センター	集計対象	775	546	121	86.1
山口	国立病院機構 岩国医療センター	集計対象	1,030	692	124	79.2
山口	山口県厚生農業協同組合連合会周東総合病院	集計対象	731	466	80	74.7
山口	独立行政法人地域医療機能推進機構徳山中央病院	集計対象	1,424	989	210	84.2
山口	山口大学医学部附属病院	集計対象	1,926	972	583	80.7
山口	医療法人医誠会 都志見	集計対象	297	182	29	71.0
山口	山口県厚生農業協同組合連合会長門総合病院	集計対象	332	252	21	82.2
徳島	徳島県立中央病院	集計対象	1,031	797	122	89.1
徳島	徳島大学病院	集計対象	1,810	889	547	79.3
徳島	徳島赤十字病院	集計対象	1,160	806	196	86.4
徳島	徳島市民病院	集計対象	829	544	164	85.4
徳島	徳島県立三好病院	集計対象	298	199	13	71.1
香川	香川県立中央病院	集計対象	1,481	944	324	85.6
香川	独立行政法人労働者健康安全機構香川労災病院	集計対象	1,351	970	209	87.3
香川	三豊総合病院	集計対象	996	700	90	79.3
香川	高松赤十字病院	集計対象	1,291	871	182	81.6
香川	国立大学法人 香川大学医学部附属病院	集計対象	1,470	732	444	80.0
愛媛	市立宇和島病院	集計対象	1,205	809	168	81.1
愛媛	独立行政法人国立病院 四国がんセンター	集計対象	3,036	1,499	841	77.1
愛媛	住友別子病院	集計対象	588	396	50	75.9
愛媛	愛媛大学医学部附属病院	集計対象	1,812	822	494	72.6
愛媛	愛媛県立中央病院	集計対象	1,931	1,275	285	80.8
愛媛	松山赤十字病院	集計対象	1,541	1,123	144	82.2
愛媛	社会福祉法人恩賜財団済生会今治病院	集計対象	548	262	89	64.1
高知	国立大学法人 高知大学医学部附属病院	集計対象	1,686	1,021	439	86.6
高知	高知県・高知市病院企業団立 高知医療センター	集計対象	1,421	868	433	91.6
高知	高知県立幡多けんみん病院	集計対象	749	473	89	75.0
福岡	久留米大学病院	集計対象	3,071	1,436	690	69.2
福岡	公立八女総合病院	集計対象	527	366	64	81.6
福岡	地方独立行政法人大牟田市立病院	集計対象	768	450	129	75.4
福岡	社会保険田川病院	集計対象	658	454	52	76.9
福岡	飯塚病院	集計対象	1,935	1,378	270	85.2
福岡	独立行政法人国立病院機構 福岡東医療センター	集計対象	614	398	66	75.6
福岡	北九州市立医療センター	集計対象	2,348	1,367	607	84.1
福岡	独立行政法人国立病院機構九州がんセンター	集計対象	2,693	1,167	700	69.3

都道府県	施設名称	集計対象	全登録数	自施設診断 自施設治療 (症例区分 2)	他施設診断 自施設治療 (症例区分 3)	自施設治療(症例 区分2,3) 登録割合
福岡	国立大学法人 九州大学病院	集計対象	3,899	1,699	1,063	70.8
福岡	独立行政法人国立病院機構九州医療センター	集計対象	2,079	1,293	419	82.3
福岡	福岡県済生会福岡総合病院	集計対象	1,460	839	262	75.4
福岡	福岡大学病院	集計対象	1,951	1,064	505	80.4
福岡	聖マリア病院	集計対象	1,209	827	46	72.2
福岡	独立行政法人地域医療機能推進機構 九州病院	集計対象	2,023	1,323	358	83.1
福岡	産業医科大学病院	集計対象	1,913	1,132	423	81.3
福岡	戸畑共立病院	集計対象	792	286	156	55.8
福岡	国家公務員共済組合連合会 浜の町病院	集計対象	1,021	675	135	79.3
福岡	公立学校共済組合 九州中央病院	集計対象	777	505	86	76.1
佐賀	地方独立行政法人 佐賀県医療センター好生館	集計対象	1,289	733	227	74.5
佐賀	国立大学法人 佐賀大学医学部附属病院	集計対象	1,900	865	549	74.4
佐賀	唐津赤十字病院	集計対象	736	447	94	73.5
佐賀	独立行政法人国立病院機構 嬉野医療センター	集計対象	777	497	103	77.2
長崎	日本赤十字社長崎原爆病院	集計対象	1,085	780	214	91.6
長崎	地方独立行政法人 佐世保市総合医療センター	集計対象	1,558	1,047	358	90.2
長崎	独立行政法人国立病院機構長崎医療センター	集計対象	1,683	1,097	330	84.8
長崎	長崎みなとメディカルセンター		934	660	97	81.0
長崎	国立大学法人 長崎大学病院	集計対象	2,440	1,197	841	83.5
長崎	長崎県島原病院	集計対象	674	489	96	86.8
熊本	熊本大学病院	集計対象	2,911	1,494	817	79.4
熊本	独立行政法人労働者健康安全機構 熊本労災病院	集計対象	639	424	81	79.0
熊本	人吉医療センター	集計対象	730	434	70	69.0
熊本	熊本赤十字病院	集計対象	1,438	975	223	83.3
熊本	国立病院機構 熊本医療センター	集計対象	1,573	936	267	76.5
熊本	済生会熊本病院		1,672	1,008	354	81.5
熊本	荒尾市立有明医療センター	集計対象	407	261	55	77.6
大分	大分県立病院	集計対象	1,398	976	274	89.4
大分	大分赤十字病院	集計対象	787	488	141	79.9
大分	大分大学医学部附属病院	集計対象	1,569	738	447	75.5
大分	独立行政法人国立病院機構別府医療センター		734	508	127	86.5
大分	大分県済生会日田病院	集計対象	387	209	37	63.6
大分	中津市立中津市民病院		629	393	125	82.4
宮崎	宮崎県立宮崎病院	集計対象	1,029	735	191	90.0
宮崎	国立病院機構 都城医療センター	集計対象	716	462	138	83.8
宮崎	国立大学法人宮崎大学医学部附属病院		1,602	806	401	75.3
鹿児島	鹿児島大学病院	集計対象	2,103	916	702	76.9
鹿児島	国立病院機構 鹿児島医療センター	集計対象	715	366	192	78.0
鹿児島	鹿児島県立薩南病院	集計対象	175	103	27	74.3
鹿児島	鹿児島県立大島病院		291	213	45	88.7
鹿児島	済生会川内病院		756	292	120	54.5
鹿児島	独立行政法人国立病院機構南九州病院	集計対象	280	176	57	83.2
鹿児島	県民健康プラザ鹿屋医療センター	集計対象	461	204	117	69.6
鹿児島	鹿児島市立病院	集計対象	927	513	143	70.8
鹿児島	公益社団法人 昭代会 いまきいれ総合病院	集計対象	890	432	208	71.9
鹿児島	出水郡医師会広域医療センター	集計対象	306	170	56	73.9
鹿児島	社会医療法人博愛会 相良病院		935	561	128	73.7
沖縄	地方独立行政法人那覇市立病院	集計対象	898	505	176	75.8
沖縄	北部地区医師会病院		228	150	12	71.1
沖縄	沖縄県立中部病院	集計対象	1,007	580	168	74.3
沖縄	琉球大学病院	集計対象	1,113	486	333	73.6
沖縄	沖縄県立宮古病院		191	104	7	58.1

表 2-2-2 拠点外病院調査参加施設の全登録数及び症例区分 2, 3 の登録数

都道府県	施設名称	集計対象	全登録数	自施設診断 自施設治療 (症例区分 2)	他施設診断 自施設治療 (症例区分 3)	自施設治療 (症例 区分 2, 3) 登録割合
総数		46	77,010	53,612	9,338	81.7
北海道	製鉄記念室蘭病院		555	497	38	96.4
北海道	苫小牧市立病院		511	487	4	96.1
北海道	旭川赤十字病院		850	759	68	97.3
青森	三沢市立三沢病院		441	262	84	78.5
青森	青森市民病院		865	611	184	91.9
秋田	中通総合病院	集計対象	590	399	63	78.3
秋田	市立秋田総合病院	集計対象	823	635	105	89.9
山形	鶴岡市立荘内病院	集計対象	883	671	149	92.9
福島	労働者健康安全機構福島労災病院	集計対象	1,021	656	213	85.1
福島	一般財団法人慈山会医学研究所付属坪井病院		728	434	117	75.7
茨城	水戸赤十字病院	集計対象	1,347	1,088	109	88.9
茨城	独立行政法人国立病院機構茨城東病院		191	155	5	83.8
茨城	水戸済生会総合病院		994	667	74	74.5
群馬	独立行政法人地域医療機能推進機構 群馬中央病院	集計対象	457	438	0	95.8
群馬	群馬県済生会前橋病院	集計対象	613	344	115	74.9
群馬	原町赤十字病院		212	126	8	63.2
埼玉	埼玉石心会病院	集計対象	751	440	48	65.0
埼玉	小川赤十字病院		483	358	40	82.4
千葉	医療法人徳洲会千葉徳洲会病院		516	285	33	61.6
千葉	谷津保健病院		386	232	23	66.1
千葉	聖隷佐倉市民病院		131	98	19	89.3
東京	東京女子医科大学病院		4,036	1,839	938	68.8
東京	日本医科大学多摩永山病院	集計対象	853	553	136	80.8
東京	国家公務員共済組合連合会 立川病院		1,288	758	168	71.9
東京	順天堂大学医学部附属練馬病院		1,374	888	217	80.4
東京	地方独立行政法人 東京都立病院機構 東京都立大塚病院	集計対象	687	446	51	72.3
東京	国際医療福祉大学三田病院		1,449	575	244	56.5
東京	JR 東京総合病院		773	526	50	74.5
東京	東京都済生会中央病院		1,082	756	92	78.4
東京	社会福祉法人三井記念病院		1,453	940	172	76.5
東京	社会医療法人河北医療財団 河北総合病院		783	524	42	72.3
東京	日本私立学校振興・共済事業団 東京臨海病院		768	533	58	77.0
東京	東大和病院	集計対象	670	509	26	79.9
神奈川	国家公務員共済組合連合会横浜南共済病院	集計対象	1,137	872	84	84.1
神奈川	一般財団法人神奈川県警友会けいゆう病院		1,037	708	158	83.5
神奈川	済生会横浜市南部病院		1,176	821	176	84.8
新潟	独立行政法人労働者健康安全機構新潟労災病院		462	394	38	93.5
富山	独立行政法人労働者健康安全機構富山労災病院	集計対象	275	217	13	83.6
富山	高岡市民病院		629	490	42	84.6
富山	富山赤十字病院		811	650	77	89.6
富山	済生会高岡病院		224	173	18	85.3
石川	社会医療法人財団董仙会 恵寿総合病院	集計対象	382	296	18	82.2
石川	独立行政法人 地域医療機能推進機構 金沢病院	集計対象	327	241	13	77.7
石川	芳珠記念病院		275	210	21	84.0
石川	公立松任石川中央病院		520	489	17	97.3
石川	金沢赤十字病院		126	59	35	74.6
福井	独立行政法人国立病院機構 敦賀医療センター		181	112	24	75.1
山梨	市立甲府病院	集計対象	638	437	94	83.2
静岡	沼津市立病院	集計対象	1,010	653	76	72.2
静岡	焼津市立総合病院	集計対象	841	594	104	83.0
静岡	富士宮市立病院		648	449	58	78.2
静岡	国立病院機構 静岡医療センター		571	328	52	66.5
静岡	静岡済生会総合病院	集計対象	582	482	51	91.6
静岡	島田市立総合医療センター		869	723	46	88.5
愛知	春日井市民病院	集計対象	1,131	895	95	87.5
愛知	名古屋記念病院		665	481	54	80.5
愛知	トヨタ記念病院		794	781	1	98.5
愛知	医療法人豊田会 刈谷豊田総合病院		1,619	1,221	141	84.1
愛知	独立行政法人労働者健康安全機構 中部労災病院	集計対象	674	541	46	87.1
三重	済生会松阪総合病院	集計対象	721	573	73	89.6
三重	松阪市民病院		565	458	47	89.4
滋賀	社会医療法人 誠光会 淡海医療センター		594	353	83	73.4

都道府県	施設名称	集計対象	全登録数	自施設診断 自施設治療 (症例区分 2)	他施設診断 自施設治療 (症例区分 3)	自施設治 療(症例 区分2,3) 登録割合
滋賀	近江八幡市立総合医療センター		570	441	85	92.3
滋賀	済生会滋賀県病院		616	441	65	82.1
京都	社会福祉法人 恩賜財団 京都済生会病院		279	213	12	80.6
大阪	高槻赤十字病院		956	566	118	71.5
大阪	地方独立行政法人 市立吹田市民病院	集計対象	650	526	101	96.5
大阪	大阪府済生会千里病院	集計対象	849	651	113	90.0
大阪	箕面市立病院	集計対象	780	570	92	84.9
大阪	社会医療法人愛仁会高槻病院		664	556	41	89.9
大阪	社会医療法人 仙養会 北摂総合病院		258	190	10	77.5
大阪	医療法人徳洲会 八尾徳洲会総合病院		890	630	42	75.5
大阪	ベルランド総合病院		1,220	906	105	82.9
大阪	府中病院		869	624	154	89.5
大阪	社会福祉法人恩賜財団大阪府済生会野江病院	集計対象	850	712	75	92.6
大阪	独立行政法人地域医療機能推進機構 大阪病院	集計対象	746	599	108	94.8
大阪	大阪警察病院	集計対象	1,643	1,180	335	92.2
大阪	市立貝塚病院	集計対象	657	561	62	94.8
兵庫	国立病院機構 神戸医療センター		594	422	45	78.6
兵庫	兵庫県立西宮病院		832	607	162	92.4
奈良	国保中央病院		566	125	12	24.2
奈良	大和高田市立病院	集計対象	507	448	32	94.7
奈良	社会福祉法人恩賜財団 済生会中和病院	集計対象	584	410	49	78.6
鳥取	独立行政法人国立病院機構 米子医療センター	集計対象	481	326	59	80.0
鳥取	鳥取市立病院	集計対象	648	517	69	90.4
鳥取	鳥取生協病院		256	112	9	47.3
鳥取	鳥取赤十字病院		644	501	56	86.5
鳥取	医療法人十字会野島病院		169	145	3	87.6
鳥取	社会医療法人同愛会 博愛病院		287	154	14	58.5
島根	独立行政法人国立病院機構松江医療センター		101	90	5	94.1
岡山	岡山市立市民病院	集計対象	425	320	55	88.2
岡山	一般財団法人 倉敷成人病センター	集計対象	641	463	100	87.8
広島	国家公務員共済組合連合会 呉共済病院	集計対象	757	583	75	86.9
広島	公立学校共済組合 中国中央病院	集計対象	586	482	90	97.6
山口	総合病院山口赤十字病院		660	441	83	79.4
高知	高知赤十字病院	集計対象	815	533	103	78.0
長崎	独立行政法人地域医療機能推進機構 諫早総合病院	集計対象	1,019	711	132	82.7
長崎	佐世保中央病院	集計対象	597	389	91	80.4
熊本	国家公務員共済組合連合会 熊本中央病院	集計対象	1,024	664	190	83.4
熊本	大腸肛門病センター高野病院	集計対象	231	171	41	91.8
熊本	天草地域医療センター	集計対象	285	210	37	86.7
熊本	熊本地域医療センター	集計対象	506	344	76	83.0
宮崎	宮崎県立日南病院		398	223	64	72.1
鹿児島	いづろ今村病院		420	146	181	77.9
鹿児島	南風病院		860	409	218	72.9
鹿児島	鹿児島市医師会病院	集計対象	552	295	230	95.1
沖縄	社会医療法人敬愛会 中頭病院		1080	835	72	84.0
沖縄	社会医療法人かりゆし会 ハートライフ病院	集計対象	466	327	36	77.9

Ⅲ 2012年10年生存率集計 結果詳細(全体) : 悪性新生物<腫瘍>

1. 全がん

	集計対象施設数	集計対象	死亡数	生存状況把握割合 (%)	平均年齢
2012	361	394, 108	208, 254	97.3	67.7

(0) 全がんの生存率集計値

全がんの生存率集計値の算定に当たり、特性が異なるがんの生存率算定の意義について疑問を呈する声もあったが、先行する地域がん登録、全国がんセンター協議会加盟施設における既存生存率集計と比較するため、ここでは院内がん登録10年生存率集計においても全がんの生存率集計結果について提示する。

(1) 生存状況把握割合

対象者は394,108例で、その内10年以内に死亡していた者は208,254例、打ち切りが10,824例であった。全体として、生存状況把握割合は97.3%であった。

(2) 対象者の属性

本集計対象者の属性を表3-1-1に示す。男性が58.2%、女性が41.8%とやや男性が多かった。診断時の年齢は、男女とも70歳代が最も多く、次いで60歳代となっており、60歳代、70歳代で全体の約60.5%を占めた。60.2%の対象者に観血的治療が実施されており、53.5%が原発巣・治癒切除であった。発見経緯別にみると、がん検診または健康診断等が15.6%であった。部位別にみると、男性では胃、肺、前立腺、大腸の順に、女性では乳房、大腸、胃の順に多かった。

表 3-1-1 対象者の属性

	男性		女性		全体	
	対象数	(%)	対象数	(%)	対象数	(%)
全体	229,483	100.0	164,625	100.0	394,108	100.0
拠点病院等	215,039	93.7	154,464	93.8	369,503	93.8
拠点外病院	14,444	6.3	10,161	6.2	24,605	6.2
年齢						
平均年齢(SD)	69.2(11.7)		65.7(15.0)		67.7(13.3)	
0-14歳	716	0.3	616	0.4	1,332	0.3
15-39歳	4,187	1.8	8,199	5.0	12,386	3.1
40歳代	7,396	3.2	16,597	10.1	23,993	6.1
50歳代	23,569	10.3	23,977	14.6	47,546	12.1
60歳代	70,877	30.9	41,450	25.2	112,327	28.5
70歳代	82,878	36.1	43,297	26.3	126,175	32.0
80歳以上	39,860	17.4	30,489	18.5	70,349	17.9
観血的治療						
有	124,852	54.4	112,408	68.3	237,260	60.2
原発巣・治癒切除	110,794	48.3	100,038	60.8	210,832	53.5
原発巣・非治癒切除	10,366	4.5	8,699	5.3	19,065	4.8
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	3,692	1.6	3,671	2.2	7,363	1.9
無	104,631	45.6	52,217	31.7	156,848	39.8
発見経緯						
がん検診	16,811	7.3	14,868	9.0	31,679	8.0
健康診断・人間ドック	19,938	8.7	9,999	6.1	29,937	7.6
他疾患経過観察中	74,454	32.4	40,375	24.5	114,829	29.1
その他・不明	118,280	51.5	99,383	60.4	217,663	55.2
部位						
口腔・口唇(C00)	2,986	1.3	2,084	1.3	5,070	1.3
大唾液腺(C07)	516	0.2	348	0.2	864	0.2
中咽頭(C09)	1,699	0.7	372	0.2	2,071	0.5
上咽頭(C11)	359	0.2	118	0.1	477	0.1
下咽頭(C12)	2,457	1.1	185	0.1	2,642	0.7
食道(C15)	10,439	4.5	1,755	1.1	12,194	3.1
胃(C16)	40,250	17.5	16,612	10.1	56,862	14.4
小腸(C17)	873	0.4	467	0.3	1,340	0.3
結腸(C18)	17,593	7.7	14,669	8.9	32,262	8.2
直腸(C19)	11,415	5.0	6,393	3.9	17,808	4.5
大腸(再掲)	29,008	12.6	21,062	12.8	50,070	12.7
肛門・肛門管(C21)	(181-183)	0.1	187	0.1	(368-370)	0.1
肝臓(C22)	11,516	5.0	5,272	3.2	16,788	4.3
胆嚢胆管(C23)	4,678	2.0	3,735	2.3	8,413	2.1
膵臓(C25)	7,449	3.2	5,837	3.5	13,286	3.4
喉頭(C32)	3,239	1.4	227	0.1	3,466	0.9
肺(C33)	33,299	14.5	15,227	9.2	48,526	12.3
骨軟部(C40)	1,159	0.5	896	0.5	2,055	0.5
皮膚(C44)	5,140	2.2	4,969	3.0	10,109	2.6
乳房(C50)	205	0.1	33,796	20.5	34,001	8.6
膣・外陰(C51)	(1-3)	-	614	0.4	(615-617)	0.2
子宮頸部(C53)	0	-	6,604	4.0	6,604	1.7
子宮体部(C54)	0	-	7,868	4.8	7,868	2.0
子宮(C55)	0	-	25	0.0	25	0.0
卵巣(C56)	0	-	5,045	3.1	5,045	1.3
前立腺(C61)	32,816	14.3	0	-	32,816	8.3
精巣(C62)	995	0.4	0	-	995	0.3
腎(C64)	5,745	2.5	2,410	1.5	8,155	2.1
膀胱(C67)	5,967	2.6	1,794	1.1	7,761	2.0
腎盂・尿管(C68)	2,219	1.0	1,096	0.7	3,315	0.8
脳・中枢神経系(C70)	4,218	1.8	5,621	3.4	9,839	2.5
甲状腺(C73)	1,846	0.8	5,046	3.1	6,892	1.7
悪性リンパ腫(C81)	7,891	3.4	6,745	4.1	14,636	3.7
多発性骨髄腫(C88)	1,728	0.8	1,469	0.9	3,197	0.8
白血病(C91)	3,471	1.5	2,366	1.4	5,837	1.5

その他の血液 (C98)	3,106	1.4	1,805	1.1	4,911	1.2
その他 (C99)	4,026	1.8	2,968	1.8	6,994	1.8

(3)10年生存率

表 3-1-2 に、実測生存率及びネット・サバイバルを示す。年齢が高いほど実測生存率とネット・サバイバルとの乖離が大きくなっているが、これは若年者と比較して高齢者ではがん以外の要因で死亡する例が多くなることが影響していると考えられる。観血的治療の実施別にみると、男女ともに観血的治療有、特に原発巣・治癒切除例において生存率が高くなっていた。

表 3-1-2 属性別 10 年生存率

	男性				女性				全体			
	実測	Net	95%信頼区間		実測	Net	95%信頼区間		実測	Net	95%信頼区間	
全体	40.3	49.4	49.1	49.7	55.3	60.4	60.1	60.7	46.6	54.0	53.8	54.2
拠点病院等	40.4	49.5	49.2	49.8	55.6	60.6	60.3	60.9	46.8	54.1	53.9	54.4
拠点外病院	37.8	47.8	46.7	49.0	51.3	56.6	55.3	57.8	43.4	51.4	50.6	52.3
年齢												
0-14 歳	78.0	78.3	75.3	81.4	82.8	83.0	80.0	86.0	80.2	80.5	78.3	82.7
15-39 歳	74.4	75.0	73.6	76.3	83.1	83.4	82.6	84.3	80.2	80.6	79.9	81.3
40 歳代	65.2	66.5	65.3	67.6	80.8	81.6	81.0	82.2	76.0	77.0	76.4	77.5
50 歳代	57.6	60.7	60.0	61.3	72.8	74.5	73.9	75.1	65.3	67.7	67.2	68.1
60 歳代	50.1	56.5	56.1	57.0	63.5	66.6	66.1	67.1	55.0	60.3	59.9	60.6
70 歳代	36.1	48.0	47.6	48.5	47.1	53.7	53.2	54.3	39.9	50.0	49.6	50.3
80 歳以上	12.3	26.5	25.7	27.2	20.0	31.5	30.7	32.3	15.6	28.6	28.1	29.2
観血的治療												
有	53.6	65.2	64.8	65.6	69.6	75.9	75.6	76.2	61.2	70.3	70.0	70.5
原発巣・治癒切除	55.8	68.1	67.7	68.5	72.6	79.3	78.9	79.6	63.8	73.4	73.1	73.7
原発巣・非治癒切除	31.6	37.4	36.2	38.6	39.0	41.7	40.5	42.9	35.0	39.3	38.5	40.2
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	46.2	55.2	53.1	57.4	59.7	64.2	62.3	66.0	53.0	59.7	58.2	61.1
無	24.3	30.5	30.1	30.8	24.4	26.7	26.2	27.1	24.3	29.2	28.9	29.5

2. 胃がん(胃癌)

	集計対象施設数	集計対象	死亡数	生存状況把握割合 (%)	平均年齢
2012	360	56,237	29,185	97.3	70.6
I期	360	34,744	12,124	96.8	70.7
II期	359	5,255	2,905	97.2	70.5
III期	358	5,953	4,409	98.0	70.2
IV期	359	9,312	8,906	98.9	69.8

(1) 生存状況把握割合

集計対象者は、56,237例で、10年以内に死亡していた者は29,185例、打ち切りが1,496例で、生存状況把握割合は、全体で97.3%であった。

(2) 対象者の属性

胃の集計対象者の属性を表3-2-1に示す。性別にみると、男性が7割以上を占めた。診断時の年齢は、70歳代が最も多く、次いで60歳代となっており、60歳代・70歳代で全体の65.8%を占めた。UICC TNM分類総合ステージを見ると、I期が61.8%、次いでIV期が16.6%であった。約8割において観血的治療が実施されており、74.8%が原発巣・治癒切除例であった。発見経緯としては、他疾患経過観察中が31.2%であった。

表3-2-1 対象者の属性

	男性		女性		全体	
	対象数	(%)	対象数	(%)	対象数	(%)
全体	39,877	100.0	16,360	100.0	56,237	100.0
拠点病院等	37,024	92.8	15,129	92.5	52,153	92.7
拠点外病院	2,853	7.2	1,231	7.5	4,084	7.3
年齢						
平均年齢 (SD)	70.4(9.9)		70.9(12.1)		70.6(10.6)	
0-14歳	-	-	(1-3)	-	-	-
15-39歳	233	0.6	(281-283)	1.7	516	0.9
40歳代	912	2.3	711	4.3	1,623	2.9
50歳代	3,896	9.8	1,556	9.5	5,452	9.7
60歳代	12,222	30.6	3,995	24.4	16,217	28.8
70歳代	15,211	38.1	5,569	34.0	20,780	37.0
80歳以上	7,403	18.6	4,245	25.9	11,648	20.7
UICC TNM 分類総合ステージ						
I期	25,052	62.8	9,692	59.2	34,744	61.8
II期	3,635	9.1	1,620	9.9	5,255	9.3
III期	4,137	10.4	1,816	11.1	5,953	10.6
IV期	6,390	16.0	2,922	17.9	9,312	16.6
不詳	663	1.7	310	1.9	973	1.7
観血的治療						
有	32,109	80.5	12,995	79.4	45,104	80.2
原発巣・治癒切除	29,962	75.1	12,079	73.8	42,041	74.8
原発巣・非治癒切除	1,722	4.3	764	4.7	2,486	4.4
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	425	1.1	152	0.9	577	1.0
無	7,768	19.5	3,365	20.6	11,133	19.8
発見経緯						
がん検診	4,288	10.8	1,572	9.6	5,860	10.4
健康診断・人間ドック	5,028	12.6	1,501	9.2	6,529	11.6
他疾患経過観察中	13,021	32.7	4,511	27.6	17,532	31.2
その他・不明	17,540	44.0	8,776	53.6	26,316	46.8

(3)10 年生存率

10 年生存率を表 3-2-2 に示す。男女別にみた 10 年ネット・サバイバルはほぼ同様であった。年代別にみると、70 歳以上では実測生存率とネット・サバイバルの乖離が大きく、がん以外による死亡も無視できないと考えられる。また、観血的治療を受けた者では、ネット・サバイバルは全体で 70.9%であった。

表 3-2-2 属性別 10 年生存率

	男性			女性			全体		
	実測	Net	95%信頼区間	実測	Net	95%信頼区間	実測	Net	95%信頼区間
全体	45.8	57.3	56.6 58.0	51.9	59.2	58.3 60.2	47.6	57.9	57.3 58.4
拠点病院等	46.2	57.7	57.0 58.5	52.2	59.6	58.6 60.6	47.9	58.3	57.7 58.9
拠点外病院	40.4	51.2	48.4 53.9	47.3	55.1	51.4 58.8	42.5	52.4	50.2 54.6
年齢									
0-39 歳	62.7	63.3	57.0 69.6	59.4	59.6	53.8 65.4	60.9	61.3	57.0 65.6
40 歳代	67.3	68.7	65.6 71.8	66.7	67.4	63.9 71.0	67.1	68.1	65.8 70.5
50 歳代	67.8	71.4	69.8 72.9	65.7	67.3	64.9 69.8	67.2	70.2	68.9 71.6
60 歳代	59.3	67.0	66.0 67.9	65.9	69.3	67.8 70.9	60.9	67.5	66.7 68.4
70 歳代	42.3	56.4	55.3 57.5	55.7	63.7	62.2 65.2	45.9	58.3	57.4 59.2
80 歳以上	15.9	34.0	32.0 36.0	25.1	39.1	36.9 41.3	19.2	35.8	34.3 37.4
UICC TNM 分類総合ステージ									
I 期	61.6	77.6	76.7 78.6	72.2	82.9	81.7 84.0	64.6	79.1	78.3 79.8
II 期	41.6	50.4	48.2 52.6	49.3	55.6	52.6 58.7	44.0	52.0	50.2 53.8
III 期	23.8	28.3	26.6 30.0	28.6	31.6	29.1 34.0	25.2	29.3	27.9 30.7
IV 期	3.1	3.7	3.2 4.2	3.9	4.3	3.5 5.1	3.4	3.9	3.4 4.3
不詳	12.4	15.2	11.2 19.1	10.9	12.5	8.0 17.0	11.9	14.4	11.3 17.5
観血的治療									
有	55.9	69.9	69.1 70.7	64.3	73.3	72.3 74.4	58.3	70.9	70.3 71.6
原発巣・治癒切除	58.3	72.8	72.0 73.6	67.5	76.9	75.8 78.0	60.9	74.0	73.3 74.6
原発巣・非治癒切除	18.0	23.6	20.9 26.2	17.4	20.1	16.7 23.5	17.8	22.5	20.3 24.6
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	43.4	55.9	49.2 62.7	47.5	57.5	47.5 67.5	44.5	56.3	50.7 61.9
無	3.5	4.4	3.7 5.1	3.3	4.0	3.1 4.8	3.4	4.3	3.7 4.8

3. 大腸がん(大腸癌)・結腸がん(結腸癌)・直腸がん(直腸癌)

大腸がん(大腸癌)

	集計対象施設数	集計対象	死亡数	生存状況把握割合 (%)	平均年齢
2012	360	49,206	24,920	97.0	69.6
I 期	360	12,816	4,238	96.3	69.4
II 期	360	13,264	5,482	96.5	71.1
III 期	359	12,559	5,879	97.0	68.8
IV 期	359	9,701	8,613	98.5	68.4

(1) 生存状況把握割合

集計対象 49,206 例のうち、10 年以内に死亡していた者は 24,920 例、打ち切りが 1,475 例で、全体として生存状況把握割合は 97.0%であった。

(2) 対象者の属性

対象者の属性を表 3-3①-1 に示す。性別にみると、女性より男性がやや多く男性が 57.9%を占めた。診断時の年齢は、男女ともに 70 歳代が最も多く、次いで男性は 60 歳代、女性は 80 歳以上が多くなっていた。UICC TNM 分類総合ステージ別にみると、全体では I、II、III 期ともに 25%以上となった。87.2%の対象者がなんらかの観血的治療を受けており、78.4%が原発巣・治癒切除例であった。発見経緯としては、他疾患経過観察中が 23.8%、がん検診が 10.7%、健康診断・人間ドックが 7.6%であった。

表 3-3①-1 対象者の属性

	男性		女性		全体	
	対象数	(%)	対象数	(%)	対象数	(%)
全体	28,476	100.0	20,730	100.0	49,206	100.0
拠点病院等	26,006	91.3	18,961	91.5	44,967	91.4
拠点外病院	2,470	8.7	1,769	8.5	4,239	8.6
年齢						
平均年齢 (SD)	69.1 (11.0)		70.4 (12.5)		69.6 (11.7)	
0-14 歳	(1-3)	-	-	-	(1-3)	-
15-39 歳	(367-369)	1.3	316	1.5	(685-687)	1.4
40 歳代	1,084	3.8	1,008	4.9	2,092	4.3
50 歳代	3,403	12.0	2,440	11.8	5,843	11.9
60 歳代	8,960	31.5	5,225	25.2	14,185	28.8
70 歳代	9,689	34.0	6,408	30.9	16,097	32.7
80 歳以上	4,968	17.4	5,333	25.7	10,301	20.9
UICC TNM 分類総合ステージ						
I 期	7,811	27.4	5,005	24.1	12,816	26.0
II 期	7,615	26.7	5,649	27.3	13,264	27.0
III 期	6,969	24.5	5,590	27.0	12,559	25.5
IV 期	5,585	19.6	4,116	19.9	9,701	19.7
不詳	496	1.7	370	1.8	866	1.8
観血的治療						
有	24,825	87.2	18,105	87.3	42,930	87.2
原発巣・治癒切除	22,345	78.5	16,241	78.3	38,586	78.4
原発巣・非治癒切除	2,055	7.2	1,534	7.4	3,589	7.3
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	425	1.5	330	1.6	755	1.5
無	3,651	12.8	2,625	12.7	6,276	12.8
発見経緯						
がん検診	2,976	10.5	2,278	11.0	5,254	10.7
健康診断・人間ドック	2,346	8.2	1,408	6.8	3,754	7.6
他疾患経過観察中	7,097	24.9	4,623	22.3	11,720	23.8
その他・不明	16,057	56.4	12,421	59.9	28,478	57.9

(3)10年生存率

10年生存率を表3-3①-2に示す。10年ネット・サバイバルは、男女ともほぼ同様であり全体では58.1%であった。他の部位と同様、年代が高くなるほど、実測生存率とネット・サバイバルの差が大きくなるが、これは高齢者ほど他疾患で亡くなる例が少ないためと考えられる。UICC TNM分類総合ステージ別にネット・サバイバルをみると、I期では79.2%、II期では70.7%であった。観血的治療を受けたものは、ネット・サバイバルは65.6%であり、原発巣・治癒切除例においては70.0%であった。

表3-3①-2 属性別10年生存率

	男性				女性				全体			
	実測	Net	95%信頼区間		実測	Net	95%信頼区間		実測	Net	95%信頼区間	
全体	45.8	56.6	55.7	57.4	52.7	60.3	59.4	61.1	48.7	58.1	57.5	58.7
拠点病院等	45.9	56.6	55.7	57.5	52.8	60.4	59.4	61.3	48.8	58.2	57.5	58.8
拠点外病院	45.1	56.3	53.4	59.3	51.5	58.9	55.4	62.3	47.8	57.4	55.1	59.6
年齢												
0-39歳	64.8	65.4	60.3	70.5	63.6	63.9	58.5	69.3	64.2	64.6	60.9	68.4
40歳代	64.9	66.2	63.2	69.1	67.7	68.5	65.5	71.4	66.3	67.3	65.2	69.4
50歳代	64.7	68.2	66.5	69.9	68.2	69.8	67.9	71.7	66.2	68.9	67.6	70.2
60歳代	56.2	63.4	62.2	64.6	65.4	68.7	67.3	70.0	59.6	65.3	64.4	66.2
70歳代	41.8	55.5	54.2	56.9	55.4	63.4	62.0	64.8	47.2	58.7	57.7	59.6
80歳以上	16.0	35.3	32.7	37.9	26.1	41.7	39.5	44.0	21.2	38.6	36.9	40.4
UICC TNM分類総合ステージ												
I期	61.9	76.6	75.0	78.2	73.2	83.2	81.5	84.9	66.3	79.2	78.0	80.4
II期	54.8	69.2	67.4	70.9	62.3	72.8	70.9	74.6	58.0	70.7	69.4	72.0
III期	48.5	58.8	57.1	60.4	57.7	65.2	63.5	66.8	52.6	61.6	60.4	62.8
IV期	9.7	11.3	10.4	12.3	10.9	11.9	10.8	12.9	10.2	11.6	10.8	12.3
不詳	18.5	22.0	17.1	27.0	15.8	18.2	13.5	23.0	17.4	20.4	16.9	23.9
観血的治療												
有												
原発巣・治癒切除	51.7	63.8	62.9	64.8	59.6	68.1	67.2	69.1	55.0	65.6	65.0	66.3
原発巣・非治癒切除	55.0	68.0	67.0	69.0	63.6	72.9	71.9	73.9	58.6	70.0	69.3	70.7
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	18.3	22.1	19.8	24.3	19.6	21.4	19.0	23.8	18.9	21.8	20.1	23.4
無	38.3	47.1	41.0	53.2	44.6	50.1	43.3	56.9	41.1	48.5	43.9	53.0
	5.5	6.6	5.6	7.5	4.8	5.3	4.3	6.3	5.2	6.0	5.3	6.8

結腸がん(結腸癌)

	集計対象施設数	集計対象	死亡数	生存状況把握割合 (%)	平均年齢
2012	360	32,201	16,579	97.0	70.8
I 期	360	8,268	2,872	96.3	70.4
II 期	360	9,279	3,863	96.4	72.1
III 期	358	7,711	3,659	97.0	70.3
IV 期	359	6,381	5,715	98.7	69.3

(1) 生存状況把握割合

対象数は、32,201 例、うち死亡数が 16,579 例、打ち切り数が 963 例で生存状況把握割合は 97.0%であった。

(2) 対象者の属性

対象者の属性を表 3-3②-1 に示す。男性が 54.5%、女性が 45.5%を占め、平均年齢は、70.8 歳であった。UICC TNM 分類総合ステージ別にみると、I～III期が約 25%前後であった。88%になんらかの観血的治療が実施されていた。

表 3-3②-1 対象者の属性

	男性		女性		全体	
	対象数	(%)	対象数	(%)	対象数	(%)
全体	17,562	100.0	14,639	100.0	32,201	100.0
拠点病院等	15,981	91.0	13,385	91.4	29,366	91.2
拠点外病院	1,581	9.0	1,254	8.6	2,835	8.8
年齢						
平均年齢 (SD)	70.3 (10.9)		71.4 (12.2)		70.8 (11.5)	
0-14 歳	(1-3)	-	0	0	(1-3)	-
15-39 歳	(210-212)	1.2	188	1.3	(398-400)	1.2
40 歳代	557	3.2	596	4.1	1,153	3.6
50 歳代	1,742	9.9	1,528	10.4	3,270	10.2
60 歳代	5,089	29.0	3,556	24.3	8,645	26.8
70 歳代	6,397	36.4	4,654	31.8	11,051	34.3
80 歳以上	3,563	20.3	4,117	28.1	7,680	23.9
UICC TNM 分類総合ステージ						
I 期	4,967	28.3	3,301	22.5	8,268	25.7
II 期	4,996	28.4	4,283	29.3	9,279	28.8
III 期	3,877	22.1	3,834	26.2	7,711	23.9
IV 期	3,423	19.5	2,958	20.2	6,381	19.8
不詳	299	1.7	263	1.8	562	1.7
観血的治療						
有	15,508	88.3	12,842	87.7	28,350	88.0
原発巣・治癒切除	13,979	79.6	11,498	78.5	25,477	79.1
原発巣・非治癒切除	1,271	7.2	1,106	7.6	2,377	7.4
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	258	1.5	238	1.6	496	1.5
無	2,054	11.7	1,797	12.3	3,851	12.0
発見経緯						
がん検診	1,911	10.9	1,661	11.3	3,572	11.1
健康診断・人間ドック	1,437	8.2	1,044	7.1	2,481	7.7
他疾患経過観察中	5,129	29.2	3,675	25.1	8,804	27.3
その他・不明	9,085	51.7	8,259	56.4	17,344	53.9

(3)10年生存率

表 3-3②-2 結腸に、属性別 10 年実測生存率とネット・サバイバルを示す。年齢が高くなるほど実測生存率とネット・サバイバルの差に乖離が大きくなる傾向にあった。これは年齢が高いほどがん以外の死因で亡くなる確率が高くなるものが影響していると考えられる。UICC TNM 分類総合ステージ別にみると、I 期ではネット・サバイバルは 78.5%であった。

表 3-3②-2 属性別 10 年生存率

	男性				女性				全体			
	実測	Net	95%信頼区間		実測	Net	95%信頼区間		実測	Net	95%信頼区間	
全体	44.7	56.4	55.3	57.5	51.6	59.8	58.7	60.9	47.8	58.0	57.2	58.8
拠点病院等	44.7	56.4	55.3	57.6	51.7	59.9	58.8	61.1	47.9	58.0	57.2	58.8
拠点外病院	44.3	56.5	52.7	60.3	50.4	58.5	54.5	62.5	47.0	57.4	54.6	60.2
年齢												
0-39 歳	62.0	62.5	55.8	69.3	63.0	63.3	56.3	70.3	62.5	62.9	58.0	67.8
40 歳代	65.2	66.4	62.3	70.5	65.9	66.5	62.6	70.4	65.5	66.5	63.7	69.3
50 歳代	65.6	69.1	66.7	71.5	67.0	68.7	66.2	71.1	66.3	68.9	67.2	70.6
60 歳代	57.2	64.6	63.0	66.1	65.3	68.6	66.9	70.2	60.5	66.2	65.1	67.4
70 歳代	42.4	56.5	54.8	58.2	55.0	63.0	61.4	64.7	47.7	59.3	58.1	60.5
80 歳以上	16.3	36.3	33.1	39.5	27.3	43.9	41.4	46.5	22.2	40.4	38.4	42.4
UICC TNM 分類総合ステージ												
I 期	59.6	75.3	73.2	77.4	72.1	83.3	81.3	85.4	64.6	78.5	77.0	80.0
II 期	53.6	69.2	66.9	71.4	62.3	73.6	71.5	75.8	57.6	71.2	69.6	72.8
III 期	47.4	58.8	56.5	61.1	56.5	64.8	62.7	66.8	51.9	61.8	60.2	63.3
IV 期	9.1	10.8	9.5	12.0	9.8	10.7	9.4	11.9	9.5	10.7	9.9	11.6
不詳	17.8	21.1	15.5	26.7	13.7	16.1	10.8	21.4	15.8	18.9	14.9	22.8
観血的治療												
有	50.1	63.2	62.0	64.4	58.3	67.6	66.4	68.7	53.8	65.2	64.4	66.0
原発巣・治癒切除	53.4	67.4	66.1	68.7	62.5	72.5	71.3	73.8	57.5	69.7	68.8	70.6
原発巣・非治癒切除	16.3	20.3	17.5	23.1	18.3	20.0	17.3	22.7	17.2	20.2	18.3	22.2
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	37.7	47.9	39.8	56.0	43.2	49.8	41.4	58.1	40.4	48.8	43.0	54.6
無	3.5	4.6	3.5	5.7	3.1	3.5	2.6	4.5	3.3	4.1	3.4	4.9

直腸がん(直腸癌)

	集計対象施設数	集計対象	死亡数	生存状況把握割合 (%)	平均年齢
2012	358	17,005	8,341	97.0	67.4
I 期	357	4,548	1,366	96.4	67.5
II 期	357	3,985	1,619	96.6	68.8
III 期	358	4,848	2,220	96.9	66.4
IV 期	357	3,320	2,898	98.3	66.6

(1) 生存状況把握割合

対象数は、17,005 例、うち死亡数が 8,341 例、打ち切り数が 512 例で生存状況把握割合は 97.0%であった。

(2) 対象者の属性

対象者の属性を表 3-3③-1 に示す。男性が 64.2%、女性が 35.8%であり、平均年齢は 67.4 歳であった。UICC TNM 分類総合ステージ別にみると、III 期が約 28.5%であった。85.7%になんらかの観血的治療が実施されていた。

表 3-3③-1 対象者の属性

	男性		女性		全体	
	対象数	(%)	対象数	(%)	対象数	(%)
全体	10,914	100.0	6,091	100.0	17,005	100.0
拠点病院等	10,025	91.9	5,576	91.5	15,601	91.7
拠点外病院	889	8.1	515	8.5	1,404	8.3
年齢						
平均年齢 (SD)	67.1 (11.0)		68.0 (12.8)		67.4 (11.7)	
0-14 歳	-	-	-	-	-	-
15-39 歳	158	1.4	128	2.1	286	1.7
40 歳代	527	4.8	412	6.8	939	5.5
50 歳代	1,661	15.2	912	15.0	2,573	15.1
60 歳代	3,871	35.5	1,669	27.4	5,540	32.6
70 歳代	3,292	30.2	1,754	28.8	5,046	29.7
80 歳以上	1,405	12.9	1,216	20.0	2,621	15.4
UICC TNM 分類総合ステージ						
I 期	2,844	26.1	1,704	28.0	4,548	26.7
II 期	2,619	24.0	1,366	22.4	3,985	23.4
III 期	3,092	28.3	1,756	28.8	4,848	28.5
IV 期	2,162	19.8	1,158	19.0	3,320	19.5
不詳	197	1.8	107	1.8	304	1.8
観血的治療						
有	9,317	85.4	5,263	86.4	14,580	85.7
原発巣・治癒切除	8,366	76.7	4,743	77.9	13,109	77.1
原発巣・非治癒切除	784	7.2	428	7.0	1,212	7.1
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	167	1.5	92	1.5	259	1.5
無	1,597	14.6	828	13.6	2,425	14.3
発見経緯						
がん検診	1,065	9.8	617	10.1	1,682	9.9
健康診断・人間ドック	909	8.3	364	6.0	1,273	7.5
他疾患経過観察中	1,968	18.0	948	15.6	2,916	17.1
その他・不明	6,972	63.9	4,162	68.3	11,134	65.5

(3)10年生存率

表 3-3③-2 直腸に、属性別 10 年実測生存率とネット・サバイバルを示す。70 歳以上では実測生存率とネット・サバイバルの差が大きくなる傾向にあった。これは年齢が高いほどがん以外の死因で亡くなる確率が高くなることが影響していると考えられる。UICC TNM 分類総合ステージ別にみると、全体では I 期のネット・サバイバルは 80.4%であった。

表 3-3③-2 属性別 10 年生存率

	男性				女性				全体			
	実測	Net	95%信頼区間		実測	Net	95%信頼区間		実測	Net	95%信頼区間	
全体	47.5	56.7	55.4	58.0	55.3	61.0	59.4	62.7	50.3	58.2	57.2	59.2
拠点病院等	47.7	56.8	55.5	58.1	55.3	61.1	59.5	62.8	50.4	58.3	57.3	59.4
拠点外病院	45.9	55.3	50.7	59.9	54.8	60.3	53.6	66.9	49.2	57.1	53.3	61.0
年齢												
0-39 歳	66.9	67.5	59.8	75.2	63.8	64.1	55.6	72.5	65.4	65.9	60.2	71.6
40 歳代	64.0	65.3	61.0	69.6	70.0	70.8	66.2	75.4	66.6	67.7	64.6	70.8
50 歳代	63.8	67.1	64.7	69.6	70.4	72.1	69.0	75.1	66.1	68.9	66.9	70.8
60 歳代	55.2	62.2	60.4	64.0	65.5	68.7	66.3	71.1	58.3	64.2	62.7	65.6
70 歳代	40.7	53.7	51.4	56.0	56.4	64.2	61.5	66.9	46.2	57.4	55.6	59.2
80 歳以上	14.7	31.6	27.0	36.1	21.8	33.5	29.1	37.9	17.9	32.4	29.3	35.6
UICC TNM 分類総合ステージ												
I 期	65.9	78.9	76.5	81.4	75.4	83.0	80.0	86.0	69.4	80.4	78.5	82.4
II 期	57.1	69.0	66.3	71.7	62.2	69.8	66.3	73.2	58.9	69.3	67.1	71.4
III 期	50.0	58.9	56.5	61.3	59.8	65.6	62.7	68.5	53.6	61.3	59.5	63.2
IV 期	10.7	12.2	10.7	13.8	13.5	14.7	12.5	16.9	11.7	13.1	11.8	14.4
不詳	19.8	23.5	15.0	32.0	22.9	25.3	15.4	35.1	20.9	24.1	17.5	30.8
観血的治療												
有	54.2	64.7	63.3	66.1	62.5	69.1	67.4	70.8	57.2	66.3	65.2	67.4
原発巣・治癒切除	57.6	68.9	67.4	70.4	66.4	73.5	71.7	75.3	60.8	70.6	69.4	71.7
原発巣・非治癒切除	21.3	24.7	20.9	28.6	22.6	24.4	19.8	29.1	21.8	24.6	21.6	27.6
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	38.1	44.7	35.5	54.0	48.7	51.6	40.2	62.9	41.9	47.2	40.0	54.4
無	8.1	9.1	7.5	10.8	8.3	9.1	6.7	11.5	8.2	9.1	7.7	10.5

4. 肝細胞がん(肝細胞癌)・肝内胆管がん(肝内胆管癌)

肝細胞がん(肝細胞癌)

	集計対象施設数	集計対象	死亡数	生存状況把握割合 (%)	平均年齢
2012	351	14,656	11,525	98.2	70.8
I期	351	6,413	4,384	98.1	71.1
II期	347	4,423	3,559	98.1	70.7
III期	344	2,417	2,243	98.3	71.0
IV期	316	1,078	1,046	98.4	68.8

(1) 生存状況把握割合

対象者は、14,656例で、そのうち10年以内に死亡していたのは11,525例、打ち切りが268例であった。全体として、生存状況把握割合は98.2%であった。

(2) 対象者の属性

対象者の属性を表3-4①-1に示す。性別にみると、男性が69.5%を占めた。年代をみると、70歳代が最も多く男性で37.4%、女性は45.2%を占めた。UICC TNM総合ステージ別にみると、全体でI期が43.8%、II期が30.2%、III期が16.5%となっていた。27.4%に観血的治療が実施されていた。発見経緯としては、他疾患経過観察中が68.7%を占めた。

表 3-4①-1 対象者の属性

	男性		女性		全体	
	対象数	(%)	対象数	(%)	対象数	(%)
全体	10,193	100.0	4,463	100.0	14,656	100.0
拠点病院等	9,511	93.3	4,169	93.4	13,680	93.3
拠点外病院	682	6.7	294	6.6	976	6.7
年齢						
平均年齢 (SD)	69.6 (10.1)		73.6 (9.5)		70.8 (10.1)	
0-14歳	(1-3)	-	(1-3)	-	(4-6)	-
15-39歳	(71-73)	0.7	(22-24)	0.5	(93-97)	0.6
40歳代	281	2.8	54	1.2	335	2.3
50歳代	1,185	11.6	230	5.2	1,415	9.7
60歳代	3,208	31.5	961	21.5	4,169	28.4
70歳代	3,817	37.4	2,017	45.2	5,834	39.8
80歳以上	1,628	16.0	1,175	26.3	2,803	19.1
UICC TNM 分類総合ステージ						
I期	4,133	40.5	2,280	51.1	6,413	43.8
II期	3,101	30.4	1,322	29.6	4,423	30.2
III期	1,890	18.5	527	11.8	2,417	16.5
IV期	858	8.4	220	4.9	1,078	7.4
不詳	211	2.1	114	2.6	325	2.2
取扱い規約治療前ステージ						
I期	2,068	20.3	1,317	29.5	3,385	23.1
II期	3,621	35.5	1,685	37.8	5,306	36.2
III期	2,424	23.8	833	18.7	3,257	22.2
IV期	1,740	17.1	463	10.4	2,203	15.0
不詳	223	2.2	117	2.6	340	2.3
空欄他	117	1.1	48	1.1	165	1.1
観血的治療						
有	3,034	29.8	975	21.8	4,009	27.4
原発巣・治癒切除	2,792	27.4	904	20.3	3,696	25.2
原発巣・非治癒切除	153	1.5	47	1.1	200	1.4
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	89	0.9	24	0.5	113	0.8
無	7,159	70.2	3,488	78.2	10,647	72.6
発見経緯						
がん検診	64	0.6	14	0.3	78	0.5
健康診断・人間ドック	416	4.1	67	1.5	483	3.3
他疾患経過観察中	6,714	65.9	3,350	75.1	10,064	68.7
その他・不明	2,999	29.4	1,032	23.1	4,031	27.5

取扱い規約治療前ステージが0期の者を若干名含む

(3)10年生存率

10年生存率を表3-4①-2に示す。全体として、ネット・サバイバルは男性23.9%、女性24.0%であった。他の部位と比較して、80歳以上を除き年代による実測生存率とネット・サバイバルの差はやや小さくなっており、予後があまり良くないことを示唆している。UICC TNM 分類別にみると、I期ではネット・サバイバルは全体で36.3%である。観血的治療を受けた者の割合は約27%であるが、観血的治療を受けたもののネット・サバイバルは46.6%であった。

表3-4①-2 属性別10年生存率

	男性			女性			全体		
	実測	Net	95%信頼区間	実測	Net	95%信頼区間	実測	Net	95%信頼区間
全体	19.9	23.9	22.9 24.9	21.5	24.0	22.6 25.5	20.4	23.9	23.1 24.8
拠点病院等	20.2	24.3	23.2 25.3	21.8	24.4	22.9 25.9	20.7	24.3	23.4 25.2
拠点外病院	15.4	18.5	14.7 22.3	16.5	18.3	13.3 23.3	15.7	18.5	15.4 21.6
年齢									
0-39歳	42.8	43.1	31.4 54.8	-	-	- -	44.9	45.2	35.1 55.3
40歳代	40.6	41.4	35.5 47.4	48.0	48.5	35.2 61.7	41.8	42.6	37.1 48.0
50歳代	29.5	31.0	28.3 33.8	44.8	45.9	39.3 52.5	32.0	33.5	30.9 36.1
60歳代	25.8	29.1	27.3 30.8	34.9	36.8	33.6 40.0	27.9	30.8	29.3 32.4
70歳代	16.2	21.5	19.9 23.1	19.7	22.6	20.6 24.7	17.4	21.9	20.6 23.1
80歳以上	5.3	10.3	7.9 12.7	6.7	9.6	7.4 11.9	5.9	10.0	8.3 11.7
UICC TNM 分類総合ステージ									
I期	31.5	38.1	36.2 40.0	29.5	33.1	30.9 35.4	30.8	36.3	34.8 37.8
II期	18.7	22.2	20.4 24.1	17.9	20.0	17.6 22.4	18.5	21.6	20.1 23.0
III期	5.9	7.2	5.8 8.6	6.0	6.7	4.3 9.1	5.9	7.1	5.8 8.3
IV期	1.5	1.7	0.8 2.7	2.0	2.3	0.2 4.4	1.6	1.9	1.0 2.7
不詳	7.5	8.5	4.0 12.9	8.2	8.6	3.1 14.0	7.7	8.5	5.1 12.0
取扱い規約治療前ステージ									
I期	34.1	40.2	37.6 42.9	33.1	36.9	33.8 40.0	33.7	39.0	36.9 41.0
II期	25.6	31.3	29.4 33.3	23.2	26.0	23.6 28.4	24.9	29.6	28.1 31.2
III期	11.8	14.1	12.4 15.8	10.6	12.0	9.5 14.5	11.5	13.6	12.2 15.0
IV期	3.0	3.5	2.5 4.6	3.7	4.1	2.1 6.1	3.1	3.7	2.7 4.6
不詳	12.2	14.5	8.8 20.1	13.2	14.1	7.4 20.8	12.6	14.4	10.0 18.7
観血的治療									
有	38.1	46.0	43.7 48.2	43.7	48.4	44.7 52.0	39.5	46.6	44.6 48.5
原発巣・治癒切除	39.7	47.8	45.5 50.2	45.0	49.7	46.0 53.5	41.0	48.3	46.3 50.3
原発巣・非治癒切除	16.6	19.5	12.2 26.7	24.0	27.2	13.2 41.3	18.2	21.1	14.6 27.7
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	27.5	33.0	21.3 44.6	-	-	- -	28.8	34.4	24.0 44.7
無	12.0	14.5	13.4 15.5	15.2	17.2	15.8 18.6	13.1	15.4	14.5 16.2

肝内胆管がん(肝内胆管癌)

	集計対象施設数	集計対象	死亡数	生存状況把握割合 (%)	平均年齢
2012	303	2,070	1,853	98.8	70.9
I期	150	241	167	97.9	72.4
II期	181	376	301	97.6	70.0
III期	87	116	101	100.0	72.0
IV期	303	1,120	1,081	99.2	70.5

(1) 生存状況把握割合

対象者は、2,070例で、そのうち10年以内に死亡していたのは1,853例、打ち切りが25例であった。全体として、生存状況把握割合は98.8%であった。

(2) 対象者の属性

対象者の属性を表3-4②-1に示す。性別にみると、男性が約62%を占めた。年代をみると、70歳代が最も多く男性で37.2%、女性は37.4%を占めた。UICC TNM総合ステージ別にみると、全体でI期が11.6%、II期が18.2%、III期が5.6%、IV期が54.1%であった。35.8%に観血的治療が実施されていた。発見経緯としては、他疾患経過観察中が44.8%を占めた。

表 3-4②-1 対象者の属性

	男性		女性		全体	
	対象数	(%)	対象数	(%)	対象数	(%)
全体	1,292	100.0	778	100.0	2,070	100.0
拠点病院等	1,200	92.9	724	93.1	1,924	92.9
拠点外病院	92	7.1	54	6.9	146	7.1
年齢						
平均年齢 (SD)	70.3(10.2)		71.8(10.8)		70.9(10.5)	
0-14歳	-	-	-	-	-	-
15-39歳	(7-9)	-	(7-9)	-	17	0.8
40歳代	(30-32)	2.5	(17-19)	2.4	51	2.5
50歳代	133	10.3	53	6.8	186	9.0
60歳代	403	31.2	212	27.2	615	29.7
70歳代	481	37.2	291	37.4	772	37.3
80歳以上	234	18.1	195	25.1	429	20.7
UICC TNM 分類総合ステージ						
I期	163	12.6	78	10.0	241	11.6
II期	231	17.9	145	18.6	376	18.2
III期	75	5.8	41	5.3	116	5.6
IV期	692	53.6	428	55.0	1,120	54.1
不詳	131	10.1	86	11.1	217	10.5
取扱い規約治療前ステージ						
I期	59	4.6	38	4.9	97	4.7
II期	209	16.2	116	14.9	325	15.7
III期	190	14.7	123	15.8	313	15.1
IV期	628	48.6	373	47.9	1,001	48.4
不詳	113	8.7	59	7.6	172	8.3
空欄	93	7.2	69	8.9	162	7.8
観血的治療						
有	470	36.4	271	34.8	741	35.8
原発巣・治癒切除	396	30.7	220	28.3	616	29.8
原発巣・非治癒切除	54	4.2	38	4.9	92	4.4
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	20	1.5	13	1.7	33	1.6
無	822	63.6	507	65.2	1,329	64.2
発見経緯						
がん検診	18	1.4	10	1.3	28	1.4
健康診断・人間ドック	85	6.6	38	4.9	123	5.9
他疾患経過観察中	599	46.4	329	42.3	928	44.8
その他・不明	590	45.7	401	51.5	991	47.9

(3)10年生存率

10年生存率を表3-4②-2に示す。ネット・サバイバルは全体で11.2%であった。UICC TNM分類別にみると、I期ではネット・サバイバルは全体で33.9%であった。観血的治療を受けた者の割合は35.8%であるが、観血的治療を受けたもののネット・サバイバルは29.0%であった。

表3-4②-2 属性別10年生存率

	男性				女性				全体			
	実測	Net	95%信頼区間		実測	Net	95%信頼区間		実測	Net	95%信頼区間	
全体	8.9	10.8	8.8	12.8	10.7	11.9	9.4	14.5	9.6	11.2	9.7	12.8
拠点病院等	9.0	10.8	8.7	12.8	10.7	11.9	9.3	14.5	9.6	11.2	9.6	12.8
拠点外病院	7.6	12.0	2.3	21.7	11.8	12.8	3.6	22.1	9.2	12.3	5.1	19.6
年齢												
0-39歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
40歳代	-	-	-	-	-	-	-	-	17.5	17.6	6.9	28.3
50歳代	12.2	12.8	7.0	18.6	15.7	16.1	6.2	26.0	13.2	13.8	8.7	18.9
60歳代	10.9	12.2	8.7	15.7	15.3	16.0	10.9	21.1	12.4	13.5	10.6	16.4
70歳代	8.9	12.0	8.5	15.4	9.7	10.7	6.9	14.5	9.2	11.6	8.9	14.2
80歳以上	1.4	3.0	0.0	6.2	4.5	6.6	2.2	10.9	2.8	4.6	1.8	7.4
UICC TNM分類総合ステージ												
I期	26.8	32.5	23.5	41.4	33.3	37.1	24.9	49.3	28.9	33.9	26.6	41.2
II期	15.7	18.6	12.8	24.5	24.0	25.8	18.0	33.6	18.8	21.4	16.6	26.2
III期	9.7	15.1	5.5	24.7	17.5	19.4	6.9	31.8	12.5	16.7	8.9	24.5
IV期	2.9	3.3	1.7	4.9	2.4	2.7	1.1	4.4	2.7	3.1	1.9	4.3
不詳	5.7	6.9	1.8	12.0	6.3	8.1	1.6	14.6	5.9	7.4	3.2	11.6
取扱い規約治療前ステージ												
I期	26.8	33.4	17.3	49.4	42.9	48.5	30.0	67.0	33.0	39.2	26.6	51.7
II期	20.1	24.8	17.7	31.9	21.1	22.8	14.6	31.0	20.5	24.1	18.6	29.5
III期	10.6	12.3	6.9	17.7	16.0	18.4	10.8	25.9	12.7	14.7	10.2	19.2
IV期	2.3	2.7	1.3	4.1	1.4	1.6	0.3	2.9	2.0	2.3	1.3	3.3
不詳	11.1	14.0	6.5	21.6	15.1	16.1	6.1	26.1	12.4	14.7	8.5	20.9
観血的治療												
有	22.4	27.2	22.3	32.1	29.1	32.1	26.0	38.3	24.9	29.0	25.1	32.9
原発巣・治癒切除	24.1	29.4	23.9	35.0	31.5	34.6	27.6	41.6	26.8	31.3	26.9	35.7
原発巣・非治癒切除	5.8	6.1	0.0	12.6	21.6	22.8	9.4	36.2	12.4	13.6	6.1	21.1
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	-	-	-	-	-	-	-	-	26.1	29.1	12.7	45.4
無	1.2	1.4	0.5	2.3	0.6	0.9	0.0	1.7	1.0	1.2	0.5	1.8

5. 小細胞肺がん(小細胞肺癌)・非小細胞肺がん(非小細胞肺癌)

小細胞肺がん(小細胞肺癌)

	集計対象施設数	集計対象	死亡数	生存状況把握割合 (%)	平均年齢
2012	327	4,396	4,107	98.5	70.4
I期	166	293	230	98.3	72.2
II期	165	279	238	96.8	70.6
III期	299	1,260	1,130	98.9	69.7
IV期	327	2,508	2,458	98.6	70.5

(1) 生存状況把握割合

対象者は、4,396例で、そのうち10年以内に死亡していた者は、4,107例、打ち切りが64例で、全体として生存状況把握割合は98.5%であった。

(2) 対象者の属性

対象者の属性を表3-5①-1に示す。対象者は、男性が約83%を占め、70歳代が最も多く約40%であった。UICC TNM分類総合ステージ別にみると、全体としてIV期が57.1%、次いでIII期が28.7%であった。病期分布は男女別にみてもほぼ同様であった。観血的治療を受けた者の割合は、非小細胞肺癌と比較して低く、8.6%であった。発見経緯をみると、他疾患経過観察中が28.3%であった。

表3-5①-1 対象者の属性

	男性		女性		全体	
	対象数	(%)	対象数	(%)	対象数	(%)
全体	3,646	100.0	750	100.0	4,396	100.0
拠点病院等	3,430	94.1	692	92.3	4,122	93.8
拠点外病院	216	5.9	58	7.7	274	6.2
年齢						
平均年齢 (SD)	70.6(8.5)		69.6(9.4)		70.4(8.7)	
0-14歳	-	-	-	-	-	-
15-39歳	(4-6)	-	(1-3)	-	(7-9)	-
40歳代	(37-39)	1.0	(14-16)	2.0	(51-55)	1.2
50歳代	282	7.7	72	9.6	354	8.1
60歳代	1,302	35.7	272	36.3	1,574	35.8
70歳代	1,476	40.5	275	36.7	1,751	39.8
80歳以上	543	14.9	113	15.1	656	14.9
UICC TNM分類総合ステージ						
I期	254	7.0	39	5.2	293	6.7
II期	235	6.4	44	5.9	279	6.3
III期	1,032	28.3	228	30.4	1,260	28.7
IV期	2,087	57.2	421	56.1	2,508	57.1
不詳	38	1.0	18	2.4	56	1.3
観血的治療						
有	328	9.0	(48-50)	-	(375-377)	8.6
原発巣・治癒切除	286	7.8	44	5.9	330	7.5
原発巣・非治癒切除	26	0.7	(4-6)	-	(30-32)	-
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	16	0.4	0	0.0	16	0.4
無	3,318	91.0	701	93.5	4,019	91.4
発見経緯						
がん検診	174	4.8	22	2.9	196	4.5
健康診断・人間ドック	302	8.3	38	5.1	340	7.7
他疾患経過観察中	1,041	28.6	202	26.9	1,243	28.3
その他・不明	2,129	58.4	488	65.1	2,617	59.5

(3)10年生存率

10年生存率を表3-5①-2に示す。全体での10年ネット・サバイバルは、IV期が半数近くを占めることから低く6.3%であった。UICC TNM分類総合ステージ別にみると、I期ではネット・サバイバルが24.4%であった。観血的治療を受けた者の割合は少ないが、ネット・サバイバルは28.1%であった。

表3-5①-2 属性別10年生存率

	男性				女性				全体			
	実測	Net	95%信頼区間		実測	Net	95%信頼区間		実測	Net	95%信頼区間	
全体	5.1	6.1	5.2	7.0	7.0	7.5	5.5	9.5	5.5	6.3	5.5	7.1
拠点病院等	5.3	6.2	5.2	7.1	7.1	7.6	5.5	9.7	5.6	6.4	5.6	7.3
拠点外病院	3.4	4.0	1.2	6.8	5.7	6.2	0.0	12.5	3.8	4.4	1.8	7.0
年齢												
0-39歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
40歳代	16.7	16.9	5.1	28.7	-	-	-	-	13.7	13.9	4.7	23.1
50歳代	14.7	15.4	11.0	19.9	16.2	16.6	7.8	25.3	15.0	15.7	11.7	19.7
60歳代	6.7	7.5	5.9	9.1	9.4	9.9	6.2	13.6	7.1	7.9	6.5	9.4
70歳代	3.1	4.1	2.9	5.3	4.3	4.8	2.1	7.6	3.3	4.2	3.1	5.3
80歳以上	1.2	2.4	0.5	4.2	1.0	1.2	0.0	3.2	1.1	2.2	0.6	3.8
UICC TNM分類総合ステージ												
I期	20.3	24.4	17.9	30.8	22.2	24.5	10.0	39.0	20.6	24.4	18.4	30.3
II期	11.8	13.6	8.5	18.7	21.4	22.6	9.7	35.4	13.3	15.1	10.3	20.0
III期	8.6	10.2	8.1	12.3	14.1	14.9	10.0	19.8	9.6	11.1	9.1	13.0
IV期	0.8	0.9	0.4	1.3	0.5	0.5	0.0	1.2	0.7	0.8	0.4	1.2
不詳	8.3	9.2	0.0	18.7	-	-	-	-	5.6	6.2	0.0	12.5
観血的治療												
有	22.2	26.3	20.6	32.1	36.2	39.7	25.0	54.5	24.0	28.1	22.7	33.4
原発巣・治癒切除	23.8	28.3	22.0	34.6	38.1	41.4	25.8	57.0	25.7	30.0	24.1	35.9
原発巣・非治癒切除	-	-	-	-	-	-	-	-	6.5	7.5	0.0	16.4
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無	3.4	4.1	3.3	4.8	4.9	5.2	3.4	7.0	3.7	4.3	3.5	5.0

非小細胞肺がん(非小細胞肺癌)

	集計対象施設数	集計対象	死亡数	生存状況把握割合 (%)	平均年齢
2012	357	43,560	31,026	98.1	70.5
I 期	350	17,461	7,739	97.4	70.5
II 期	336	4,031	2,894	97.9	71.0
III 期	350	7,685	6,569	98.5	69.8
IV 期	357	13,703	13,189	98.7	70.4

(1) 生存状況把握割合

対象者は、43,560 例で、そのうち 10 年以内に死亡していた者は、31,026 例、打ち切りが 848 例で、全体として生存状況把握割合は 98.1%であった。

(2) 対象者の属性

対象者の属性を表 3-5②-1 に示す。対象者は、男性が約 67 %を占め、70 歳代が最も多かった。UICC TNM 分類総合ステージ別にみると、全体として I 期が 40.1%、次いで IV 期が 31.5%であった。病期分布割合は女性の I 期が男性より多かった。観血的治療を受けた者の割合は、47.3%であった。発見経緯をみると、他疾患経過観察中が 39.0%であった。

表 3-5②-1 対象者の属性

	男性		女性		全体	
	対象数	(%)	対象数	(%)	対象数	(%)
全体	29,184	100.0	14,376	100.0	43,560	100.0
拠点病院等	27,613	94.6	13,636	94.9	41,249	94.7
拠点外病院	1,571	5.4	740	5.1	2,311	5.3
年齢						
平均年齢 (SD)	70.8 (9.9)		70.0 (10.7)		70.5 (10.1)	
0-14 歳	-	-	(1-3)	-	(1-3)	-
15-39 歳	165	0.6	(130-132)	0.9	(293-295)	0.7
40 歳代	654	2.2	464	3.2	1,118	2.6
50 歳代	2,572	8.8	1,498	10.4	4,070	9.3
60 歳代	9,044	31.0	4,414	30.7	13,458	30.9
70 歳代	10,996	37.7	5,207	36.2	16,203	37.2
80 歳以上	5,753	19.7	2,662	18.5	8,415	19.3
UICC TNM 分類総合ステージ						
I 期	10,193	34.9	7,268	50.6	17,461	40.1
II 期	3,103	10.6	928	6.5	4,031	9.3
III 期	5,920	20.3	1,765	12.3	7,685	17.6
IV 期	9,442	32.4	4,261	29.6	13,703	31.5
不詳	526	1.8	154	1.1	680	1.6
観血的治療						
有	12,486	42.8	8,124	56.5	20,610	47.3
原発巣・治癒切除	11,734	40.2	7,810	54.3	19,544	44.9
原発巣・非治癒切除	541	1.9	229	1.6	770	1.8
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	211	0.7	85	0.6	296	0.7
無	16,698	57.2	6,252	43.5	22,950	52.7
発見経緯						
がん検診	1,916	6.6	1,372	9.5	3,288	7.5
健康診断・人間ドック	3,486	11.9	2,033	14.1	5,519	12.7
他疾患経過観察中	11,374	39.0	5,608	39.0	16,982	39.0
その他・不明	12,408	42.5	5,363	37.3	17,771	40.8

(3)10年生存率

10年生存率を表3-5②-2に示す。全体での10年ネット・サバイバルは、男性が25.3%、女性が47.6%と女性でやや高かった。UICC TNM分類総合ステージ別にみても、男性より女性でネット・サバイバルがやや高い傾向にあった。観血的治療を受けた者(原発巣・治癒切除)ではネット・サバイバルは男性で54.3%、女性で78.7%となっていた。

表3-5②-2 属性別10年生存率

	男性				女性				全体			
	実測	Net	95%信頼区間		実測	Net	95%信頼区間		実測	Net	95%信頼区間	
全体	20.7	25.3	24.6	25.9	43.0	47.6	46.7	48.6	28.0	32.6	32.1	33.2
拠点病院等	21.0	25.6	25.0	26.3	43.5	48.2	47.2	49.1	28.4	33.1	32.5	33.6
拠点外病院	14.5	18.2	15.8	20.7	33.0	36.8	32.7	40.9	20.4	24.2	22.0	26.4
年齢												
0-39歳	35.1	35.3	28.0	42.7	56.0	56.3	47.6	65.0	44.2	44.5	38.7	50.3
40歳代	38.1	38.9	35.0	42.7	54.8	55.4	50.8	60.1	45.0	45.7	42.7	48.7
50歳代	36.1	38.0	36.0	40.0	57.5	58.9	56.3	61.5	44.0	45.7	44.1	47.3
60歳代	28.3	32.0	31.0	33.1	53.5	56.2	54.6	57.8	36.6	40.0	39.1	40.9
70歳代	17.6	23.4	22.5	24.4	41.3	47.1	45.6	48.7	25.2	31.1	30.2	31.9
80歳以上	5.0	10.6	9.3	11.8	17.6	25.8	23.5	28.0	8.9	15.3	14.2	16.5
UICC TNM分類総合ステージ												
I期	43.0	53.3	52.0	54.7	72.2	80.3	79.0	81.5	55.2	64.6	63.6	65.5
II期	23.9	28.7	26.7	30.6	38.2	41.9	38.2	45.6	27.2	31.7	30.0	33.5
III期	11.5	13.4	12.4	14.4	20.4	22.1	20.0	24.2	13.5	15.4	14.5	16.3
IV期	1.9	2.2	1.9	2.6	3.9	4.1	3.5	4.8	2.5	2.8	2.5	3.1
不詳	3.8	4.5	2.3	6.8	11.0	12.2	6.1	18.3	5.4	6.3	4.0	8.6
観血的治療												
有	42.9	52.2	51.1	53.4	70.0	77.2	76.0	78.3	53.6	62.1	61.2	62.9
原発巣・治癒切除	44.5	54.3	53.1	55.5	71.4	78.7	77.6	79.9	55.3	64.1	63.2	65.0
原発巣・非治癒切除	13.6	16.3	12.7	20.0	24.9	26.9	20.7	33.2	17.0	19.5	16.3	22.7
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	26.1	30.3	22.9	37.7	61.9	68.0	56.2	79.7	36.4	41.2	34.6	47.9
無	3.9	4.9	4.4	5.3	7.3	8.5	7.7	9.3	4.8	5.9	5.5	6.2

6. 女性乳がん(女性乳癌)

	集計対象施設数	集計対象	死亡数	生存状況把握割合 (%)	平均年齢
2012	356	33,715	7,443	96.9	59.6
I 期	355	15,215	1,795	96.7	59.4
II 期	356	12,310	2,374	96.8	59.4
III 期	347	3,988	1,568	97.1	60.5
IV 期	326	1,916	1,587	98.3	59.8

(1) 生存状況把握割合

集計対象は、33,715 例で、10 年以内に亡くなっていたのが 33,715 例、打ち切りが 1,053 例であった。集計対象全体での生存状況把握割合は 96.9 %であった。

(2) 対象者の属性

対象者の属性を表 3-6-1 に示す。診断時の年齢をみると、60 歳代が最も多く、次いで 40、50 歳代であった。また、35 歳未満は、605 例であった(1.8%)。UICC TNM 分類総合ステージ別にみると、I 期が最も多く 45.1%、次いで II 期が 36.5%であった。観血的治療の実施割合は、89.1%であった。発見経緯を見ると、胃、大腸、肺、子宮頸がんと比較してがん検診が多かった。

(3) 10 年生存率

10 年生存率を表 3-6-2 に示す。全体として、ネット・サバイバルは 82.5%であった。UICC TNM 分類総合ステージ別にみると、I 期ではネット・サバイバルは 90%以上であるが、IV 期では 17.0%にとどまった。なお、観血的治療を受けた者(原発巣・治癒切除)では、ネット・サバイバルは 89.1%であった。

表 3-6-1 対象者の属性

	対象数	(%)
全体	33,715	100.0
拠点病院等	31,444	93.3
拠点外病院	2,271	6.7
年齢		
平均年齢 (SD)	59.6 (13.7)	
0-14 歳	-	-
15-39 歳	2,102	6.2
40 歳代	7,186	21.3
50 歳代	7,074	21.0
60 歳代	8,950	26.5
70 歳代	5,584	16.6
80 歳以上	2,819	8.4
35 歳未満 (再掲)	605	1.8
UICC TNM 分類総合ステージ		
I 期	15,215	45.1
II 期	12,310	36.5
III 期	3,988	11.8
IV 期	1,916	5.7
不詳	286	0.8
観血的治療		
有	30,054	89.1
原発巣・治癒切除	27,848	82.6
原発巣・非治癒切除	1,444	4.3
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	762	2.3
無	3,661	10.9
発見経緯		
がん検診	7,142	21.2
健康診断・人間ドック	1,737	5.2
他疾患経過観察中	4,364	12.9
その他・不明	20,472	60.7

表 3-6-2 属性別 10 年生存率

	女性			
	実測	Net	95%信頼区間	
全体	77.7	82.5	82.0	83.1
拠点病院等	77.9	82.8	82.2	83.3
拠点外病院	74.2	79.4	76.9	81.9
年齢				
0-39 歳	84.5	84.9	83.3	86.5
40 歳代	88.4	89.3	88.6	90.1
50 歳代	83.7	85.6	84.7	86.5
60 歳代	81.3	85.3	84.5	86.2
70 歳代	69.4	78.8	77.3	80.2
80 歳以上	34.0	53.4	49.7	57.0
35 歳未満 (再掲)	84.0	84.3	81.3	87.3
UICC TNM 総合ステージ				
I 期	88.1	93.7	93.0	94.4
II 期	80.5	85.4	84.5	86.3
III 期	60.1	63.8	61.8	65.7
IV 期	16.1	17.0	15.2	18.8
不詳	57.6	62.9	51.8	74.1
観血的治療				
有	83.3	88.3	87.8	88.8
原発巣・治癒切除	84.0	89.1	88.5	89.6
原発巣・非治癒切除	73.3	77.2	74.5	79.9
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	77.0	81.6	78.1	85.1
無	31.4	34.5	32.5	36.5

7. 食道がん(食道癌)

	集計対象施設数	集計対象	死亡数	生存状況把握割合 (%)	平均年齢
2012	342	12,121	8,617	98.0	68.8
I 期	342	4,581	2,278	97.3	69.0
II 期	299	1,554	1,085	97.9	69.1
III 期	340	3,677	3,102	98.6	68.4
IV 期	327	2,026	1,904	98.4	67.9

(1) 生存状況把握割合

集計対象 12,121 例のうち、10 年以内に死亡していた者は 8,617 例、打ち切りが 246 例で、全体として生存状況把握割合は 98.0%であった。

(2) 対象者の属性

対象者の属性を表 3-7-1 に示す。性別をみると、男性が 85.7%を占めた。年齢をみると、60 歳代が 37.1%、次いで 70 歳代が 35.2%と多かった。UICC TNM 分類総合ステージをみると、I 期が 37.8%、III 期が 30.3%、IV 期が 16.7%であった。観血的治療は 50.5%に実施されていた。

表 3-7-1 対象者の属性

	男性		女性		全体	
	対象数	(%)	対象数	(%)	対象数	(%)
全体	10,386	100.0	1,735	100.0	12,121	100.0
拠点病院等	9,992	96.2	1,670	96.3	11,662	96.2
拠点外病院	394	3.8	65	3.7	459	3.8
年齢						
平均年齢 (SD)	68.7 (9.1)		69.2 (10.9)		68.8 (9.4)	
0-14 歳	-	-	-	-	-	-
15-39 歳	22	0.2	15	0.9	37	0.3
40 歳代	204	2.0	60	3.5	264	2.2
50 歳代	1,291	12.4	237	13.7	1,528	12.6
60 歳代	3,950	38.0	545	31.4	4,495	37.1
70 歳代	3,698	35.6	569	32.8	4,267	35.2
80 歳以上	1,221	11.8	309	17.8	1,530	12.6
UICC TNM 分類総合ステージ						
I 期	3,989	38.4	592	34.1	4,581	37.8
II 期	1,287	12.4	267	15.4	1,554	12.8
III 期	3,126	30.1	551	31.8	3,677	30.3
IV 期	1,741	16.8	285	16.4	2,026	16.7
不詳	243	2.3	40	2.3	283	2.3
観血的治療						
有	5,269	50.7	858	49.5	6,127	50.5
原発巣・治癒切除	4,733	45.6	776	44.7	5,509	45.5
原発巣・非治癒切除	398	3.8	55	3.2	453	3.7
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	138	1.3	27	1.6	165	1.4
無	5,117	49.3	877	50.5	5,994	49.5
発見経緯						
がん検診	389	3.7	43	2.5	432	3.6
健康診断・人間ドック	938	9.0	87	5.0	1,025	8.5
他疾患経過観察中	2,792	26.9	361	20.8	3,153	26.0
その他・不明	6,267	60.3	1,244	71.7	7,511	62.0

(3)10年生存率

10年生存率を表3-7-2に示す。ネット・サバイバルは、男性が32.6%、女性が37.3%であった。I期では、59.4%であるが、II期では34.0%であった。観血的治療を受けた者のネット・サバイバルは、54.6%であった。

表3-7-2 属性別10年生存率

	男性				女性				全体			
	実測	Net	95%信頼区間		実測	Net	95%信頼区間		実測	Net	95%信頼区間	
全体	27.2	32.6	31.5	33.7	33.7	37.3	34.7	39.9	28.2	33.3	32.3	34.3
拠点病院等	27.6	33.0	31.8	34.1	33.8	37.4	34.7	40.0	28.5	33.6	32.6	34.7
拠点外病院	17.2	21.8	16.3	27.2	30.4	34.4	19.8	49.0	19.1	23.6	18.4	28.8
年齢												
0-39歳	-	-	-	-	-	-	-	-	40.5	40.8	25.2	56.3
40歳代	42.2	43.0	36.0	50.1	43.6	44.1	31.2	57.0	42.5	43.3	37.1	49.5
50歳代	39.0	41.1	38.2	43.9	48.1	49.3	42.8	55.9	40.4	42.3	39.7	45.0
60歳代	33.4	37.6	35.9	39.3	41.1	43.2	38.8	47.6	34.3	38.3	36.7	39.9
70歳代	22.0	29.0	27.2	30.8	30.8	35.0	30.5	39.4	23.2	29.8	28.1	31.5
80歳以上	7.8	16.4	12.7	20.1	12.2	19.4	13.4	25.4	8.7	17.1	13.8	20.4
UICC TNM 分類総合ステージ												
I期	48.5	58.7	56.6	60.8	57.3	64.0	59.2	68.8	49.6	59.4	57.4	61.3
II期	28.3	33.0	30.0	36.1	35.0	38.7	32.1	45.3	29.4	34.0	31.2	36.8
III期	13.6	15.8	14.3	17.3	22.5	24.4	20.5	28.4	15.0	17.1	15.7	18.5
IV期	4.3	5.1	3.9	6.3	7.6	8.0	4.7	11.3	4.8	5.5	4.4	6.6
不詳	10.2	12.1	6.8	17.5	12.5	15.0	1.0	29.0	10.5	12.4	7.4	17.5
観血的治療												
有	45.2	53.9	52.1	55.6	54.0	59.4	55.6	63.2	46.5	54.6	53.0	56.2
原発巣・治癒切除	47.3	56.3	54.4	58.2	56.4	62.0	58.0	66.0	48.6	57.1	55.4	58.8
原発巣・非治癒切除	22.5	26.8	21.7	31.9	29.3	31.9	18.3	45.5	23.3	27.4	22.6	32.2
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	40.2	48.3	38.2	58.3	-	-	-	-	39.6	47.0	38.0	56.1
無	8.5	10.5	9.5	11.6	13.3	15.2	12.4	17.9	9.2	11.2	10.2	12.2

8. 膵臓がん(膵臓癌)

	集計対象施設数	集計対象	死亡数	生存状況把握割合 (%)	平均年齢
2012	355	13,142	12,255	98.6	70.6
I期	297	825	570	98.1	72.2
II期	348	3,657	3,227	98.7	70.8
III期	333	2,034	1,960	98.6	70.4
IV期	355	6,242	6,129	98.7	70.0

(1) 生存状況把握割合

集計対象 13,142 例のうち、10 年以内に死亡していた者は 12,255 例、打ち切りが 182 例で、全体として生存状況把握割合は 98.6%であった。

(2) 対象者の属性

対象者の属性を表 3-8-1 に示す。男性が 56.1%、女性が 43.9%であった。年代は、70 歳以上が最も多く 35.8%であった。UICC TNM 分類総合ステージをみると、IV期が最も多く 47.5%であった。

表 3-8-1 対象者の属性

	男性		女性		全体	
	対象数	(%)	対象数	(%)	対象数	(%)
全体	7,376	100.0	5,766	100.0	13,142	100.0
拠点病院等	6,857	93.0	5,320	92.3	12,177	92.7
拠点外病院	519	7.0	446	7.7	965	7.3
年齢						
平均年齢 (SD)	69.6 (10.3)		71.9 (10.8)		70.6 (10.6)	
0-14 歳	-	-	-	-	-	-
15-39 歳	50	0.7	42	0.7	92	0.7
40 歳代	231	3.1	138	2.4	369	2.8
50 歳代	832	11.3	492	8.5	1,324	10.1
60 歳代	2,427	32.9	1,531	26.6	3,958	30.1
70 歳代	2,602	35.3	2,106	36.5	4,708	35.8
80 歳以上	1,234	16.7	1,457	25.3	2,691	20.5
UICC TNM 分類総合ステージ						
I 期	472	6.4	353	6.1	825	6.3
II 期	2,046	27.7	1,611	27.9	3,657	27.8
III 期	1,105	15.0	929	16.1	2,034	15.5
IV 期	3,570	48.4	2,672	46.3	6,242	47.5
不詳	183	2.5	201	3.5	384	2.9
観血的治療						
有	2,086	28.3	1,516	26.3	3,602	27.4
原発巣・治癒切除	1,706	23.1	1,221	21.2	2,927	22.3
原発巣・非治癒切除	313	4.2	222	3.9	535	4.1
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	67	0.9	73	1.3	140	1.1
無	5,290	71.7	4,250	73.7	9,540	72.6
発見経緯						
がん検診	53	0.7	37	0.6	90	0.7
健康診断・人間ドック	310	4.2	182	3.2	492	3.7
他疾患経過観察中	2,194	29.7	1,613	28.0	3,807	29.0
その他・不明	4,819	65.3	3,934	68.2	8,753	66.6

(3)10年生存率

10年生存率を表3-8-2に示す。全体で見ると、IV期が約半数を占めることからネット・サバイバルは6.4%と低かった。UICC TNM分類総合ステージI期では、ネット・サバイバルは34.5%であった。

表3-8-2 属性別10年生存率

	男性				女性				全体			
	実測	Net	95%信頼区間		実測	Net	95%信頼区間		実測	Net	95%信頼区間	
全体	5.2	6.2	5.5	6.8	6.1	6.7	6.0	7.4	5.6	6.4	5.9	6.9
拠点病院等	5.4	6.4	5.7	7.0	6.2	6.8	6.0	7.5	5.7	6.5	6.0	7.0
拠点外病院	2.8	3.4	1.5	5.3	4.6	5.2	2.8	7.7	3.6	4.3	2.7	5.8
年齢												
0-39歳	10.2	10.3	2.2	18.3	32.8	33.0	18.9	47.0	20.7	20.8	12.5	29.1
40歳代	9.4	9.5	5.7	13.4	20.4	20.6	13.6	27.6	13.4	13.6	10.0	17.2
50歳代	7.6	8.0	6.1	9.9	10.4	10.6	7.8	13.3	8.6	9.0	7.4	10.6
60歳代	6.7	7.5	6.4	8.6	8.6	9.0	7.5	10.5	7.4	8.1	7.2	9.0
70歳代	4.7	6.2	5.1	7.3	5.1	5.8	4.7	6.9	4.9	6.0	5.2	6.8
80歳以上	0.8	1.5	0.5	2.6	1.2	1.8	0.9	2.7	1.0	1.7	1.0	2.4
UICC TNM分類総合ステージ												
I期	28.4	34.1	28.5	39.7	32.2	35.0	29.3	40.8	30.0	34.5	30.4	38.5
II期	9.8	11.5	9.9	13.2	11.9	13.0	11.2	14.8	10.7	12.2	11.0	13.4
III期	2.0	2.4	1.3	3.5	2.8	3.1	1.9	4.3	2.4	2.7	1.9	3.5
IV期	0.6	0.6	0.3	0.9	0.5	0.5	0.2	0.8	0.5	0.6	0.4	0.8
不詳	2.3	2.7	0.0	5.4	2.1	2.3	0.1	4.4	2.2	2.5	0.7	4.2
観血的治療												
有												
原発巣・治癒切除	16.5	19.5	17.5	21.5	21.2	23.0	20.7	25.4	18.5	21.0	19.5	22.5
原発巣・非治癒切除	18.9	22.4	20.0	24.7	23.2	25.2	22.6	27.9	20.7	23.6	21.8	25.3
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	4.0	4.6	2.1	7.1	9.1	10.0	5.7	14.3	6.1	6.8	4.5	9.2
無	14.3	16.8	6.9	26.6	22.9	25.5	14.4	36.7	18.7	21.3	13.7	28.9
無	0.7	0.9	0.5	1.2	0.6	0.7	0.4	1.0	0.7	0.8	0.6	1.0

9. 子宮頸がん(子宮頸癌)

	集計対象施設数	集計対象	死亡数	生存状況把握割合 (%)	平均年齢
2012	304	6,576	2,222	95.1	54.1
I 期	304	2,952	309	92.8	47.7
II 期	234	1,068	351	95.6	60.3
III 期	248	1,543	753	96.9	56.8
IV 期	234	913	761	98.7	61.6

(1) 生存状況把握割合

集計対象は 6,576 例で、10 年以内に亡くなっていたのが 2,222 例、打ち切りが 324 例であった。集計対象全体での生存状況把握割合は 95.1%であった。

(2) 対象者の属性

対象者の属性を表 3-9-1 に示す。を年齢を見ると、40 歳未満の若い世代が多い傾向にあった。UICC TNM 分類総合ステージをみると、I 期が 44.9%で最も多く、次いで III 期が 23.5%、II 期が 16.2%であった。観血的治療の実施割合は 58.0%であった。発見経緯を見ると、がん検診が 17.3%であった。

表 3-9-1 対象者の属性

	全体	
	症例数	(%)
全体	6,576	100.0
拠点病院等	6,311	96.0
拠点外病院	265	4.0
年齢		
平均年齢 (SD)	54.1 (16.2)	
0-14 歳	-	-
15-39 歳	1,418	21.6
40 歳代	1,588	24.1
50 歳代	1,080	16.4
60 歳代	1,182	18.0
70 歳代	789	12.0
80 歳以上	519	7.9
UICC TNM 分類総合ステージ		
I 期	2,952	44.9
II 期	1,068	16.2
III 期	1,543	23.5
IV 期	913	13.9
不詳	100	1.5
観血的治療		
有	3,816	58.0
原発巣・治癒切除	3,399	51.7
原発巣・非治癒切除	253	3.8
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	164	2.5
無	2,760	42.0
発見経緯		
がん検診	1,138	17.3
健康診断・人間ドック	214	3.3
他疾患経過観察中	687	10.4
その他・不明	4,537	69.0

(3) 10 年生存率

10 年生存率を表 3-9-2 に示す。実測生存率が約 65.2%、ネット・サバイバルが 67.5%であった。UICC TNM 分類総合ステージ別にネット・サバイバルをみると、I 期が 91.0%、II 期が 71.0%、III 期が 52.6%、IV 期が 16.0%であった。観血的治療を受けた者のネット・サバイバルは 86.6%であり、そのうち原発巣・治癒切除例では 88.9%であった。

表 3-9-2 属性別 10 年生存率

	女性			
	実測	Net	95%信頼区間	
全体	65.2	67.5	66.2	68.9
拠点病院等	65.0	67.4	66.0	68.7
拠点外病院	70.2	71.7	65.1	78.4
年齢				
0-39 歳	85.0	85.4	83.4	87.4
40 歳代	76.6	77.4	75.1	79.6
50 歳代	66.9	68.4	65.3	71.4
60 歳代	62.5	65.5	62.4	68.6
70 歳代	42.7	48.5	44.3	52.7
80 歳以上	13.8	21.1	15.8	26.4
UICC TNM 分類総合ステージ				
I 期	88.7	91.0	89.6	92.4
II 期	66.7	71.0	67.5	74.4
III 期	50.5	52.6	49.7	55.6
IV 期	15.3	16.0	13.3	18.6
不詳	51.0	53.6	41.4	65.8
観血的治療				
有	84.8	86.6	85.3	87.9
原発巣・治癒切除	87.0	88.9	87.6	90.1
原発巣・非治癒切除	64.5	65.8	59.2	72.3
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	70.7	72.4	64.4	80.4
無	39.1	42.1	39.9	44.3

10. 子宮体がん(子宮体癌)

	集計対象施設数	集計対象	死亡数	生存状況把握割合 (%)	平均年齢
2012	326	7,160	1,651	96.7	59.6
I 期	326	5,006	618	96.5	58.9
II 期	210	494	123	95.1	59.3
III 期	248	951	390	97.6	60.9
IV 期	217	564	463	98.9	63.4

(1) 生存状況把握割合

集計対象は 7,160 例で、10 年以内に亡くなっていたのが 1,651 例、打ち切りが 234 例であった。集計対象全体での生存状況把握割合は 96.7%であった。

(2) 対象者の属性

対象者の属性を表 3-10-1 に示す。年代を見ると、50 歳代が最も多く 30.0%であった。UICC TNM 分類総合ステージをみると、I 期が最も多く 69.9%を占めた。

(3) 10 年生存率

10 年生存率を表 3-10-2 に示す。ネット・サバイバルは、80.5%であり、UICC TNM 分類総合ステージ I 期では 92.0%であった。観血的治療を受けた者のネット・サバイバルは 85.6%であり、原発巣・治癒切除例では 88.3%であった。

表 3-10-1 対象者の属性

	全体	
	対象数	(%)
全体	7,160	100.0
拠点病院等	6,790	94.8
拠点外病院	370	5.2
年齢		
平均年齢 (SD)	59.6 (12.5)	
0-14 歳	-	-
15-39 歳	376	5.3
40 歳代	1,098	15.3
50 歳代	2,150	30.0
60 歳代	1,929	26.9
70 歳代	1,158	16.2
80 歳以上	449	6.3
UICC TNM 分類総合ステージ		
I 期	5,006	69.9
II 期	494	6.9
III 期	951	13.3
IV 期	564	7.9
不詳	145	2.0
観血的治療		
有	6,532	91.2
原発巣・治癒切除	5,962	83.3
原発巣・非治癒切除	287	4.0
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	283	4.0
無	628	8.8
発見経緯		
がん検診	526	7.3
健康診断・人間ドック	160	2.2
他疾患経過観察中	1,059	14.8
その他・不明	5,415	75.6

表 3-10-2 属性別 10 年生存率

	全体			
	実測	Net	95%信頼区間	
全体	76.8	80.5	79.4	81.7
拠点病院等	76.8	80.6	79.4	81.7
拠点外病院	75.7	80.0	74.2	85.7
年齢				
0-39 歳	90.7	91.1	88.1	94.2
40 歳代	90.7	91.7	89.9	93.5
50 歳代	87.0	89.0	87.5	90.5
60 歳代	77.1	80.7	78.7	82.7
70 歳代	58.7	66.4	63.1	69.7
80 歳以上	25.4	38.1	31.3	44.9
UICC TNM 総合ステージ				
I 期	87.6	92.0	90.9	93.1
II 期	74.7	78.6	74.1	83.1
III 期	59.0	61.9	58.4	65.3
IV 期	17.3	18.0	14.7	21.4
不詳	61.0	63.0	54.3	71.6
観血的治療				
有	81.5	85.6	84.5	86.6
原発巣・治癒切除	84.2	88.3	87.2	89.4
原発巣・非治癒切除	34.0	35.7	29.8	41.7
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	75.1	79.2	73.2	85.2
無	27.2	28.4	24.4	32.5

11. 前立腺がん(前立腺癌)

	集計対象施設数	集計対象	死亡数	生存状況把握割合 (%)	平均年齢
2012	346	32,798	10,837	97.5	71.3
I 期	346	12,890	3,362	97.5	71.1
II 期	346	9,706	2,243	97.3	70.1
III 期	333	4,889	1,530	97.9	71.2
IV 期	345	4,721	3,351	97.5	73.9

(1) 生存状況把握割合

集計対象は、32,798 例で、10 年以内に亡くなっていたのが 10,837 例、打ち切りが 826 例であった。集計対象全体での生存状況把握割合は 97.5%であった。

(2) 対象者の属性

対象者の属性を表 3-11-1 に示す。年代を見ると、70 歳代が最も多く 45.3%、80 歳以上が 14.9%で、70 歳以上が約 6 割を占めた。UICC TNM 分類総合ステージをみると、I 期が最も多く 39.3%を占めた。観血的治療の実施割合は、30.7%であった。発見経緯を見ると、がん検診が 19.2%、健康診断・人間ドックが 10.7%であった。

表 3-11-1 対象者の属性

	全体	
	症例数	(%)
全体	32,798	100.0
拠点病院等	30,232	92.2
拠点外病院	2,566	7.8
年齢		
平均年齢 (SD)	71.3 (7.8)	
0-14 歳	-	-
15-39 歳	(1-3)	-
40 歳代	(87-89)	0.3
50 歳代	1,898	5.8
60 歳代	11,068	33.7
70 歳代	14,853	45.3
80 歳以上	4,889	14.9
UICC TNM 分類総合ステージ		
I 期	12,890	39.3
II 期	9,706	29.6
III 期	4,889	14.9
IV 期	4,721	14.4
不詳	592	1.8
観血的治療		
有	10,053	30.7
原発巣・治療切除	8,434	25.7
原発巣・非治療切除	1,266	3.9
原発巣・治療/非治療の別不詳	353	1.1
無	22,745	69.3
発見経緯		
がん検診	6,310	19.2
健康診断・人間ドック	3,502	10.7
他疾患経過観察中	11,559	35.2
その他・不明	11,427	34.8

※対象は男性のみ

(3) 10 年生存率

10 年生存率を表 3-11-2 に示す。全体のネット・サバイバルは、84.0%であった。UICC TNM 分類総合ステージ別にみると、I 期からIII期では、ネット・サバイバルは I 期 93.8%、II 期 95.1%、III期 86.2%であった。観血的治療を受けた者のネット・サバイバルは、治療切除、非治療切除例に関わらずほぼ 100%であった。

表 3-11-2 属性別 10 年生存率

	全体			
	実測	Net	95%信頼区間	
全体	66.6	84.0	83.3	84.8
拠点病院等	66.9	84.2	83.4	84.9
拠点外病院	63.2	82.4	79.4	85.4
年齢				
0-39 歳	-	-	-	-
40 歳代	84.6	86.2	78.4	94.0
50 歳代	90.8	95.9	94.5	97.3
60 歳代	83.4	94.6	93.8	95.4
70 歳代	64.7	85.7	84.6	86.7
80 歳以上	24.1	49.9	47.1	52.7
UICC TNM 総合ステージ				
I 期	73.6	93.8	92.6	94.9
II 期	76.7	95.1	93.8	96.3
III 期	68.5	86.2	84.3	88.2
IV 期	27.9	35.9	34.0	37.8
不詳	40.1	53.8	46.9	60.8
観血的治療				
有				
原発巣・治療切除	86.3	100.0	100.0	100.0
原発巣・非治療切除	86.7	100.0	100.0	100.0
原発巣・治療/非治療の別不詳	84.7	99.4	96.9	100.0
無	82.7	98.0	92.8	100.0
無	57.8	76.3	75.3	77.3

12. 膀胱がん(膀胱癌)

	集計対象施設数	集計対象	死亡数	生存状況把握割合 (%)	平均年齢
2012	339	7,752	4,752	97.9	73.5
I 期	339	4,186	2,118	97.7	73.0
II 期	332	1,522	1,008	97.6	74.7
III 期	280	822	606	98.7	73.7
IV 期	297	922	792	98.8	71.9

(1) 生存状況把握割合

集計対象 7,752 例のうち、10 年以内に死亡していた者は 4,752 例、打ち切りが 166 例で、全体として生存状況把握割合は 97.9%であった。

(2) 対象者の属性

対象者の属性を表 3-12-1 に示す。性別をみると、男性が 76.9%を占めた。年齢をみると、70 歳代が最も多く 34.1%、次いで 80 歳以上が 32.5%であった。UICC TNM 分類総合ステージをみると、I 期が最も多く 54.0%を占めた。観血的治療は 86.3%で実施されていた。

表 3-12-1 対象者の属性

	男性		女性		全体	
	対象数	(%)	対象数	(%)	対象数	(%)
全体	5,963	100.0	1,789	100.0	7,752	100.0
拠点病院等	5,440	91.2	1,629	91.1	7,069	91.2
拠点外病院	523	8.8	160	8.9	683	8.8
年齢						
平均年齢 (SD)	73.0(10.4)		75.2(11.4)		73.5(10.7)	
0-14 歳	-	-	-	-	-	-
15-39 歳	19	0.3	19	1.1	38	0.5
40 歳代	119	2.0	42	2.3	161	2.1
50 歳代	452	7.6	98	5.5	550	7.1
60 歳代	1,522	25.5	319	17.8	1,841	23.7
70 歳代	2,072	34.7	572	32.0	2,644	34.1
80 歳以上	1,779	29.8	739	41.3	2,518	32.5
UICC TNM 分類総合ステージ						
I 期	3,347	56.1	839	46.9	4,186	54.0
II 期	1,127	18.9	395	22.1	1,522	19.6
III 期	597	10.0	225	12.6	822	10.6
IV 期	669	11.2	253	14.1	922	11.9
不詳	223	3.7	77	4.3	300	3.9
観血的治療						
有	5,227	87.7	1,461	81.7	6,688	86.3
原発巣・治癒切除	4,055	68.0	1,087	60.8	5,142	66.3
原発巣・非治癒切除	693	11.6	229	12.8	922	11.9
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	479	8.0	145	8.1	624	8.0
無	736	12.3	328	18.3	1,064	13.7
発見経緯						
がん検診	36	0.6	(4-6)	-	(40-42)	-
健康診断・人間ドック	179	3.0	(38-40)	2.1	(217-219)	2.8
他疾患経過観察中	1,380	23.1	407	22.8	1,787	23.1
その他・不明	4,368	73.3	1,340	74.9	5,708	73.6

(3)10年生存率

10年生存率を表3-12-2に示す。ネット・サバイバルは、全体で47.8%であった。70歳以上では、実測生存率とネット・サバイバルの乖離が大きく、他疾患での亡くなられる場合も多いと考えられる。UICC TNM 分類総合ステージ別に見ると、I期が62.1%、II期が40.8%であった。観血的治療有の者のネット・サバイバルは53.2%であった。

表3-12-2 属性別10年生存率

	男性				女性				全体			
	実測	Net	95%信頼区間		実測	Net	95%信頼区間		実測	Net	95%信頼区間	
全体	38.1	49.0	47.1	50.9	37.0	43.6	40.6	46.6	37.9	47.8	46.1	49.4
拠点病院等	38.3	49.2	47.3	51.2	37.1	43.6	40.4	46.7	38.0	47.9	46.2	49.6
拠点外病院	36.1	46.4	38.7	54.0	36.5	43.7	32.9	54.5	36.2	45.7	39.4	52.1
年齢												
0-39歳	-	-	-	-	-	-	-	-	72.4	72.9	58.4	87.3
40歳代	77.7	79.4	71.6	87.2	70.6	71.3	57.4	85.3	75.8	77.2	70.3	84.1
50歳代	69.5	73.3	68.7	77.9	63.7	65.3	55.5	75.1	68.4	71.8	67.7	76.0
60歳代	56.6	63.9	61.0	66.8	57.9	60.8	55.1	66.6	56.9	63.4	60.8	66.0
70歳代	37.6	50.5	47.6	53.4	45.6	52.2	47.5	57.0	39.4	50.9	48.4	53.4
80歳以上	11.9	26.0	22.2	29.8	14.9	24.2	19.6	28.8	12.8	25.5	22.5	28.5
UICC TNM 分類総合ステージ												
I期	48.6	63.1	60.3	65.8	49.1	58.1	53.4	62.8	48.7	62.1	59.7	64.5
II期	32.4	41.2	37.0	45.4	33.9	39.8	33.5	46.1	32.8	40.8	37.3	44.3
III期	23.1	28.8	24.1	33.5	31.9	37.0	29.4	44.5	25.5	31.0	27.0	35.0
IV期	14.2	16.7	13.4	20.0	10.1	11.2	7.0	15.5	13.1	15.2	12.5	17.9
不詳	22.1	29.2	20.6	37.8	23.5	28.0	15.0	41.1	22.5	29.0	21.7	36.3
観血的治療												
有	42.0	54.0	51.9	56.1	43.1	50.5	47.1	54.0	42.3	53.2	51.4	55.0
原発巣・治癒切除	46.0	58.9	56.5	61.4	48.5	56.7	52.7	60.7	46.5	58.5	56.4	60.5
原発巣・非治癒切除	22.7	29.2	24.6	33.9	21.0	24.7	17.4	32.1	22.3	28.1	24.2	32.0
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	36.5	47.3	40.7	54.0	36.8	45.5	34.9	56.0	36.6	47.0	41.3	52.7
無	10.0	13.6	10.1	17.1	9.7	12.2	7.7	16.6	9.9	13.1	10.3	16.0

13. 喉頭がん(喉頭癌)

	集計対象施設数	集計対象	死亡数	生存状況把握割合 (%)	平均年齢
2012	271	3,351	1,635	97.2	69.8
I 期	271	1,396	510	97.1	69.7
II 期	230	788	360	96.1	70.1
III 期	186	468	258	96.6	70.5
IV 期	207	651	478	98.9	69.0

(1) 生存状況把握割合

集計対象 3,351 例のうち、10 年以内に死亡していた者は 1,635 例、打ち切りが 95 例で、全体として生存状況把握割合は 97.2%であった。

(2) 対象者の属性

対象者の属性を表 3-13-1 に示す。性別で見ると、男性が 93.7%、診断時の年齢分布を見ると、70 歳代・60 歳代で約 7 割を占めた。UICC TNM 分類総合ステージの分布を見ると、I 期が 41.7%を占めた。観血的治療の実施割合は 29.8%であった。発見経緯を見ると、他疾患経過観察中が 13.4%であった。

表 3-13-1 対象者の属性

	男性		女性		全体	
	対象数	(%)	対象数	(%)	対象数	(%)
全体	3,139	100.0	212	100.0	3,351	100.0
拠点病院等	3,063	97.6	(209-211)	-	(3272-3274)	-
拠点外病院	76	2.4	(1-3)	-	(77-79)	-
年齢						
平均年齢 (SD)	69.8(9.3)		69.3(10.4)		69.8(9.4)	
0-14 歳	-	-	-	-	-	-
15-39 歳	10	0	(1-3)	-	(11-13)	-
40 歳代	45	1.4	(4-6)	-	(49-51)	1.5
50 歳代	332	10.6	24	11.3	356	10.6
60 歳代	1,157	36.9	82	38.7	1,239	37.0
70 歳代	1,077	34.3	64	30.2	1,141	34.0
80 歳以上	518	16.5	34	16.0	552	16.5
UICC TNM 分類総合ステージ						
I 期	1,318	42.0	78	36.8	1,396	41.7
II 期	732	23.3	56	26.4	788	23.5
III 期	444	14.1	(22-24)	11.3	(466-468)	14.0
IV 期	600	19.1	51	24.1	651	19.4
不詳	45	1.4	(1-3)	-	(46-48)	-
観血的治療						
有	930	29.6	67	31.6	997	29.8
原発巣・治癒切除	759	24.2	58	27.4	817	24.4
原発巣・非治癒切除	78	2.5	(4-6)	-	(82-84)	-
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	93	3.0	(4-6)	-	(97-99)	-
無	2,209	70.4	145	68.4	2,354	70.2
発見経緯						
がん検診	19	0.6	(1-3)	-	(20-22)	-
健康診断・人間ドック	25	0.8	0	-	25	0.7
他疾患経過観察中	419	13.3	(30-32)	14.2	(449-451)	13.4
その他・不明	2,676	85.3	180	84.9	2,856	85.2

(3)10年生存率

10年生存率を表3-13-2に示す。全体の実測生存率は50.0%、ネット・サバイバルは、61.1%であった。70歳以上では、実測生存率とネット・サバイバルの乖離が大きく、他疾患での亡くなられる場合も多いと考えられる。UICC TNM分類総合ステージ別にみると、I期が77.0%、II期が65.0%であった。観血的治療を受けた者のネット・サバイバルは58.1%で、そのうち原発巣・治癒切除例では57.6%であった。

表3-13-2 属性別10年生存率

	男性				女性				全体			
	実測	Net	95%信頼区間		実測	Net	95%信頼区間		実測	Net	95%信頼区間	
全体	49.6	61.0	58.4	63.6	56.7	63.1	54.6	71.7	50.0	61.1	58.6	63.6
拠点病院等	49.8	61.2	58.5	63.8	56.5	62.9	54.3	71.5	50.2	61.3	58.7	63.8
拠点外病院	42.1	52.7	34.1	71.4	-	-	-	-	43.1	53.6	35.1	72.1
年齢												
0-39歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
40歳代	84.9	86.5	75.3	97.7	-	-	-	-	82.2	83.7	72.4	95.0
50歳代	71.5	75.2	69.8	80.6	-	-	-	-	72.3	75.9	70.7	81.0
60歳代	63.0	71.1	67.8	74.4	60.1	63.2	51.1	75.4	62.8	70.6	67.5	73.8
70歳代	42.9	56.7	52.5	60.8	52.2	58.8	44.5	73.1	43.4	56.8	52.8	60.8
80歳以上	15.9	35.3	27.2	43.4	34.7	52.3	25.0	79.6	17.1	36.2	28.4	44.1
UICC TNM分類総合ステージ												
I期	61.7	76.7	72.4	81.0	73.4	82.6	69.8	95.5	62.4	77.0	72.9	81.1
II期	53.0	65.4	60.0	70.8	53.7	60.4	42.1	78.6	53.0	65.0	59.8	70.2
III期	42.5	51.7	45.2	58.2	-	-	-	-	43.8	52.8	46.5	59.1
IV期	25.1	29.5	25.0	34.1	31.9	33.7	19.6	47.8	25.7	29.9	25.6	34.2
不詳	41.4	47.9	30.5	65.4	-	-	-	-	40.8	48.1	31.0	65.2
観血的治療												
有	47.2	58.1	53.4	62.8	52.1	58.1	43.8	72.4	47.6	58.1	53.6	62.6
原発巣・治癒切除	46.5	57.5	52.1	62.8	53.5	59.1	43.7	74.5	47.0	57.6	52.5	62.7
原発巣・非治癒切除	45.7	57.9	42.5	73.3	-	-	-	-	45.3	57.4	42.7	72.2
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	53.9	62.9	49.3	76.5	-	-	-	-	53.8	62.6	49.4	75.8
無	50.6	62.2	59.1	65.3	59.0	65.4	54.9	75.9	51.1	62.4	59.4	65.4

14. 胆嚢がん(胆嚢癌)

	集計対象施設数	集計対象	死亡数	生存状況把握割合 (%)	平均年齢
2012	336	2,996	2,422	98.1	73.6
I期	240	452	182	96.2	71.6
II期	240	476	288	97.5	74.3
III期	258	552	492	98.4	75.6
IV期	336	1,397	1,358	98.6	72.9

(1) 生存状況把握割合

集計対象 2,996 例のうち、10 年以内に死亡していた者は 2,422 例、打ち切りが 58 例で、全体として生存状況把握割合は 98.1%であった。

(2) 対象者の属性

対象者の属性を表 3-14-1 に示す。性別をみると、女性が 54.9%を占めた。年齢をみると、70 歳代が最も多く 36.3%、次いで 80 歳以上が 31.6%であった。UICC TNM 分類総合ステージをみると、IV期が最も多く 46.6%を占めた。観血的治療は 45.3%で実施されていた。

表 3-14-1 対象者の属性

	男性		女性		全体	
	対象数	(%)	対象数	(%)	対象数	(%)
全体	1,350	100.0	1,646	100.0	2,996	100.0
拠点病院等	1,235	91.5	1,480	89.9	2,715	90.6
拠点外病院	115	8.5	166	10.1	281	9.4
年齢						
平均年齢 (SD)	72.7 (10.0)		74.3 (10.7)		73.6 (10.4)	
0-14 歳	-	-	-	-	-	-
15-39 歳	(1-3)	-	(4-6)	-	(4-6)	-
40 歳代	(21-23)	1.7	(30-32)	1.8	(51-53)	1.8
50 歳代	111	8.2	107	6.5	218	7.3
60 歳代	321	23.8	362	22.0	683	22.8
70 歳代	524	38.8	565	34.3	1,089	36.3
80 歳以上	369	27.3	578	35.1	947	31.6
UICC TNM 分類総合ステージ						
I 期	218	16.1	234	14.2	452	15.1
II 期	226	16.7	250	15.2	476	15.9
III 期	240	17.8	312	19.0	552	18.4
IV 期	612	45.3	785	47.7	1,397	46.6
不詳	54	4.0	65	3.9	119	4.0
観血的治療						
有	649	48.1	707	43.0	1,356	45.3
原発巣・治癒切除	546	40.4	584	35.5	1,130	37.7
原発巣・非治癒切除	83	6.1	98	6.0	181	6.0
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	20	1.5	25	1.5	45	1.5
無	701	51.9	939	57.0	1,640	54.7
発見経緯						
がん検診	(7-9)	-	(11-13)	-	21	0.7
健康診断・人間ドック	(75-77)	5.6	(57-59)	3.5	134	4.5
他疾患経過観察中	505	37.4	563	34.2	1,068	35.6
その他・不明	760	56.3	1,013	61.5	1,773	59.2

(3)10年生存率

10年生存率を表3-14-2に示す。ネット・サバイバルは、全体で22.3%であった。80歳以上では、実測生存率とネット・サバイバルの乖離が大きく、他疾患での亡くなられる場合も多いと考えられる。UICC TNM 分類総合ステージ別に見ると、I期が72.1%、II期が50.4%であった。観血的治療有の者のネット・サバイバルは48.1%であった。

表3-14-2 属性別10年生存率

	男性				女性				全体			
	実測	Net	95%信頼区間		実測	Net	95%信頼区間		実測	Net	95%信頼区間	
全体	16.3	21.8	18.8	24.8	19.1	22.7	20.2	25.2	17.8	22.3	20.4	24.3
拠点病院等	16.2	21.6	18.5	24.8	18.9	22.4	19.8	25.0	17.7	22.0	20.0	24.1
拠点外病院	17.5	23.7	12.3	35.2	20.7	26.2	17.2	35.2	19.4	25.1	17.9	32.3
年齢												
0-39歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
40歳代	-	-	-	-	-	-	-	-	44.1	44.3	30.2	58.5
50歳代	33.3	34.3	24.9	43.8	29.5	30.1	21.0	39.2	31.4	32.5	25.8	39.1
60歳代	20.2	22.8	17.6	27.9	23.8	24.9	20.2	29.7	22.1	23.9	20.4	27.4
70歳代	15.8	21.4	16.9	25.8	21.3	24.3	20.3	28.4	18.7	22.9	19.9	25.9
80歳以上	7.1	16.5	10.1	22.8	10.1	16.7	12.2	21.1	8.9	16.6	12.9	20.3
UICC TNM 分類総合ステージ												
I期	53.9	69.2	58.9	79.4	62.1	74.5	65.7	83.3	58.2	72.1	65.3	78.8
II期	34.3	49.4	38.9	59.8	44.5	51.5	42.9	60.1	39.6	50.4	43.6	57.3
III期	6.9	8.9	4.5	13.4	12.0	14.8	10.3	19.4	9.8	12.3	9.0	15.6
IV期	0.9	1.0	0.0	2.0	1.8	2.1	1.0	3.2	1.4	1.6	0.8	2.5
不詳	13.7	19.1	5.3	32.9	14.1	17.0	6.1	27.9	13.9	17.8	9.1	26.5
観血的治療												
有	33.2	44.8	39.0	50.5	43.1	51.1	46.2	56.1	38.4	48.1	44.3	51.9
原発巣・治癒切除	37.8	50.9	44.4	57.3	48.8	58.1	52.6	63.7	43.5	54.6	50.4	58.9
原発巣・非治癒切除	7.0	9.6	1.4	17.8	17.4	19.7	10.6	28.8	12.8	15.6	9.0	22.3
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	-	-	-	-	-	-	-	-	11.6	14.5	3.1	26.0
無	1.4	1.5	0.4	2.6	1.2	1.5	0.6	2.5	1.3	1.5	0.8	2.3

15. 腎がん(腎癌)

	集計対象施設数	集計対象	死亡数	生存状況把握割合 (%)	平均年齢
2012	340	8,105	3,245	97.0	65.7
I 期	340	5,430	1,435	96.6	64.8
II 期	212	396	134	97.2	63.1
III 期	260	937	504	98.0	68.1
IV 期	307	1,203	1,092	98.0	68.6

(1) 生存状況把握割合

集計対象 8,105 例のうち、10 年以内に死亡していた者は 3,245 例、打ち切りが 243 例で、全体として生存状況把握割合は 97.0%であった。

(2) 対象者の属性

対象者の属性を表 3-15-1 に示す。性別をみると、男性が 70.6%を占めた。診断時の年齢分布をみると、60 歳代が 31.4%、70 歳代が 29.0%であった。UICC TNM 分類総合ステージをみると、I 期が 67.0%を占めた。観血的治療の実施割合は、84.1%であった。発見経緯をみると、他疾患経過観察中が 49.8%であった。

表 3-15-1 対象者の属性

	男性		女性		全体	
	対象数	(%)	対象数	(%)	対象数	(%)
全体	5,722	100.0	2,383	100.0	8,105	100.0
拠点病院等	5,424	94.8	2,264	95.0	7,688	94.9
拠点外病院	298	5.2	119	5.0	417	5.1
年齢						
平均年齢 (SD)	65.1 (12.0)		67.3 (12.6)		65.7 (12.2)	
0-14 歳	-	-	(1-3)	-	(1-3)	-
15-39 歳	154	2.7	(66-68)	2.8	(220-222)	2.7
40 歳代	503	8.8	156	6.5	659	8.1
50 歳代	1,001	17.5	343	14.4	1,344	16.6
60 歳代	1,867	32.6	681	28.6	2,548	31.4
70 歳代	1,620	28.3	733	30.8	2,353	29.0
80 歳以上	577	10.1	403	16.9	980	12.1
UICC TNM 分類総合ステージ						
I 期	3,841	67.1	1,589	66.7	5,430	67.0
II 期	250	4.4	146	6.1	396	4.9
III 期	655	11.4	282	11.8	937	11.6
IV 期	880	15.4	323	13.6	1,203	14.8
不詳	96	1.7	43	1.8	139	1.7
観血的治療						
有	4,807	84.0	2,006	84.2	6,813	84.1
原発巣・治癒切除	4,496	78.6	1,898	79.6	6,394	78.9
原発巣・非治癒切除	184	3.2	57	2.4	241	3.0
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	127	2.2	51	2.1	178	2.2
無	915	16.0	377	15.8	1,292	15.9
発見経緯						
がん検診	105	1.8	39	1.6	144	1.8
健康診断・人間ドック	884	15.4	276	11.6	1,160	14.3
他疾患経過観察中	2,840	49.6	1,197	50.2	4,037	49.8
その他・不明	1,893	33.1	871	36.6	2,764	34.1

(3)10年生存率

10年生存率を表3-15-2に示す。ネット・サバイバルは、全体で67.9%であった。70歳以上では、実測生存率とネット・サバイバルの乖離が大きく、他疾患での亡くなられる場合も多いと考えられる。UICC TNM 分類総合ステージ別に見ると、I期が83.6%、II期が73.7%であった。観血的治療有の者のネット・サバイバルは77.8%でそのうち原発巣・治癒切除例では80.5%であった。

表3-15-2 属性別10年生存率

	男性				女性				全体			
	実測	Net	95%信頼区間		実測	Net	95%信頼区間		実測	Net	95%信頼区間	
全体	57.0	66.6	64.9	68.3	64.7	71.2	68.8	73.5	59.3	67.9	66.5	69.3
拠点病院等	57.2	66.7	65.0	68.5	64.8	71.3	68.9	73.6	59.4	68.1	66.6	69.5
拠点外病院	53.5	63.4	55.3	71.4	62.8	68.6	57.6	79.6	56.1	64.9	58.2	71.5
年齢												
0-39歳	85.3	86.0	80.2	91.8	84.5	84.9	76.1	93.7	85.1	85.7	80.9	90.6
40歳代	83.5	85.1	81.7	88.5	83.5	84.4	78.3	90.5	83.5	85.0	82.0	87.9
50歳代	75.4	79.2	76.3	82.1	82.6	84.5	80.3	88.7	77.3	80.6	78.2	83.0
60歳代	62.3	70.1	67.5	72.6	73.6	77.3	73.7	80.8	65.3	72.0	69.9	74.1
70歳代	42.4	56.9	53.5	60.3	62.3	71.3	67.1	75.4	48.6	61.4	58.7	64.1
80歳以上	19.2	39.3	32.0	46.7	27.9	41.8	34.8	48.8	22.8	40.3	35.1	45.6
UICC TNM 分類総合ステージ												
I期	70.5	82.3	80.3	84.3	79.1	86.8	84.3	89.3	73.1	83.6	82.0	85.2
II期	62.8	71.1	63.5	78.8	72.0	78.3	69.7	86.9	66.1	73.7	67.9	79.5
III期	44.7	52.8	47.7	57.9	48.8	55.2	48.2	62.3	45.9	53.5	49.3	57.7
IV期	7.1	8.2	6.1	10.2	8.2	9.1	5.7	12.6	7.4	8.4	6.6	10.2
不詳	43.6	53.6	40.0	67.1	36.1	41.6	22.6	60.6	41.3	50.0	38.8	61.2
観血的治療												
有	65.8	76.4	74.6	78.1	74.2	81.3	79.0	83.6	68.2	77.8	76.4	79.2
原発巣・治癒切除	68.2	79.3	77.4	81.1	76.2	83.4	81.1	85.7	70.6	80.5	79.0	81.9
原発巣・非治癒切除	17.8	19.8	13.2	26.3	19.8	21.7	10.3	33.0	18.2	20.2	14.4	25.9
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	48.6	54.3	43.4	65.3	61.5	70.4	54.4	86.5	52.4	59.1	49.9	68.3
無	11.3	15.1	11.9	18.4	14.1	17.3	12.5	22.1	12.1	15.8	13.0	18.5

16. 腎盂尿管がん(腎盂尿管癌)

	集計対象施設数	集計対象	死亡数	生存状況把握割合 (%)	平均年齢
2012	293	3,207	2,300	98.0	73.4
I 期	247	635	319	97.0	72.8
II 期	228	444	263	98.0	73.7
III 期	290	910	610	98.5	72.9
IV 期	293	1,040	955	98.4	73.3

(1) 生存状況把握割合

集計対象 3,207 例のうち、10 年以内に死亡していた者は 2,300 例、打ち切りが 65 例で、全体として生存状況把握割合は 98.0%であった。

(2) 対象者の属性

対象者の属性を表 3-16-1 に示す。性別で見ると、男性が 67.7%、女性が 32.3%であった。診断時の年齢分布を見ると、70 歳代が最も多く 39.5%、80 歳以上が 29.3%であった。UICC TNM 分類総合ステージの分布を見ると、IV期が 32.4%を占めた。観血的治療の実施割合は、68.9%であった。発見経緯を見ると、他疾患経過観察中が 33.5%であった。

表 3-16-1 対象者の属性

	男性		女性		全体	
	対象数	(%)	対象数	(%)	対象数	(%)
全体	2,171	100.0	1,036	100.0	3,207	100.0
拠点病院等	2,010	92.6	956	92.3	2,966	92.5
拠点外病院	161	7.4	80	7.7	241	7.5
年齢						
平均年齢 (SD)	72.5 (9.7)		75.5 (9.4)		73.4 (9.7)	
0-14 歳	-	-	-	-	-	-
15-39 歳	10	0	(4-6)	-	(14-16)	-
40 歳代	32	1.5	(7-9)	-	(39-41)	-
50 歳代	150	6.9	46	4.4	196	6.1
60 歳代	564	26.0	187	18.1	751	23.4
70 歳代	874	40.3	393	37.9	1,267	39.5
80 歳以上	541	24.9	398	38.4	939	29.3
UICC TNM 分類総合ステージ						
I 期	453	20.9	182	17.6	635	19.8
II 期	313	14.4	131	12.6	444	13.8
III 期	620	28.6	290	28.0	910	28.4
IV 期	666	30.7	374	36.1	1,040	32.4
不詳	119	5.5	59	5.7	178	5.6
観血的治療						
有	1,527	70.3	684	66.0	2,211	68.9
原発巣・治癒切除	1,346	62.0	583	56.3	1,929	60.1
原発巣・非治癒切除	131	6.0	70	6.8	201	6.3
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	50	2.3	31	3.0	81	2.5
無	644	29.7	352	34.0	996	31.1
発見経緯						
がん検診	11	0.5	(4-6)	-	(14-16)	-
健康診断・人間ドック	51	2.3	(20-22)	2.0	(71-73)	-
他疾患経過観察中	778	35.8	295	28.5	1,073	33.5
その他・不明	1,331	61.3	716	69.1	2,047	63.8

(3)10年生存率

10年生存率を表3-16-2に示す。ネット・サバイバルは、全体で34.0%であった。70歳以上では、実測生存率とネット・サバイバルの乖離が大きく、他疾患での亡くなられる場合も多いと考えられる。UICC TNM 分類総合ステージ別に全体のネット・サバイバルをみると、Ⅰ期が59.2%、Ⅱ期が49.4%、Ⅲ期が40.6%、Ⅳ期が8.9%であった。観血的治療を受けた者のネット・サバイバルは47.3%で、そのうち原発巣・治癒切除例では51.1%であった。

表3-16-2 属性別10年生存率

	男性				女性				全体			
	実測	Net	95%信頼区間		実測	Net	95%信頼区間		実測	Net	95%信頼区間	
全体	27.2	35.4	32.6	38.2	26.8	31.1	27.5	34.6	27.1	34.0	31.8	36.2
拠点病院等	26.9	35.0	32.1	37.9	26.6	30.7	27.1	34.3	26.8	33.6	31.3	35.9
拠点外病院	31.0	39.6	30.0	49.3	28.4	35.4	21.2	49.6	30.1	38.7	30.5	46.8
年齢												
0-39歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
40歳代	60.0	60.9	43.5	78.3	-	-	-	-	56.8	57.7	41.8	73.6
50歳代	50.5	53.0	44.3	61.6	45.1	46.2	31.3	61.1	49.2	51.4	43.9	58.9
60歳代	38.4	43.4	38.7	48.1	43.9	46.1	38.4	53.8	39.8	44.1	40.0	48.1
70歳代	25.0	33.4	29.4	37.4	33.1	38.2	32.6	43.8	27.4	34.8	31.6	38.1
80歳以上	10.5	23.4	17.1	29.7	10.0	14.9	10.1	19.8	10.3	19.8	15.7	23.9
UICC TNM 分類総合ステージ												
Ⅰ期	46.7	59.1	51.7	66.6	51.0	59.5	49.8	69.3	47.9	59.2	53.2	65.3
Ⅱ期	37.3	48.9	40.9	57.0	42.2	50.8	39.3	62.3	38.7	49.4	42.8	56.1
Ⅲ期	32.7	41.8	36.5	47.2	33.3	38.0	31.0	45.0	32.9	40.6	36.3	44.9
Ⅳ期	6.9	8.8	6.2	11.4	7.5	8.5	5.1	11.8	7.1	8.9	6.8	11.0
不詳	12.7	21.0	10.6	31.4	11.0	11.7	2.2	21.1	12.2	18.1	10.2	26.0
観血的治療												
有	37.1	47.6	44.0	51.3	40.0	46.4	41.6	51.2	38.0	47.3	44.4	50.2
原発巣・治癒切除	39.9	51.3	47.4	55.3	43.5	50.5	45.2	55.9	41.0	51.1	47.9	54.3
原発巣・非治癒切除	13.0	16.3	8.4	24.1	11.0	12.9	4.0	21.7	12.3	15.1	9.0	21.1
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	21.6	28.0	11.8	44.1	-	-	-	-	29.6	35.0	21.6	48.4
無	4.1	6.3	3.7	8.9	1.4	1.6	0.1	3.1	3.2	4.6	2.9	6.4

17. 甲状腺がん(甲状腺癌)

甲状腺乳頭濾胞がん(甲状腺乳頭濾胞癌)

	集計対象施設数	集計対象	死亡数	生存状況把握割合 (%)	平均年齢
2012	308	6,400	955	95.7	57.6
I期	308	2,619	182	93.2	49.7
II期	175	333	54	95.2	59.5
III期	303	1,930	233	98.1	62.4
IV期	285	1,427	455	97.1	64.9

(1) 生存状況把握割合

集計対象 6,400 例のうち、10 年以内に死亡していた者は 955 例、打ち切りが 277 例で、全体として生存状況把握割合は 95.7%であった。

(2) 対象者の属性

対象者の属性を表 3-17①-1 に示す。性別をみると、女性が 73.8%を占めた。年齢をみると、60 歳代が最も多く 26.6%、次いで 50 歳代 70 歳代ともに 19.3%であった。UICC TNM 分類総合ステージをみると、I 期が最も多く 40.9%を占めた。観血的治療は 92.4%で実施されていた。発見経緯をみると、他疾患経過観察中が 43.7%であった。

表 3-17①-1 対象者の属性

	男性		女性		全体	
	対象数	(%)	対象数	(%)	対象数	(%)
全体	1,678	100.0	4,722	100.0	6,400	100.0
拠点病院等	1,588	94.6	4,446	94.2	6,034	94.3
拠点外病院	90	5.4	276	5.8	366	5.7
年齢						
平均年齢 (SD)	58.8 (14.7)		57.2 (15.5)		57.6 (15.3)	
0-14 歳	(1-3)	-	(4-6)	-	(7-9)	-
15-39 歳	198	11.8	685	14.5	883	13.8
40 歳代	245	14.6	778	16.5	1,023	16.0
50 歳代	324	19.3	912	19.3	1,236	19.3
60 歳代	484	28.8	1,216	25.8	1,700	26.6
70 歳代	344	20.5	894	18.9	1,238	19.3
80 歳以上	(79-81)	4.8	(232-234)	4.9	(311-315)	4.9
UICC TNM 分類総合ステージ						
I 期	594	35.4	2,025	42.9	2,619	40.9
II 期	96	5.7	237	5.0	333	5.2
III 期	451	26.9	1,479	25.0	1,930	30.2
IV 期	508	30.3	919	19.5	1,427	22.3
不詳	29	1.7	62	1.3	91	1.4
観血的治療						
有	1,542	91.9	4,371	92.6	5,913	92.4
原発巣・治癒切除	1,330	79.3	3,925	83.1	5,255	82.1
原発巣・非治癒切除	119	7.1	292	6.2	411	6.4
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	93	5.5	154	3.3	247	3.9
無	136	8.1	351	7.4	487	7.6
発見経緯						
がん検診	28	1.7	137	2.9	165	2.6
健康診断・人間ドック	284	16.9	731	15.5	1,015	15.9
他疾患経過観察中	758	45.2	2,041	43.2	2,799	43.7
その他・不明	608	36.2	1,813	38.4	2,421	37.8

(3)10 年生存率

10 年生存率を表 3-17①-2 に示す。ネット・サバイバルは、全体で 90.5%であった。年代別にみたネット・サバイバルは、70 歳以上を除き約 90%以上であった。UICC TNM 分類総合ステージ別にみると、I 期が 97.3%、II 期が 89.0%、III 期が 95.4%、IV 期が 72.9%であった。観血的治療有の者のネット・サバイバルは 93.0%であった。

表 3-17①-2 属性別 10 年生存率

	男性				女性				全体			
	実測	Net	95%信頼区間		実測	Net	95%信頼区間		実測	Net	95%信頼区間	
全体	76.3	85.1	82.3	87.9	87.6	92.4	91.2	93.6	84.7	90.5	89.4	91.6
拠点病院等	76.2	84.9	82.1	87.8	87.4	92.2	91.0	93.4	84.5	90.3	89.1	91.4
拠点外病院	77.8	88.1	75.1	100.0	90.8	95.8	91.7	100.0	87.5	93.8	89.2	98.5
年齢												
0-39 歳	98.7	99.5	97.7	100.0	99.3	99.7	99.0	100.0	99.2	99.6	99.0	100.0
40 歳代	93.9	95.7	92.5	99.0	97.5	98.5	97.3	99.7	96.6	97.8	96.6	99.0
50 歳代	82.9	86.9	82.3	91.4	95.2	97.3	95.8	98.9	91.9	94.5	92.8	96.2
60 歳代	77.1	86.8	82.3	91.3	90.1	94.4	92.6	96.3	86.4	92.3	90.5	94.2
70 歳代	57.6	76.0	68.6	83.4	72.2	82.1	78.5	85.6	68.2	80.5	77.2	83.8
80 歳以上	19.7	39.7	20.2	59.2	41.6	61.6	50.7	72.5	35.8	55.9	45.9	66.0
UICC TNM 分類総合ステージ												
I 期	87.7	95.2	91.7	98.7	94.4	97.8	96.6	99.0	92.9	97.3	96.0	98.5
II 期	81.6	90.2	80.7	99.8	83.6	88.5	81.9	95.1	83.0	89.0	83.6	94.5
III 期	82.6	94.3	89.4	99.3	89.8	95.7	93.8	97.6	88.1	95.4	93.5	97.3
IV 期	57.7	65.2	59.3	71.2	71.6	77.1	73.5	80.7	66.7	72.9	69.7	76.1
不詳	-	-	-	-	73.8	81.0	66.5	95.5	67.0	74.4	60.7	88.2
観血的治療												
有	79.6	88.5	85.7	91.3	89.9	94.6	93.5	95.6	87.2	93.0	91.9	94.1
原発巣・治癒切除	81.8	91.0	88.1	93.9	90.9	95.5	94.4	96.6	88.6	94.4	93.3	95.5
原発巣・非治癒切除	60.3	67.2	55.8	78.5	79.7	85.0	79.5	90.6	74.1	79.8	74.5	85.0
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	73.2	80.8	69.7	92.0	85.1	88.7	82.1	95.3	80.6	85.7	79.8	91.7
無	38.5	46.1	34.3	57.9	59.2	65.0	58.0	72.1	53.3	59.7	53.6	65.9

甲状腺未分化がん(甲状腺未分化癌)

	集計対象施設数	集計対象	死亡数	生存状況把握割合 (%)	平均年齢
2012	97	155	151	100.0	71.9
II期	-	(1-3)	(1-3)	-	91.0
III期	-	(1-3)	(1-3)	-	72.0
IV期	97	148	144	100.0	71.8

(1) 生存状況把握割合

集計対象 155 例のうち、10 年以内に死亡していた者は 151 例で、全体として生存状況把握割合は 100%であった。

(2) 対象者の属性

対象者の属性を表 3-17②-1 に示す。性別をみると、男性が 42.6%、女性が 57.4%であった。年齢をみると、70 歳以上が最も多く 30.3%、次いで 60 歳代 80 歳代ともに 29.7%であった。観血的治療は甲状腺乳頭濾胞癌と比較して低く、37.4%であった。発見経緯をみると、他疾患経過観察中が 13.6%であった。

表 3-17②-1 対象者の属性

	男性		女性		全体	
	対象数	(%)	対象数	(%)	対象数	(%)
全体	66	100.0	89	100.0	155	100.0
拠点病院等	(60~62)	-	(83~85)	-	(146~148)	-
拠点外病院	(4-6)	-	(4-6)	-	(7-9)	-
年齢						
平均年齢 (SD)	69.8(9.6)		73.5(13.0)		71.9(11.8)	
0-14 歳	-	-	-	-	-	-
15-39 歳	(1-3)	-	(1-3)	-	(4-6)	-
40 歳代	(1-3)	-	0	0.0	(1-3)	-
50 歳代	(4-6)	-	(4-6)	-	11	7.1
60 歳代	24	36.4	22	24.7	46	29.7
70 歳代	23	34.8	24	27.0	47	30.3
80 歳以上	11	16.7	35	39.3	46	29.7
UICC TNM 分類総合ステージ						
I 期	-	-	-	-	-	-
II 期	-	-	(1-3)	-	(1-3)	-
III 期	-	-	(1-3)	-	(1-3)	-
IV 期	63	95.5	85	95.5	148	95.5
不詳	(1-3)	-	-	-	(1-3)	-
観血的治療						
有	20	30.3	38	42.7	58	37.4
原発巣・治癒切除	(7-9)	-	20	22.5	(27~29)	-
原発巣・非治癒切除	11	16.7	(14~16)	-	(25~27)	-
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	(1-3)	-	(4-6)	-	(4-6)	-
無	46	69.7	51	57.3	97	62.6
発見経緯						
がん検診	-	-	-	-	-	-
健康診断・人間ドック	-	-	-	-	-	-
他疾患経過観察中	(7-9)	-	(11~13)	-	(18~22)	13.6
その他・不明	(57-59)	86.4	(75-77)	86.5	(132-134)	86.5

(3)10年生存率

10年生存率を表3-17②-2に示す。実測生存率、ネット・サバイバルともに10%未満であった。対象数が限られるため生存率値の解釈には留意が必要である。

表3-17②-2 属性別10年生存率

	男性			女性			全体		
	実測	Net	95%信頼区間	実測	Net	95%信頼区間	実測	Net	95%信頼区間
全体	-	0.0	0.0 0.1	4.5	5.6	0.3 10.9	2.6	3.2	0.1 6.3
拠点病院等	-	0.0	0.0 0.1	4.7	5.8	0.3 11.3	2.7	3.4	0.1 6.6
拠点外病院	-	-	-	-	-	-	-	-	-
年齢									
0-39歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-
40歳代	-	-	-	-	-	-	-	-	-
50歳代	-	-	-	-	-	-	-	-	-
60歳代	-	-	-	-	-	-	-	2.4	0.0 6.3
70歳代	-	-	-	-	-	-	2.1	2.7	0.0 6.8
80歳以上	-	-	-	2.9	5.1	0.0 13.0	2.2	3.7	0.0 9.6
UICC TNM分類総合ステージ									
I期	-	-	-	-	-	-	-	-	-
II期	-	-	-	-	-	-	-	-	-
III期	-	-	-	-	-	-	-	-	-
IV期	-	0.0	0.0 0.1	4.7	5.8	0.5 11.1	2.7	3.3	0.2 6.5
不詳	-	-	-	-	-	-	-	-	-
観血的治療									
有	-	-	-	7.9	9.8	0.0 19.9	5.2	6.4	0.0 13.3
原発巣・治癒切除	-	-	-	-	-	-	-	-	-
原発巣・非治癒切除	-	-	-	-	-	-	-	-	-
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無	-	0.3	0.0 0.9	2.0	2.9	0.0 7.8	1.0	1.5	0.0 4.0

甲状腺髄様がん(甲状腺髄様癌)

	集計対象施設数	集計対象	死亡数	生存状況把握割合 (%)	平均年齢
2012	17	38	(7-9)	100.0	60.2
I 期	(7-9)	10	(1-3)	100.0	60.3
II 期	(1-3)	(1-3)	(1-3)	100.0	72.7
III 期	(7-9)	(7-9)	(1-3)	100.0	70.6
IV 期	17	18	(1-3)	100.0	54.1

(1) 生存状況把握割合

集計対象 38 例であった。集計対象全体で生存状況把握割合は、100%であった。

10 年生存率を表 3-17③-2 に示す。

(2) 対象者の属性

対象者の属性を表 3-17③-1 に示す。対象数が限られるため全体のみで示す。男性が 42.1%、女性が 57.9%であった。観血的治療を受けたものが約 95%であった。発見経緯を見ると、他疾患経過観察中が 36.8%であった。

(3) 10 年生存率

表 3-17③-1 対象者の属性

	全体	
	症例数	(%)
全体	38	100.0
拠点病院等	38	100.0
拠点外病院	-	-
年齢		
平均年齢 (SD)	60.2 (17.7)	
0-14 歳	(1-3)	-
15-39 歳	(1-3)	-
40 歳代	(7-9)	-
50 歳代	(1-3)	-
60 歳代	(7-9)	-
70 歳代	12	31.6
80 歳以上	(1-3)	-
UICC TNM 分類総合ステージ		
I 期	10	26.3
II 期	(1-3)	-
III 期	(7-9)	-
IV 期	18	47.4
不詳	-	-
観血的治療		
有	(34-38)	94.7
原発巣・治癒切除	29	76.3
原発巣・非治癒切除	(4-6)	-
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	(1-3)	-
無	(1-3)	-
発見経緯		
がん検診	(1-3)	-
健康診断・人間ドック	(4-6)	-
他疾患経過観察中	14	36.8
その他・不明	19	50.0

表 3-17③-2 属性別 10 年生存率

	全体			
	実測	Net	95%信頼区間	
全体	81.6	90.8	75.9	100.0
観血的治療 有	86.2	96.2	82.4	100.0

18. 女性卵巣がん(女性卵巣癌)

	集計対象施設数	集計対象	死亡数	生存状況把握割合 (%)	平均年齢
2012	306	5,016	2,436	97.2	58.3
I 期	306	2,002	309	95.2	54.3
II 期	196	437	177	99.1	58.3
III 期	291	1,601	1,169	98.5	60.7
IV 期	261	784	666	99.1	63.4

(1) 生存状況把握割合

集計対象 5,016 例のうち、10 年以内に死亡していた者は 2,436 例、打ち切りが 140 例で、全体として生存状況把握割合は 97.2%であった。

(2) 対象者の属性

対象者の属性を表 3-18-1 に示す。診断時の年齢分布をみると、60 歳代が 26.3%であった。UICC TNM 分類総合ステージをみると、I 期が最も多く 39.9%を占めた。観血的治療は 84.8%で実施されていた

表 3-18-1 対象者の属性

	全体	
	対象数	(%)
全体	5,016	100.0
拠点病院等	4,734	94.4
拠点外病院	282	5.6
年齢		
平均年齢 (SD)	58.3(14.3)	
0-14 歳	27	0.5
15-39 歳	394	7.9
40 歳代	871	17.4
50 歳代	1,285	25.6
60 歳代	1,320	26.3
70 歳代	794	15.8
80 歳以上	325	6.5
UICC TNM 分類総合ステージ		
I 期	2,002	39.9
II 期	437	8.7
III 期	1,601	31.9
IV 期	784	15.6
不詳	192	3.8
観血的治療		
有	4,252	84.8
原発巣・治癒切除	2,949	58.8
原発巣・非治癒切除	880	17.5
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	423	8.4
無	764	15.2
発見経緯		
がん検診	192	3.8
健康診断・人間ドック	165	3.3
他疾患経過観察中	961	19.2
その他・不明	3,698	73.7

(3)10年生存率

10年生存率を表3-18-2に示す。ネット・サバイバルは、全体で52.8%であった。実測生存率とネット・サバイバルの差は他のがんと比較して大きくはなかった。UICC TNM 分類総合ステージ別にみると、全体でI期が87.4%、II期が61.3%、III期が27.6%、IV期が14.9%であった。観血的治療を受けた者のネット・サバイバルは60.7%で、そのうち原発巣・治癒切除例では72.4%であった。

表3-18-2 属性別10年生存率

	実測	全体		
		Net	95%信頼区間	
全体	50.8	52.8	51.3	54.3
拠点病院等	50.7	52.7	51.1	54.2
拠点外病院	53.1	55.3	49.0	61.7
年齢				
0-39歳	86.0	86.4	82.9	89.9
40歳代	62.2	62.9	59.6	66.3
50歳代	57.0	58.3	55.4	61.1
60歳代	47.3	49.6	46.6	52.5
70歳代	31.5	35.5	31.7	39.4
80歳以上	10.4	14.9	9.5	20.4
UICC TNM 分類総合ステージ				
I期	84.1	87.4	85.5	89.2
II期	58.8	61.3	56.3	66.2
III期	26.5	27.6	25.2	29.9
IV期	14.3	14.9	12.2	17.6
不詳	38.7	40.2	32.7	47.6
観血的治療				
有	58.5	60.7	59.1	62.4
原発巣・治癒切除	69.7	72.4	70.6	74.3
原発巣・非治癒切除	24.3	25.2	22.1	28.3
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	51.4	53.2	48.1	58.4
無	8.2	8.6	6.4	10.8

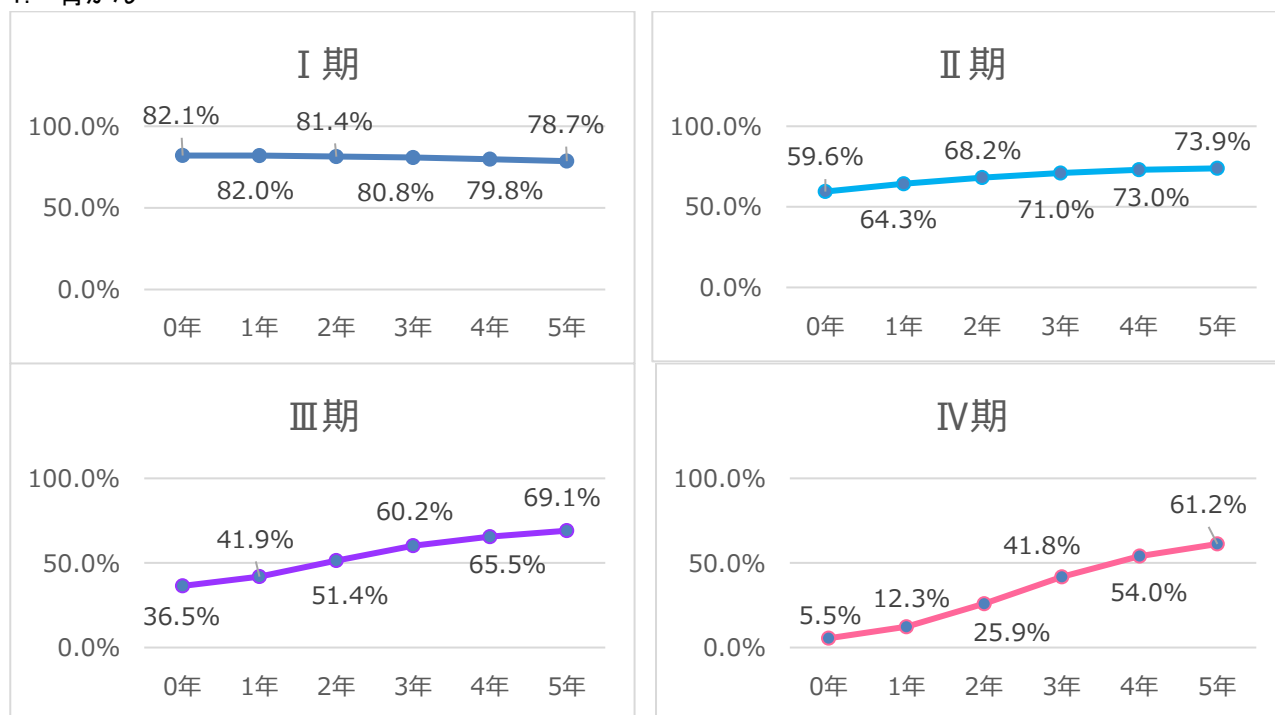
IV. 特別集計 サバイバー生存率

1. 2012年診断例におけるサバイバー5年生存率

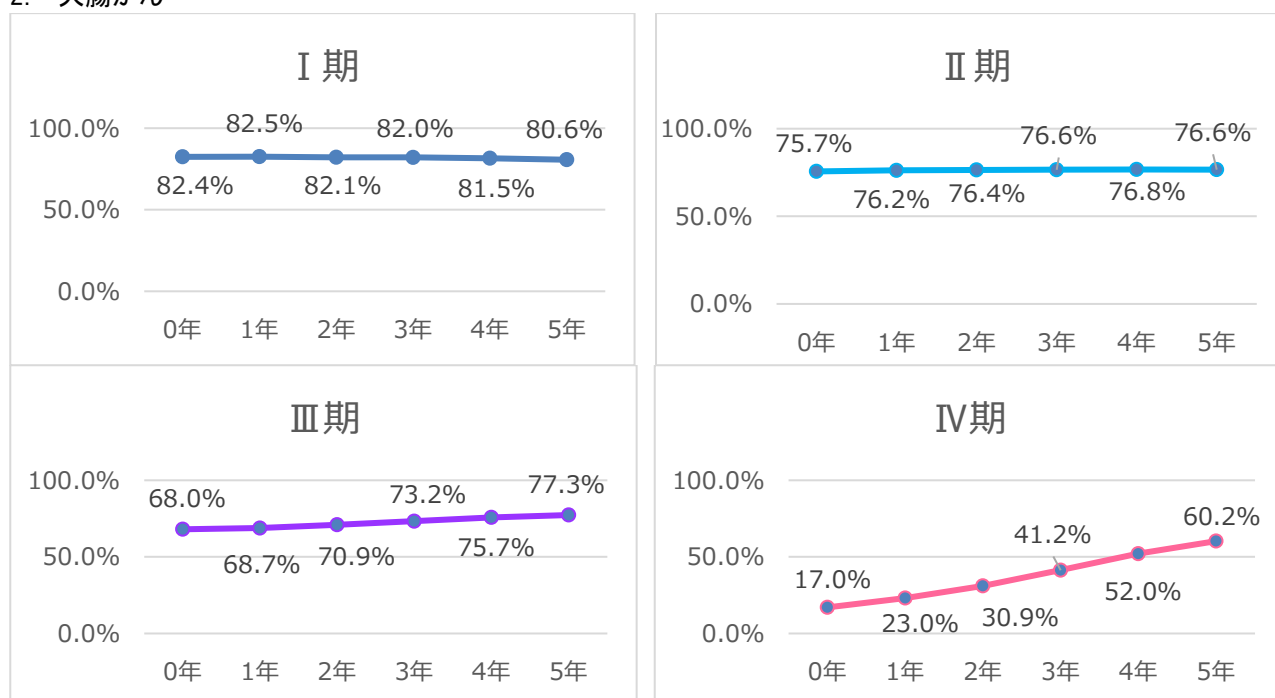
サバイバー生存率は、診断日からの経過日数ごとに、そこからある期間（例：5年間）を生きる確率を示す。例えば、大腸がんのⅢ期では、診断日から診断5年後までの5年実測生存率は68.0%だが、診断後1年生存された方を対象とした診断1年後から診断6年後までの5年生存率は68.7%、さらに診断2年後から7年後までの5年生存率は70.9%となっており、長期生存するほど「次の5年間の生存率」が上がっていた。この「次の～年の生存率」を「サバイバー～年生存率」と言い、以下のグラフでは診断日からの時間経過を横軸、「サバイバー～年生存率」を縦軸としている。多くのがん種で治療による根治が期待できる病期ではサバイバー5年生存率はほぼ横ばいだが、進行期では1年生存するほどその5年生存率は改善する傾向であった。一方、乳がんではどの病期でもサバイバー5年生存率はほぼ横ばいであり、乳がんでは長期の治療と経過観察が必要なサブタイプがあることを反映していると推測される。

図4 サバイバー生存率

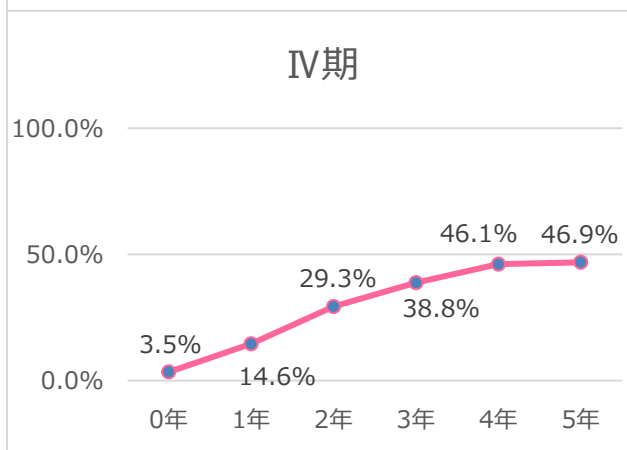
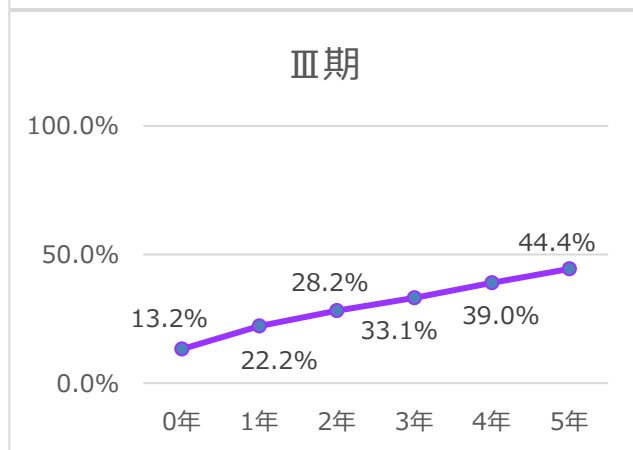
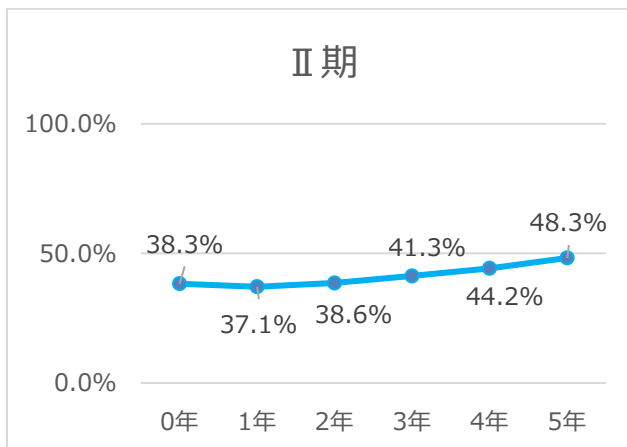
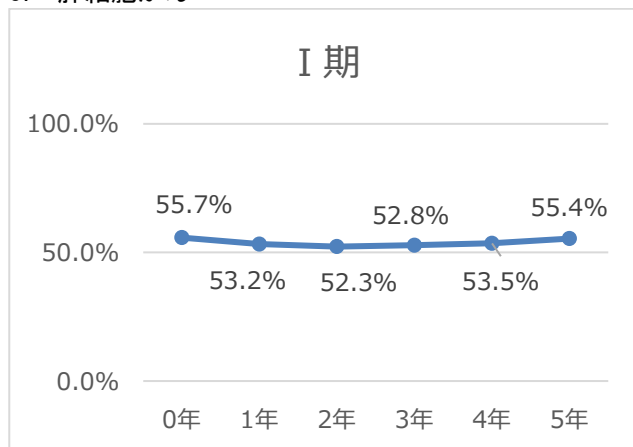
1. 胃がん



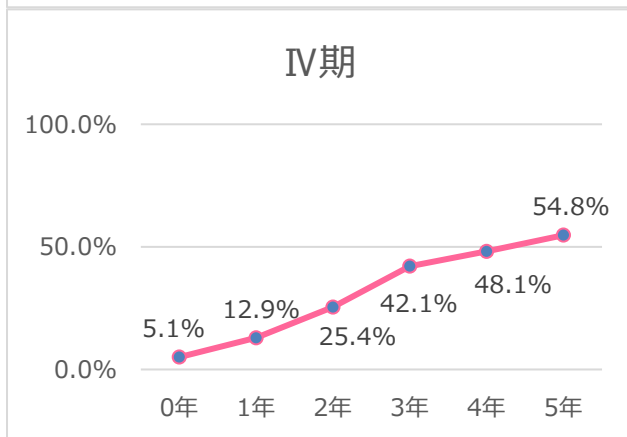
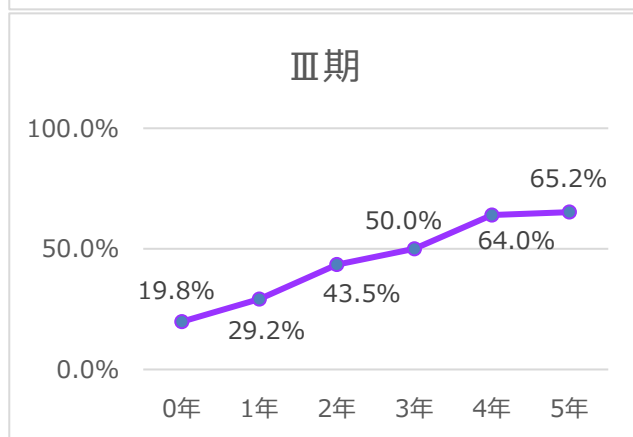
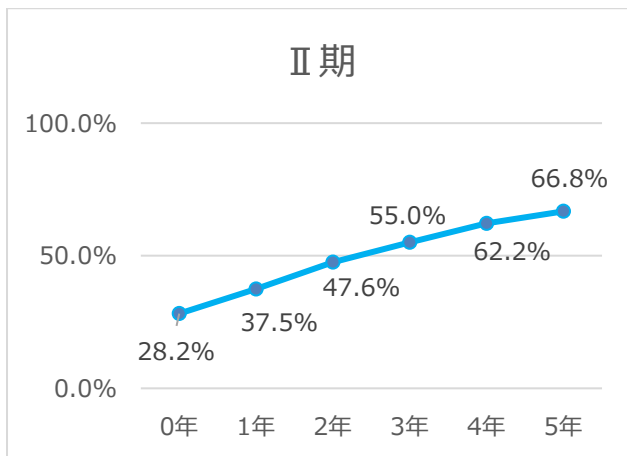
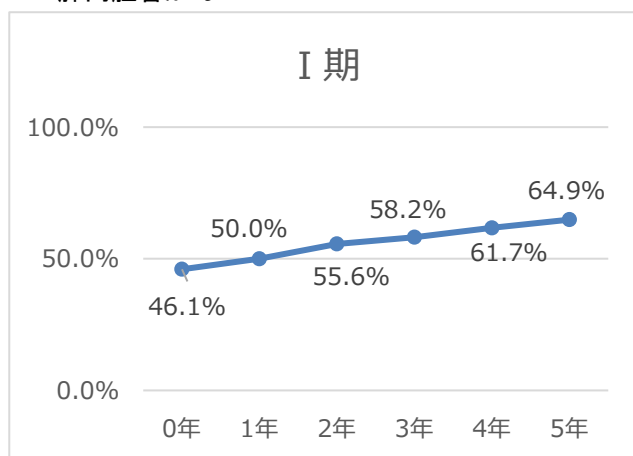
2. 大腸がん



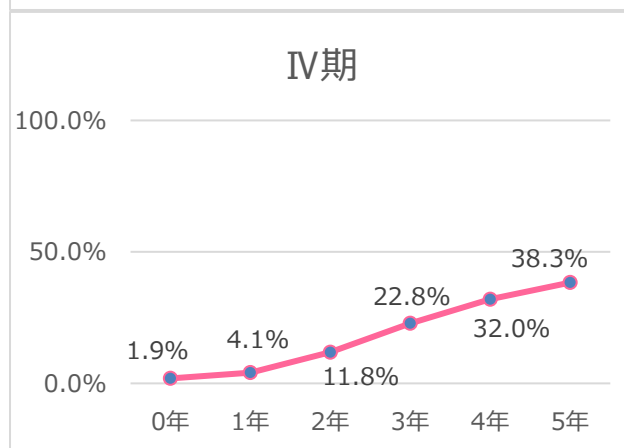
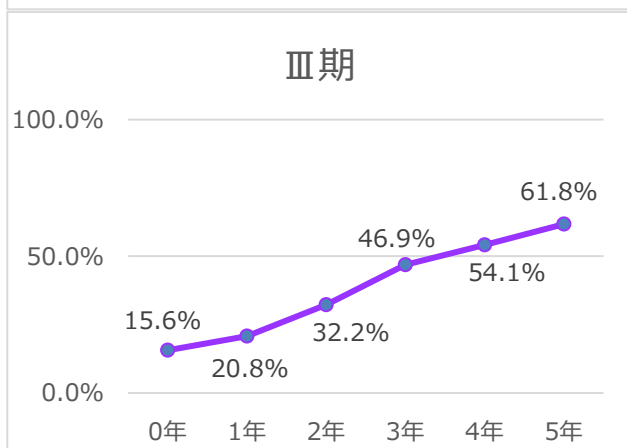
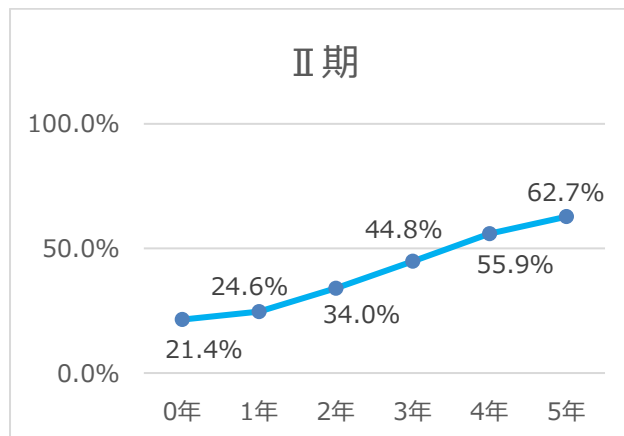
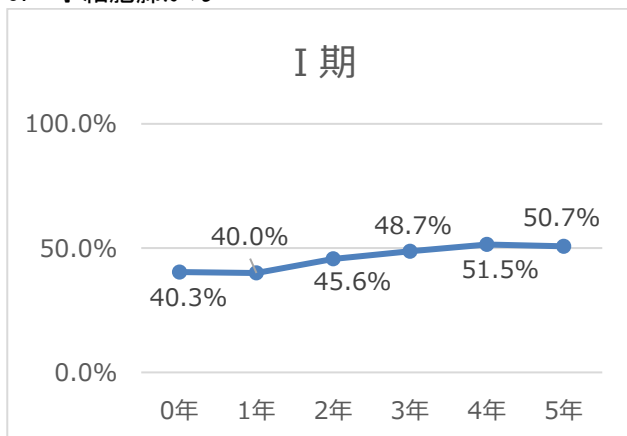
3. 肝細胞がん



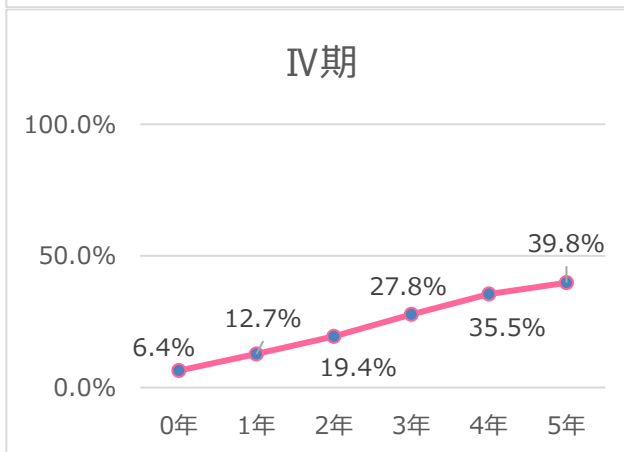
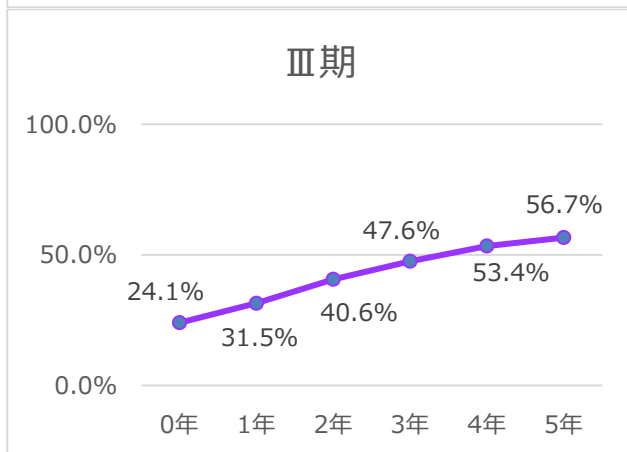
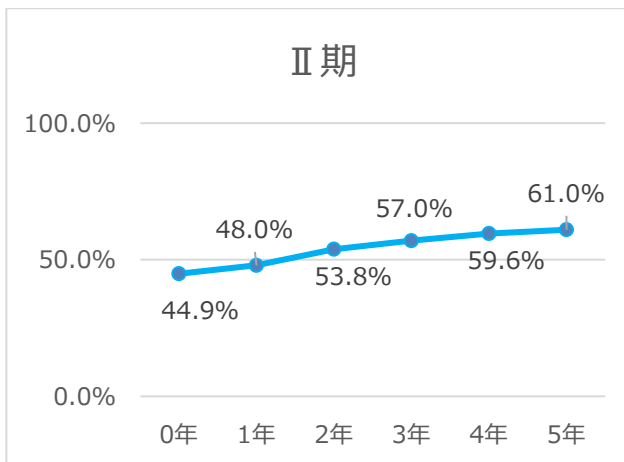
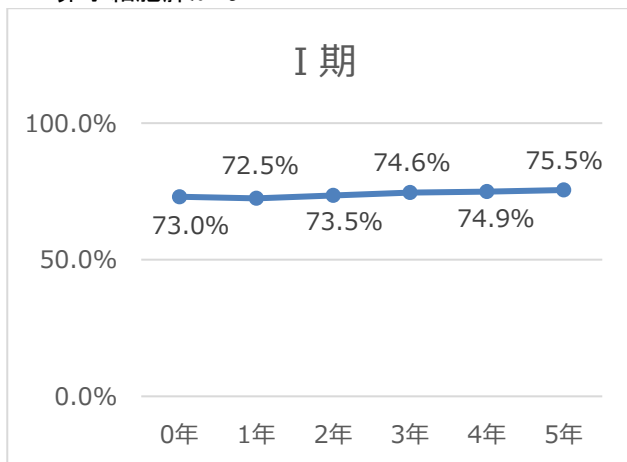
4. 肝内胆管がん



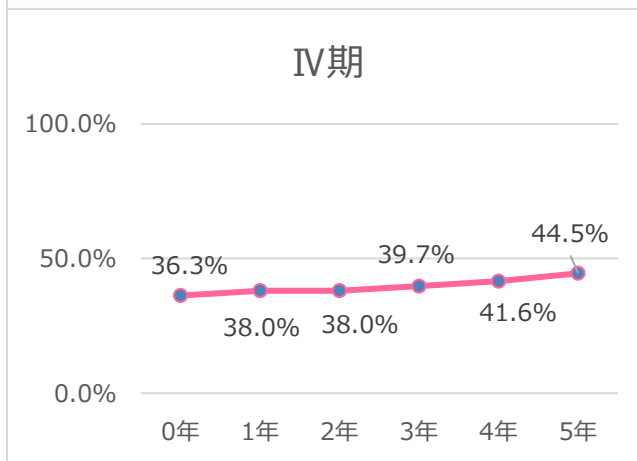
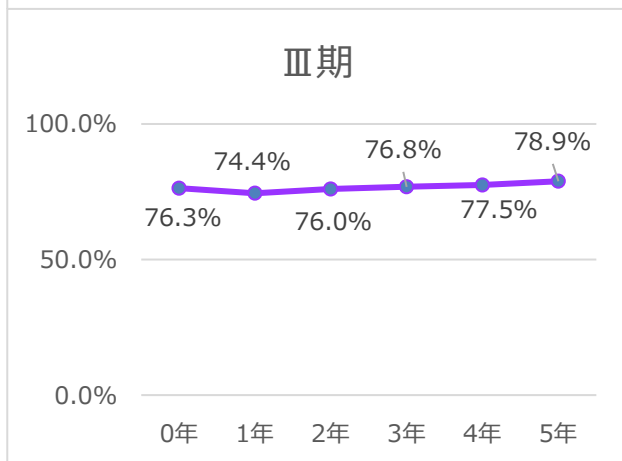
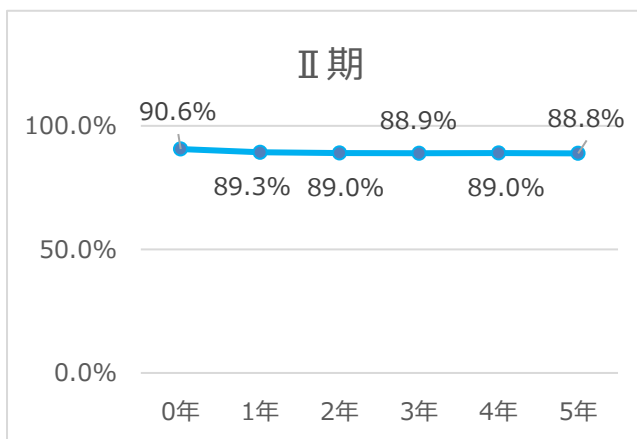
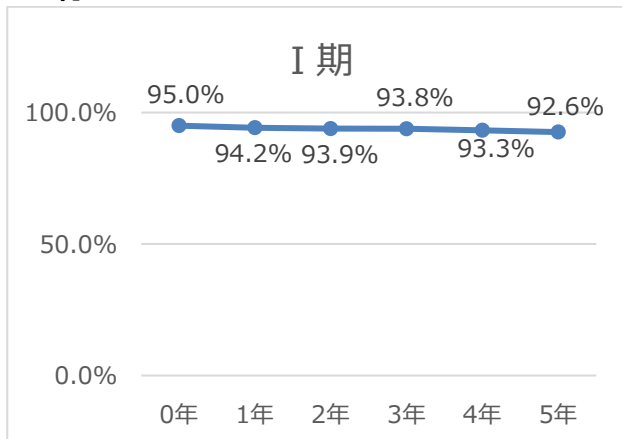
5. 小細胞肺癌



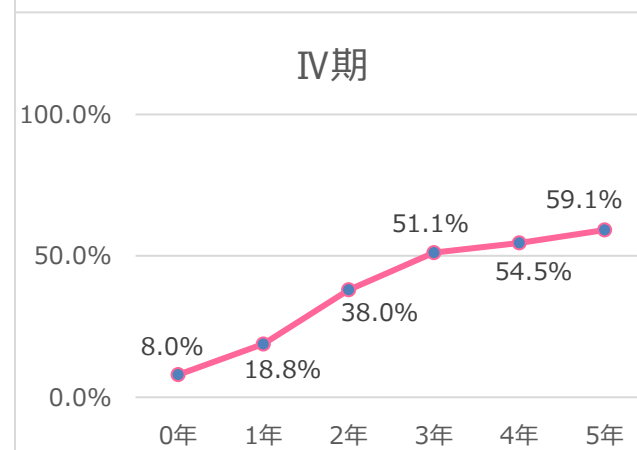
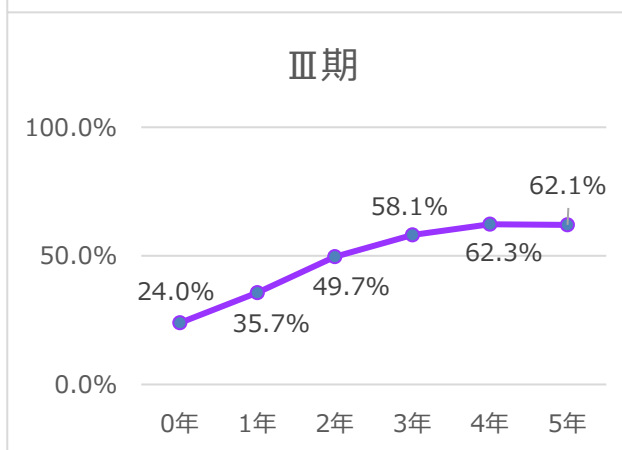
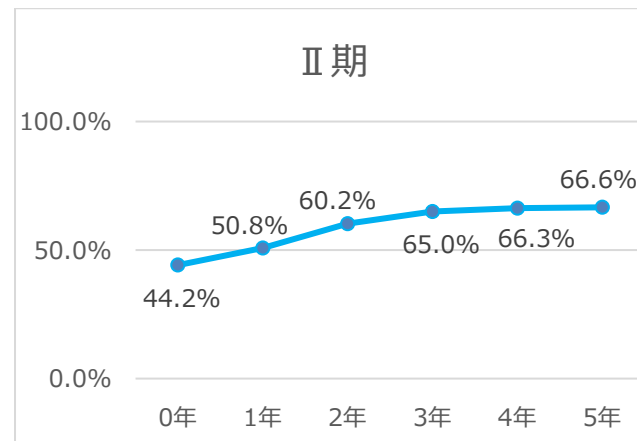
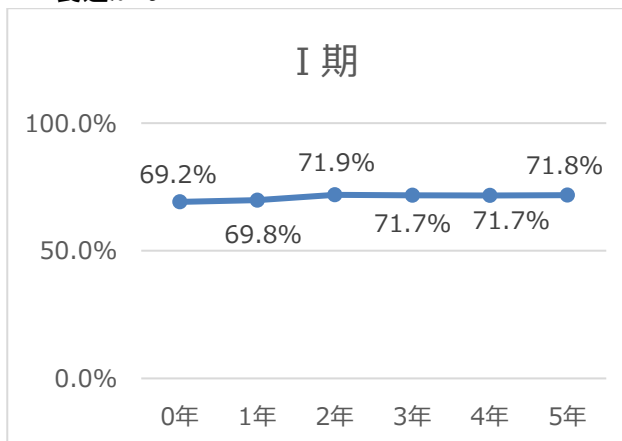
6. 非小細胞肺癌



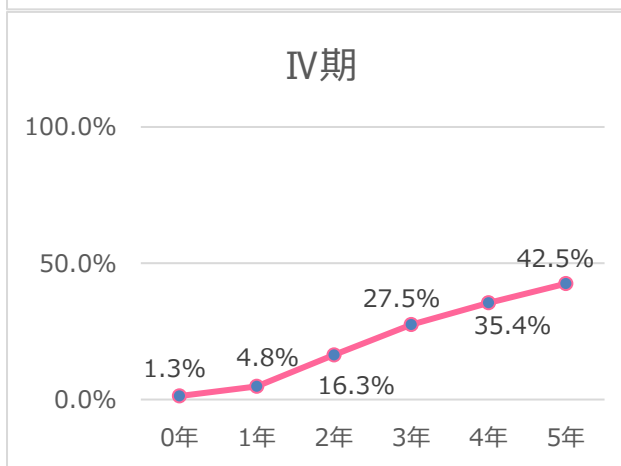
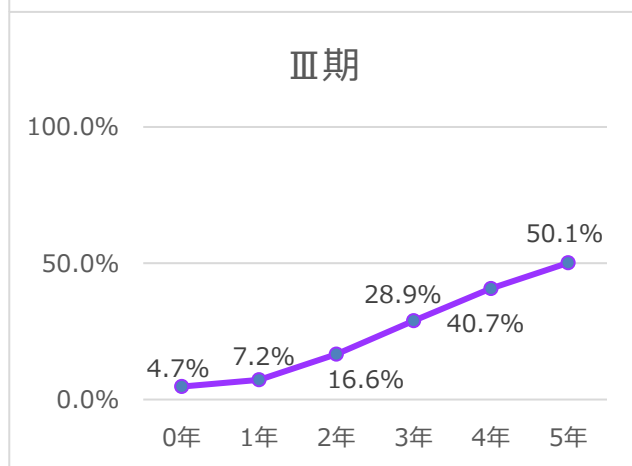
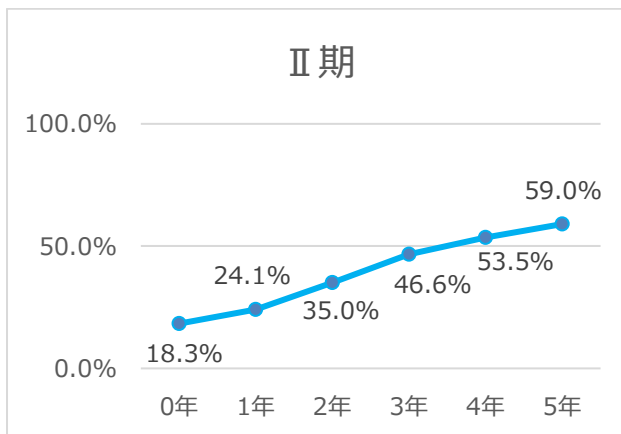
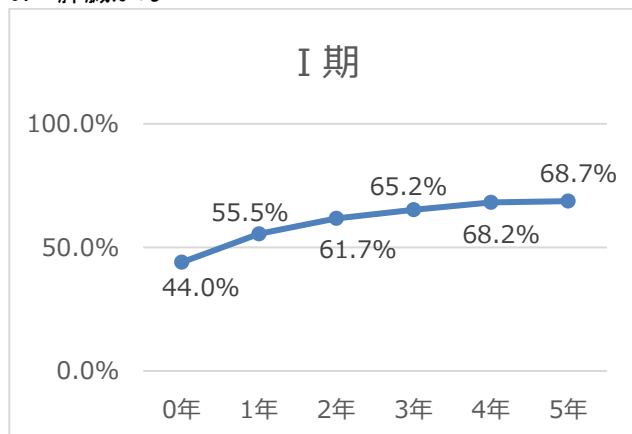
7. 乳がん



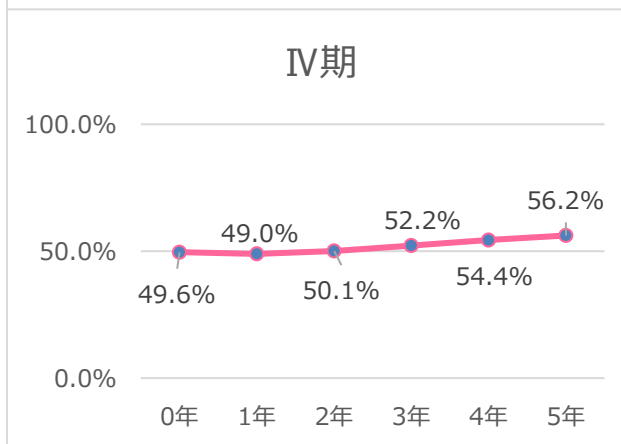
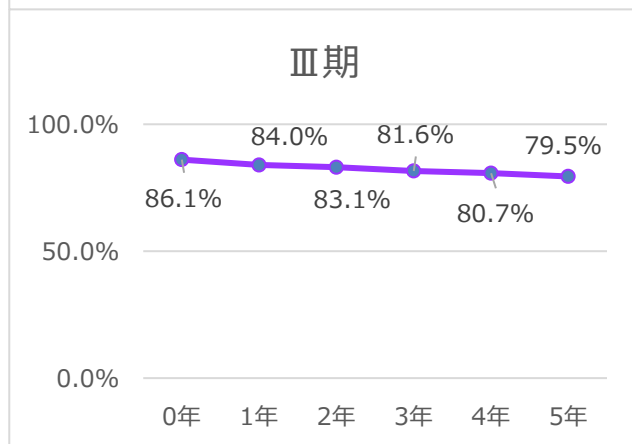
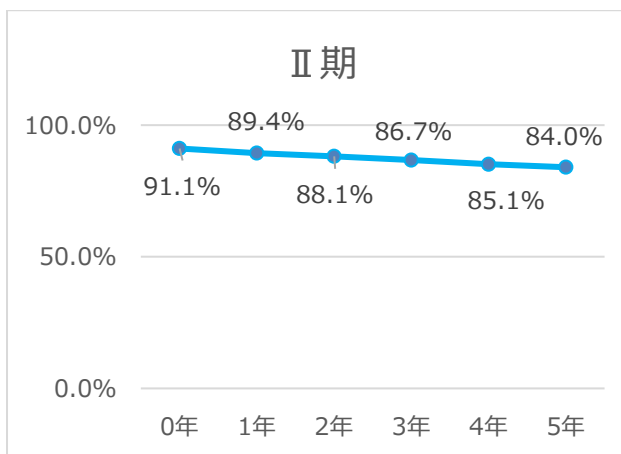
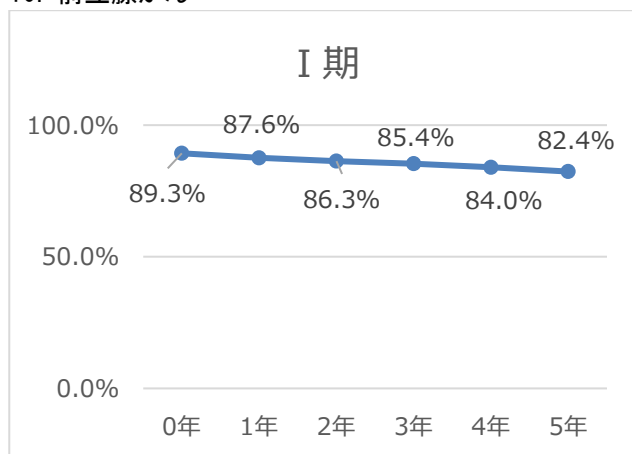
8. 食道がん



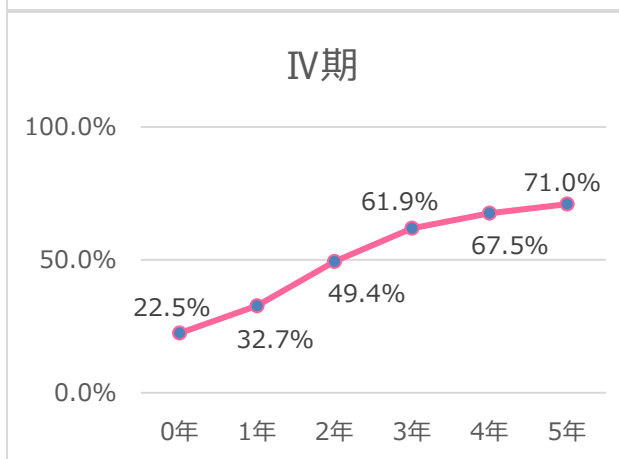
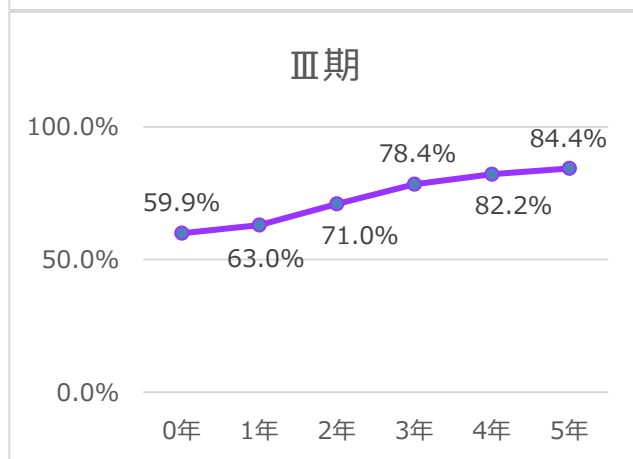
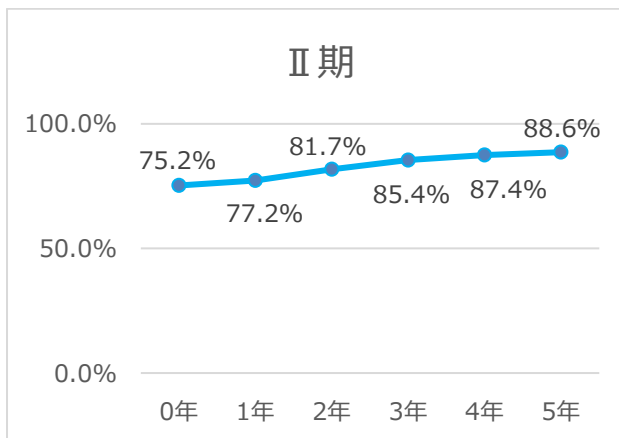
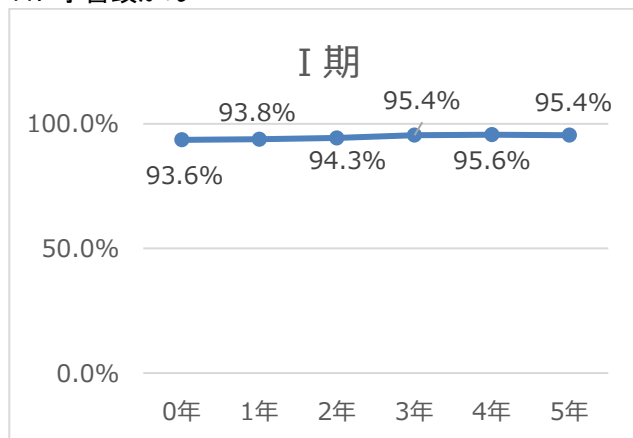
9. 膵臓がん



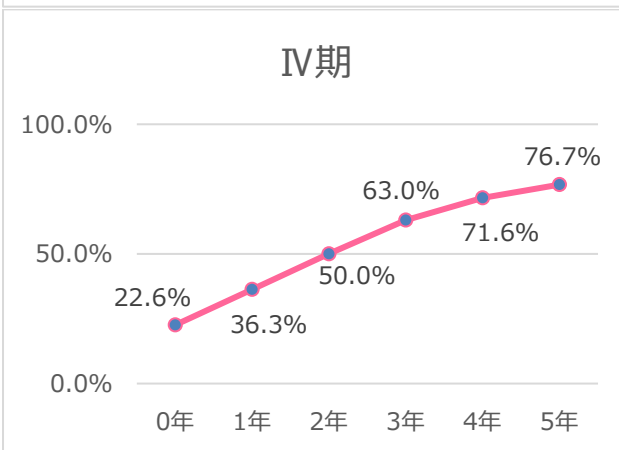
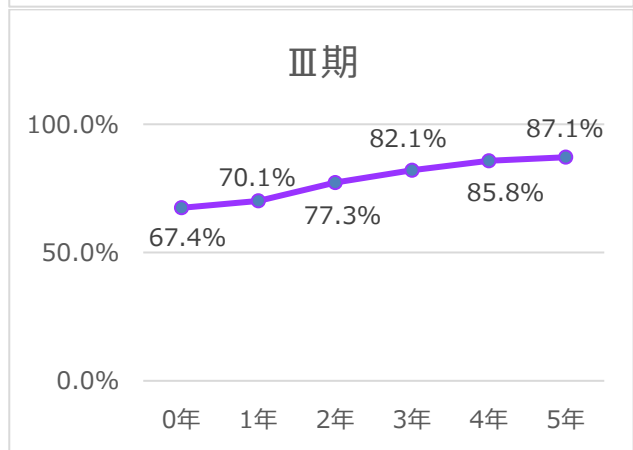
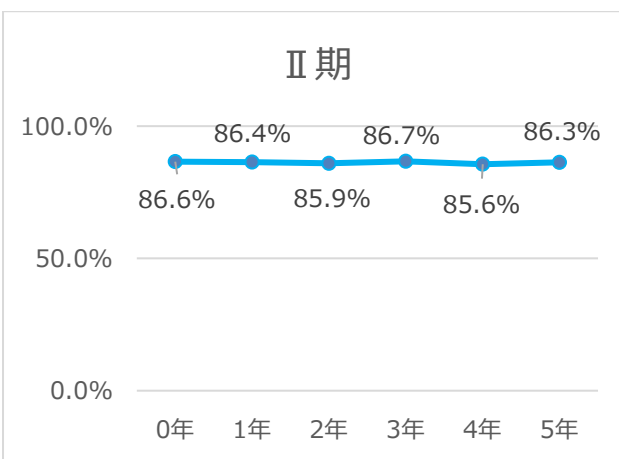
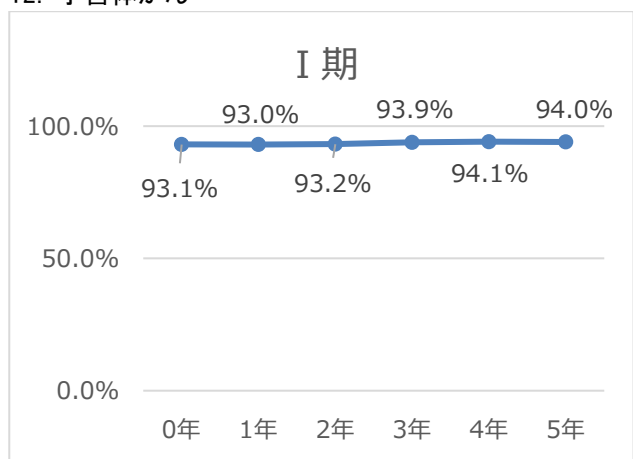
10. 前立腺がん



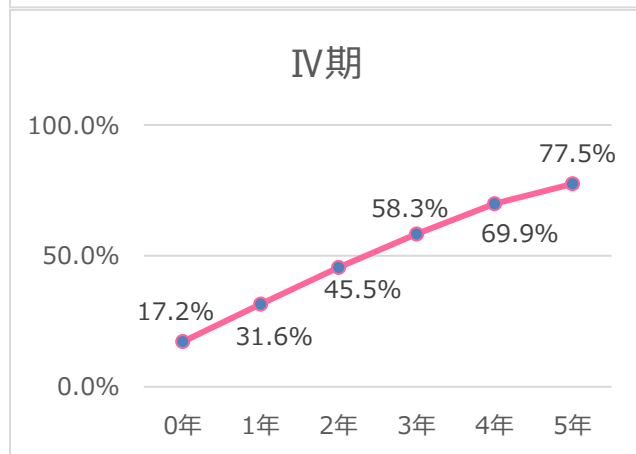
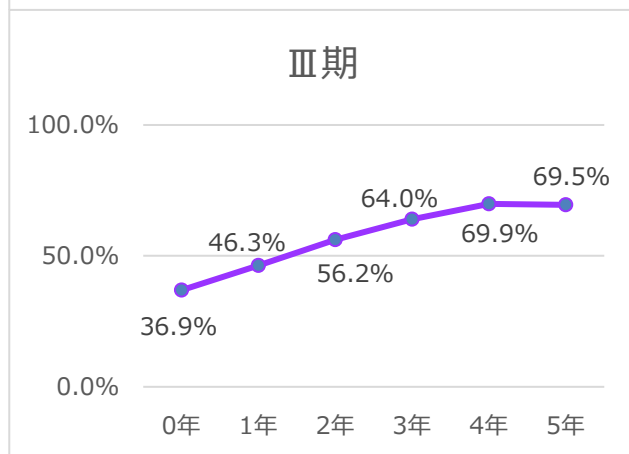
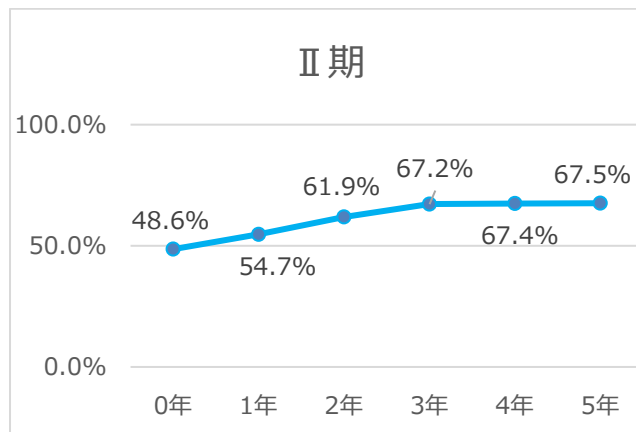
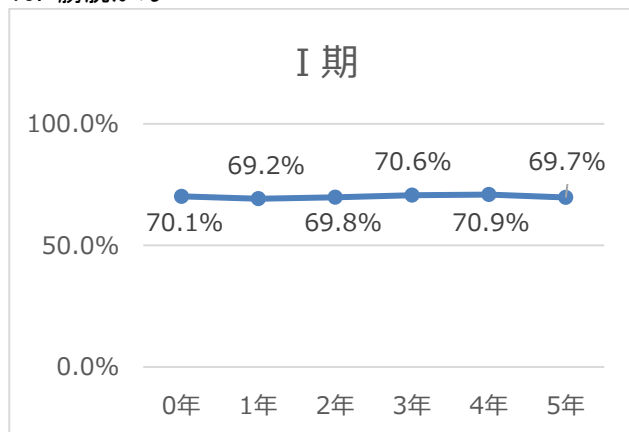
11. 子宮頸がん



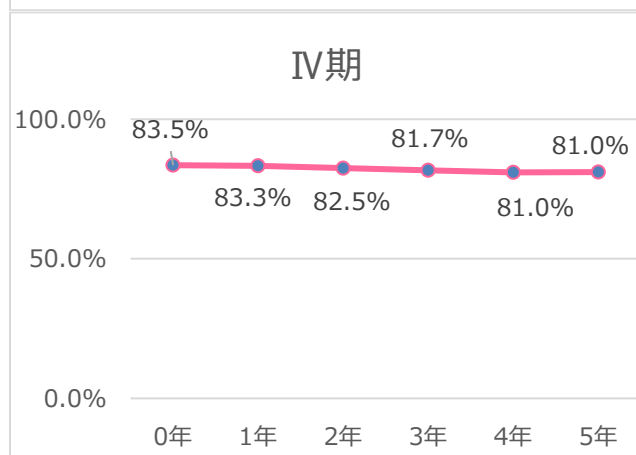
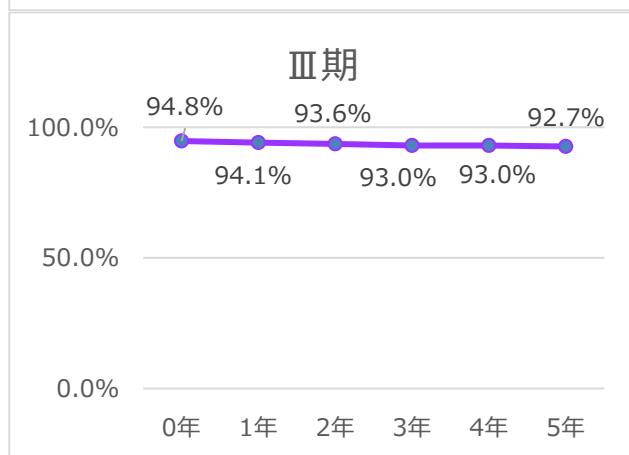
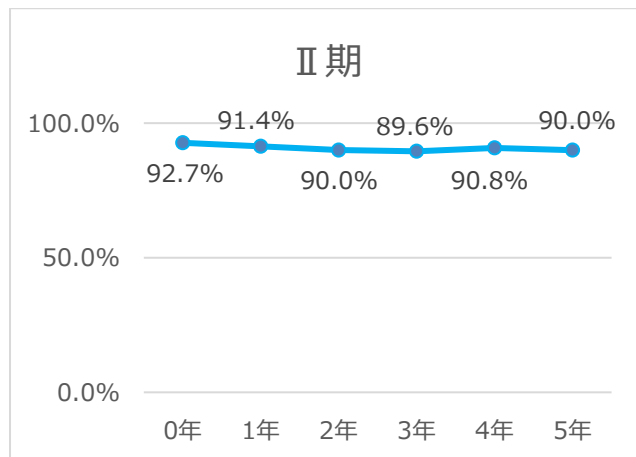
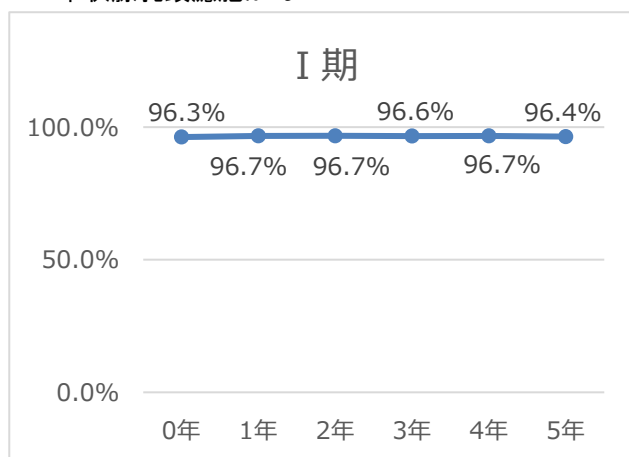
12. 子宮体がん



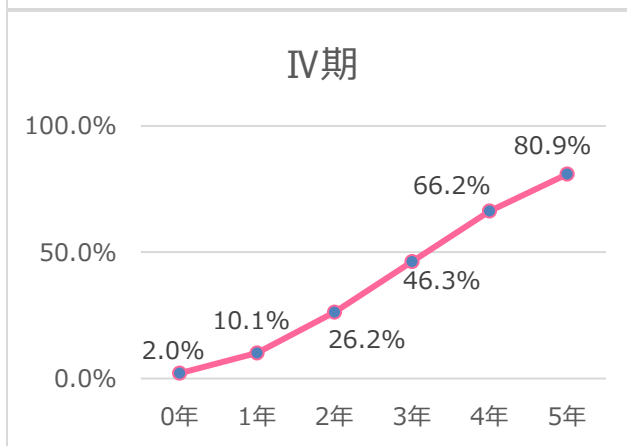
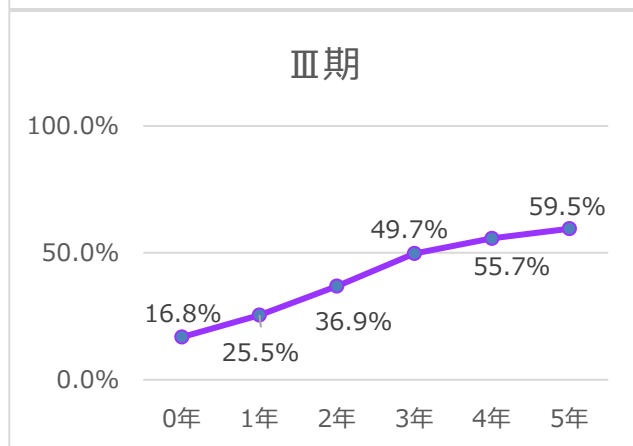
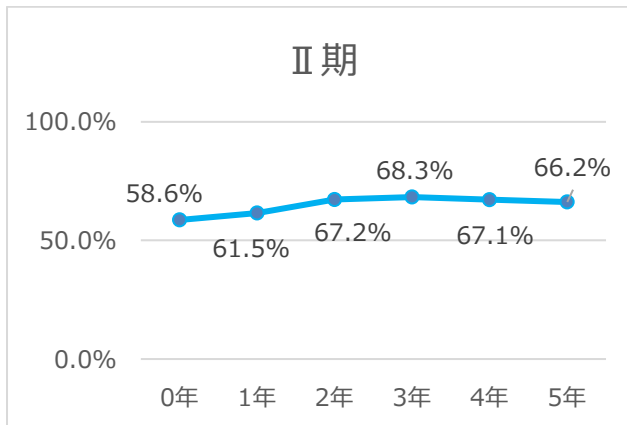
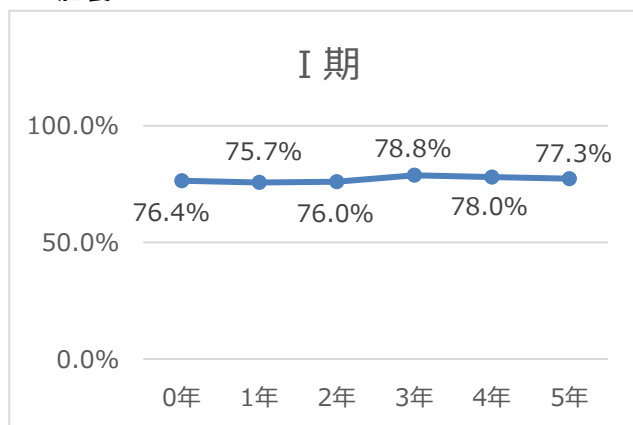
13. 膀胱がん



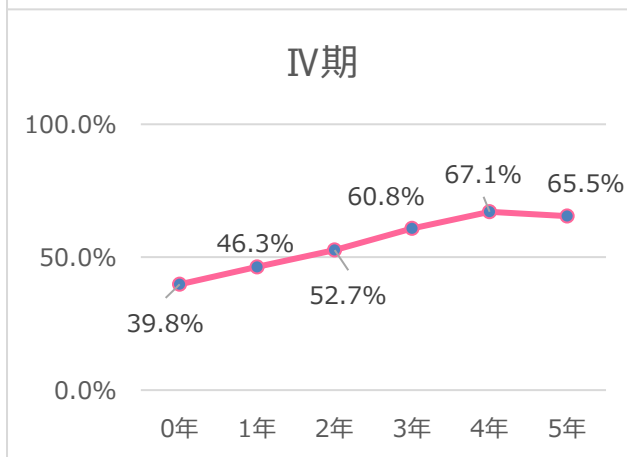
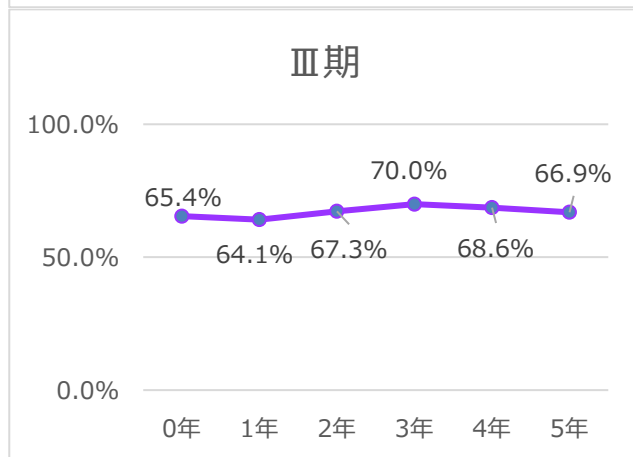
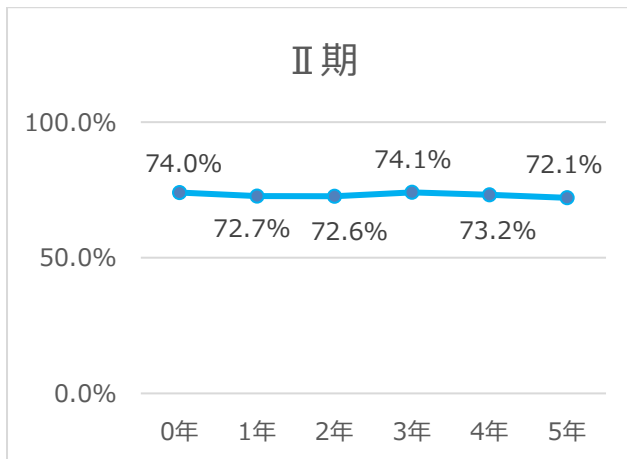
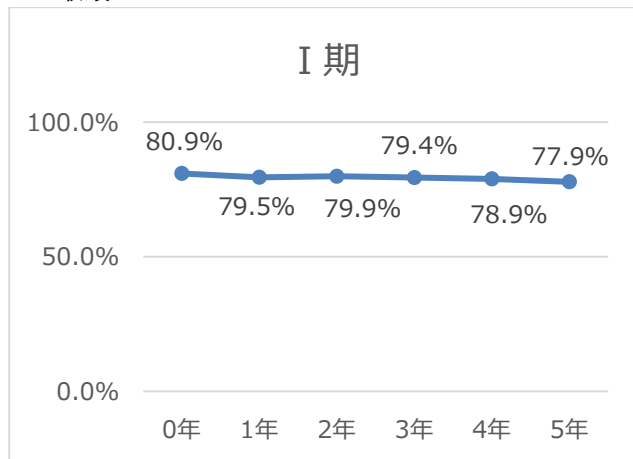
14. 甲状腺乳頭濾胞がん



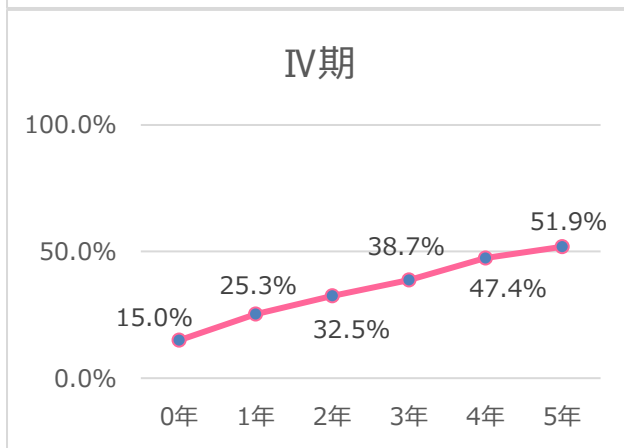
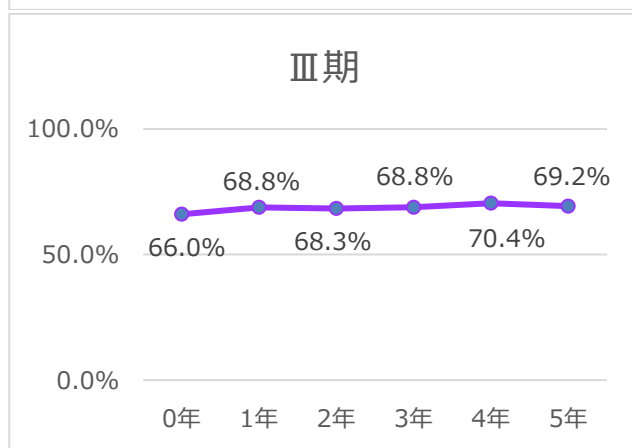
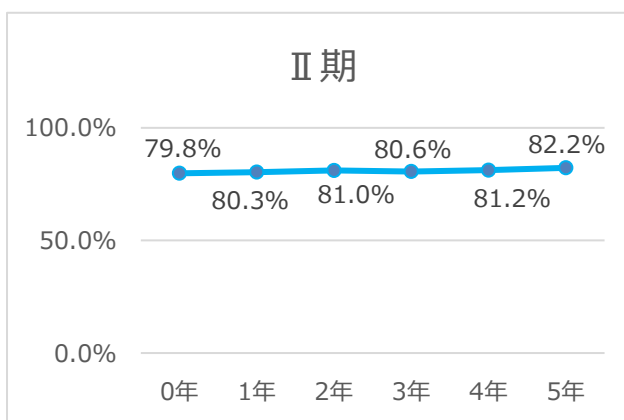
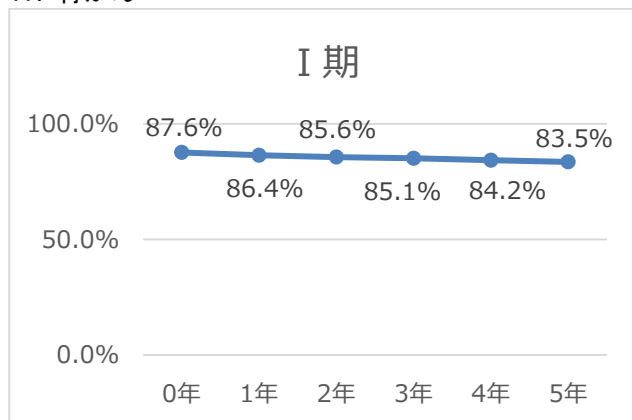
15. 胆嚢がん



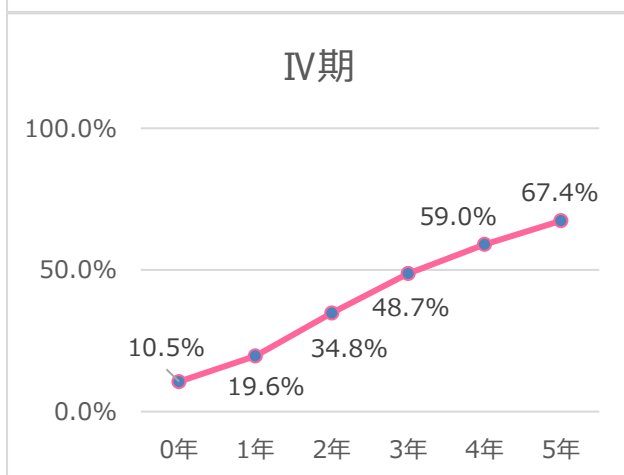
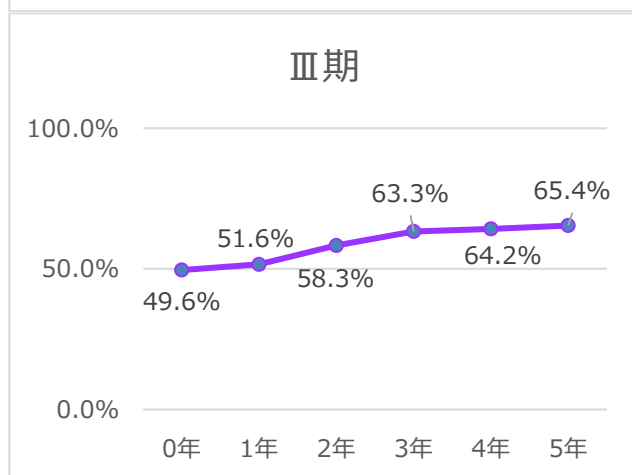
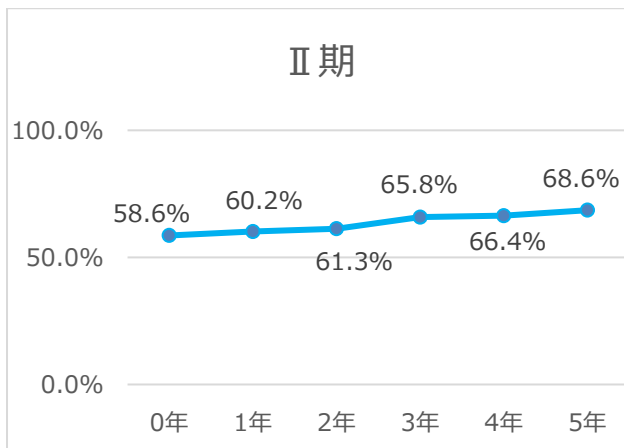
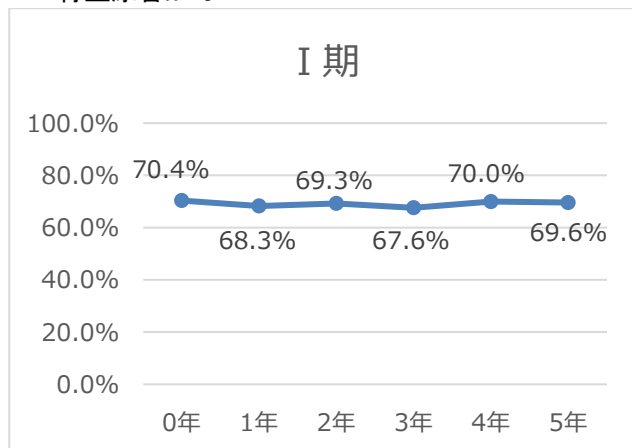
16. 喉頭がん



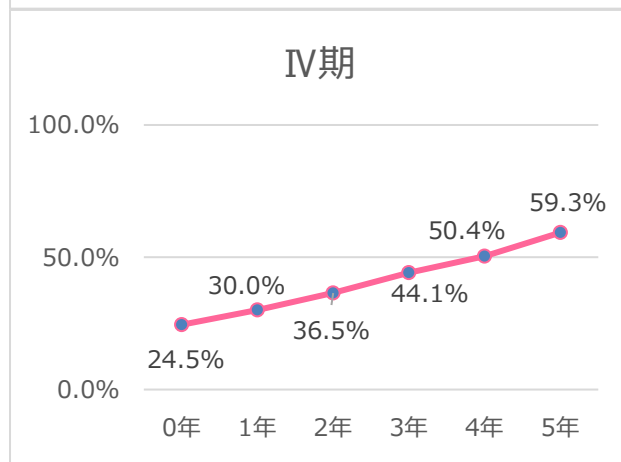
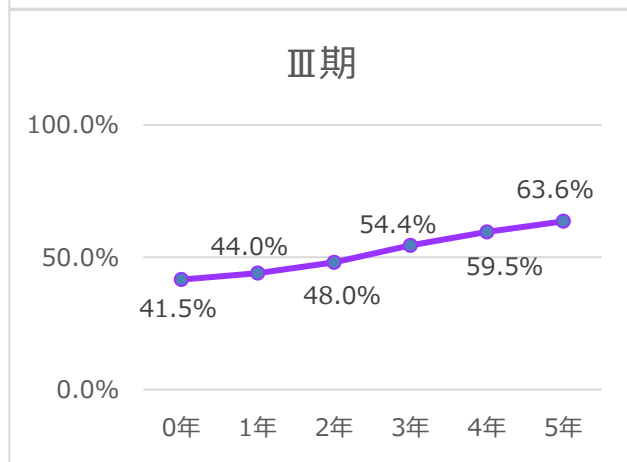
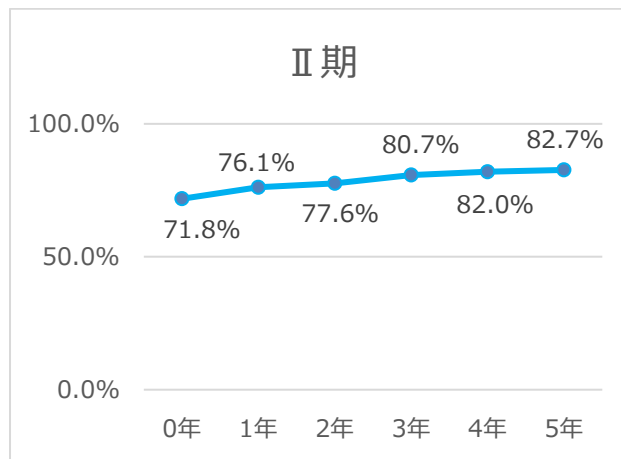
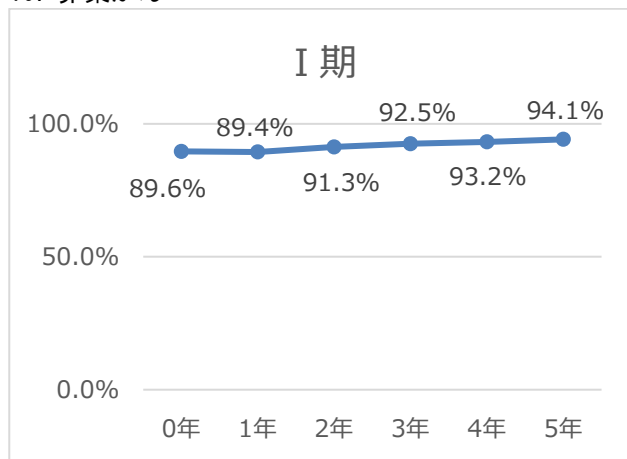
17. 腎がん



18. 腎盂尿管がん



19. 卵巣がん



付表一覽

付表 1 集計対象施設一覽

都道府県	施設名称
北海道	独立行政法人国立病院機構 北海道がんセンター
北海道	JA 北海道厚生連 旭川厚生病院
北海道	王子総合病院
北海道	JA 北海道厚生連 帯広厚生病院
北海道	北見赤十字病院
北海道	市立函館病院
北海道	函館厚生院 函館五稜郭病院
北海道	JA 北海道厚生連 札幌厚生病院
北海道	手稲溪仁会病院
北海道	独立行政法人労働者健康安全機構 釧路労災病院
青森	八戸市立市民病院
岩手	岩手県立中央病院
岩手	岩手県立二戸病院
岩手	岩手医科大学附属病院
岩手	岩手県立中部病院
岩手	岩手県立磐井病院
岩手	岩手県立宮古病院
岩手	岩手県立胆沢病院
岩手	岩手県立大船渡病院
岩手	岩手県立久慈病院
岩手	岩手県立釜石病院
宮城	東北大学病院
宮城	宮城県立がんセンター
宮城	石巻赤十字病院
宮城	仙台医療センター
宮城	大崎市民病院
宮城	独立行政法人労働者健康安全機構 東北労災病院
宮城	東北医科薬科大学病院
秋田	国立大学法人 秋田大学医学部附属病院
秋田	秋田県厚生農業協同組合連合会 由利組合総合病院
秋田	秋田県厚生農業協同組合連合会 大曲厚生医療センター
秋田	秋田県厚生農業協同組合連合会 能代厚生医療センター
秋田	秋田赤十字病院
秋田	秋田県厚生農業協同組合連合会 雄勝中央病院
秋田	大館市立総合病院
秋田	秋田県厚生農業協同組合連合会 秋田厚生医療センター
秋田	中通総合病院
秋田	市立秋田総合病院
山形	山形県立中央病院
山形	山形大学医学部附属病院
山形	山形市立病院済生館
山形	置賜広域病院企業団 公立置賜総合病院
山形	日本海総合病院
山形	鶴岡市立荘内病院
福島	労働者健康安全機構福島労災病院
福島	福島県立医科大学附属病院
福島	総合南東北病院
福島	会津中央病院
福島	白河厚生総合病院

都道府県	施設名称
茨城	茨城県立中央病院
茨城	筑波メディカルセンター病院・茨城県地域がんセンター
茨城	茨城県厚生農業協同組合連合会 総合病院土浦協同病院・茨城県地域がんセンター
茨城	東京医科大学茨城医療センター
茨城	友愛記念病院
茨城	筑波大学附属病院
茨城	国立病院機構水戸医療センター
茨城	株式会社 日立製作所 ひたちなか総合病院
茨城	水戸赤十字病院
栃木	地方独立行政法人栃木県立がんセンター
栃木	自治医科大学附属病院
栃木	栃木県済生会宇都宮病院
栃木	獨協医科大学病院
栃木	那須赤十字病院
栃木	足利赤十字病院
群馬	群馬大学医学部附属病院
群馬	独立行政法人国立病院機構 渋川医療センター
群馬	独立行政法人国立病院機構 高崎総合医療センター
群馬	桐生厚生総合病院
群馬	前橋赤十字病院
群馬	独立行政法人地域医療機能推進機構 群馬中央病院
群馬	群馬県済生会前橋病院
埼玉	さいたま赤十字病院
埼玉	埼玉県立がんセンター
埼玉	深谷赤十字病院
埼玉	春日部市立医療センター
埼玉	さいたま市立病院
埼玉	獨協医科大学埼玉医療センター
埼玉	川口市立医療センター
埼玉	埼玉医科大学国際医療センター
埼玉	社会福祉法人恩賜財団済生会支部埼玉県済生会川口総合病院
埼玉	上尾中央総合病院
埼玉	埼玉石心会病院
埼玉	戸田中央総合病院
千葉	国立研究開発法人 国立がん研究センター東病院
千葉	国保旭中央病院
千葉	医療法人鉄蕉会 亀田総合病院
千葉	国保直営総合病院 君津中央病院
千葉	千葉県がんセンター
千葉	独立行政法人労働者健康安全機構 千葉労災病院
千葉	船橋市立医療センター
千葉	独立行政法人国立病院機構 千葉医療センター
千葉	東京歯科大学市川総合病院
千葉	順天堂大学医学部附属浦安病院
千葉	東京慈恵会医科大学附属柏病院
千葉	松戸市立総合医療センター
千葉	日本医科大学千葉北総病院
東京	東京都立駒込病院
東京	市立青梅総合医療センター

都道府県	施設名称
東京	NTT 東日本関東病院
東京	日本赤十字社医療センター
東京	日本大学医学部附属板橋病院
東京	武蔵野赤十字病院
東京	がん研有明病院
東京	国立大学法人 東京大学医学部附属病院
東京	日本医科大学付属病院
東京	聖路加国際病院
東京	帝京大学医学部附属病院
東京	杏林大学医学部付属病院
東京	順天堂大学医学部附属 順天堂医院
東京	昭和大学病院
東京	慶應義塾大学病院
東京	東京都立多摩総合医療センター
東京	公立昭和病院
東京	虎の門病院
東京	独立行政法人国立病院機構東京医療センター
東京	東京医科歯科大学病院
東京	日本医科大学多摩永山病院
東京	地方独立行政法人 東京都立病院機構 東京都立大塚病院
東京	東京都立墨東病院
東京	東大和病院
神奈川	神奈川県立がんセンター
神奈川	国家公務員共済組合連合会 横須賀共済病院
神奈川	横浜市立市民病院
神奈川	川崎市立井田病院
神奈川	公立大学法人 横浜市立大学附属病院
神奈川	聖マリアンナ医科大学病院
神奈川	北里大学病院
神奈川	横浜労災病院
神奈川	昭和大学横浜市北部病院
神奈川	大和市立病院
神奈川	国家公務員共済組合連合会横浜南共済病院
神奈川	済生会横浜市東部病院
神奈川	横浜市立大学附属市民総合医療センター
新潟	新潟県立がんセンター新潟病院
新潟	新潟県立中央病院
新潟	長岡赤十字病院
新潟	新潟県厚生農業協同組合連合会 長岡中央総合病院
新潟	県立新発田病院
富山	富山県立中央病院
富山	黒部市民病院
富山	独立行政法人労働者健康安全機構富山労災病院
富山	国立大学法人 富山大学附属病院
富山	厚生連高岡病院
石川	国立大学法人金沢大学附属病院
石川	独立行政法人国立病院機構 金沢医療センター
石川	石川県立中央病院
石川	金沢医科大学病院

都道府県	施設名称
石川	社会医療法人財団董仙会 恵寿総合病院
石川	独立行政法人 地域医療機能推進機構 金沢病院
福井	福井県立病院
福井	社会福祉法人恩賜財団済生会支部 福井県済生会病院
福井	福井赤十字病院
福井	福井大学医学部附属病院
山梨	山梨県立中央病院
山梨	国立大学法人 山梨大学医学部附属病院
山梨	国民健康保険 富士吉田市立病院
山梨	市立甲府病院
長野	長野県厚生農業協同組合連合会 佐久総合病院 佐久医療センター
長野	国立大学法人 信州大学医学部附属病院
長野	諏訪赤十字病院
長野	長野市民病院
長野	長野赤十字病院
長野	社会医療法人財団慈泉会 相澤病院
長野	伊那中央病院
岐阜	岐阜市民病院
岐阜	岐阜大学医学部附属病院
岐阜	高山赤十字病院
岐阜	岐阜県総合医療センター
岐阜	岐阜県立多治見病院
岐阜	大垣市民病院
岐阜	松波総合病院
静岡	静岡県立静岡がんセンター
静岡	静岡県立総合病院
静岡	社会福祉法人 聖隷福祉事業団 総合病院 聖隷三方原病院
静岡	社会福祉法人 聖隷福祉事業団 総合病院 聖隷浜松病院
静岡	沼津市立病院
静岡	順天堂大学医学部附属静岡病院
静岡	静岡市立静岡病院
静岡	浜松医科大学医学部附属病院
静岡	浜松医療センター
静岡	磐田市立総合病院
静岡	富士市立中央病院
静岡	焼津市立総合病院
静岡	静岡済生会総合病院
愛知	愛知県がんセンター
愛知	愛知県厚生農業協同組合連合会 安城更生病院
愛知	海南病院
愛知	独立行政法人国立病院機構名古屋医療センター
愛知	小牧市民病院
愛知	豊橋市民病院
愛知	一宮市立市民病院
愛知	公立陶生病院
愛知	愛知県厚生農業協同組合連合会 豊田厚生病院
愛知	名古屋市立大学病院
愛知	日本赤十字社愛知医療センター名古屋第一病院
愛知	日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院

都道府県	施設名称
愛知	藤田医科大学病院
愛知	春日井市民病院
愛知	愛知医科大学病院
愛知	独立行政法人労働者健康安全機構 中部労災病院
三重	伊勢赤十字病院
三重	済生会松阪総合病院
滋賀	市立長浜病院
滋賀	滋賀医科大学医学部附属病院
京都	京都府立医科大学附属病院
京都	京都桂病院
京都	京都市立病院
京都	京都第一赤十字病院
京都	京都第二赤十字病院
京都	独立行政法人国立病院機構 京都医療センター
京都	市立福知山市民病院
京都	京都中部総合医療センター
大阪	大阪府立病院機構 大阪急性期・総合医療センター
大阪	市立岸和田市民病院
大阪	地方独立行政法人市立東大阪医療センター
大阪	市立豊中病院
大阪	地方独立行政法人大阪府立病院機構 大阪国際がんセンター
大阪	地方独立行政法人大阪市民病院機構大阪市立総合医療センター
大阪	大阪赤十字病院
大阪	独立行政法人国立病院機構 大阪南医療センター
大阪	独立行政法人労働者健康安全機構大阪労災病院
大阪	大阪医科薬科大学病院
大阪	大阪公立大学医学部附属病院
大阪	関西医科大学附属病院
大阪	独立行政法人国立病院機構 大阪医療センター
大阪	地方独立行政法人 市立吹田市民病院
大阪	大阪府済生会千里病院
大阪	箕面市立病院
大阪	社会福祉法人恩賜財団大阪府済生会野江病院
大阪	独立行政法人地域医療機能推進機構 大阪病院
大阪	大阪警察病院
大阪	市立貝塚病院
兵庫	兵庫県立がんセンター
兵庫	神戸大学医学部附属病院
兵庫	神戸市立医療センター中央市民病院
兵庫	独立行政法人 労働者健康安全機構 関西労災病院
兵庫	姫路赤十字病院
兵庫	赤穂市民病院
兵庫	公立豊岡病院組合立豊岡病院
兵庫	兵庫県立淡路医療センター
兵庫	兵庫医科大学病院
兵庫	兵庫県立丹波医療センター
兵庫	神鋼記念病院
奈良	奈良県立医科大学附属病院
奈良	奈良県総合医療センター

都道府県	施設名称
奈良	天理よろづ相談所病院
奈良	近畿大学奈良病院
奈良	市立奈良病院
奈良	大和高田市立病院
奈良	社会福祉法人恩賜財団 済生会中和病院
和歌山	日本赤十字社和歌山医療センター
和歌山	和歌山県立医科大学附属病院
和歌山	橋本市民病院
鳥取	鳥取県立厚生病院
鳥取	独立行政法人国立病院機構 米子医療センター
鳥取	鳥取県立中央病院
鳥取	鳥取市立病院
鳥取	鳥取大学医学部附属病院
島根	松江市立病院
島根	松江赤十字病院
島根	島根大学医学部附属病院
島根	島根県立中央病院
島根	独立行政法人国立病院機構 浜田医療センター
岡山	岡山済生会総合病院
岡山	岡山赤十字病院
岡山	岡山大学病院
岡山	公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構 倉敷中央病院
岡山	津山中央病院
岡山	岡山医療センター
岡山	川崎医科大学附属病院
岡山	岡山市立市民病院
岡山	一般財団法人 倉敷成人病センター
広島	県立広島病院
広島	広島赤十字・原爆病院
広島	独立行政法人国立病院機構 呉医療センター
広島	東広島医療センター
広島	JA 尾道総合病院
広島	福山市民病院
広島	国家公務員共済組合連合会 呉共済病院
広島	公立学校共済組合 中国中央病院
山口	山口県立総合医療センター
山口	国立病院機構 岩国医療センター
山口	山口県厚生農業協同組合連合会周東総合病院
山口	独立行政法人地域医療機能推進機構徳山中央病院
山口	山口大学医学部附属病院
山口	医療法人医誠会 都志見
徳島	徳島県立中央病院
徳島	徳島大学病院
徳島	徳島赤十字病院
香川	香川県立中央病院
香川	独立行政法人労働者健康安全機構香川労災病院
香川	三豊総合病院
香川	高松赤十字病院
香川	国立大学法人 香川大学医学部附属病院

都道府県	施設名称
愛媛	市立宇和島病院
愛媛	愛媛大学医学部附属病院
愛媛	愛媛県立中央病院
愛媛	松山赤十字病院
愛媛	社会福祉法人恩賜財団済生会今治病院
高知	国立大学法人 高知大学医学部附属病院
高知	高知県・高知市病院企業団立 高知医療センター
高知	高知赤十字病院
高知	高知県立幡多けんみん病院
福岡	久留米大学病院
福岡	公立八女総合病院
福岡	地方独立行政法人大牟田市立病院
福岡	社会保険田川病院
福岡	飯塚病院
福岡	独立行政法人国立病院機構 福岡東医療センター
福岡	北九州市立医療センター
福岡	独立行政法人国立病院機構九州がんセンター
福岡	国立大学法人 九州大学病院
福岡	独立行政法人国立病院機構九州医療センター
福岡	福岡県済生会福岡総合病院
福岡	福岡大学病院
福岡	聖マリア病院
福岡	独立行政法人地域医療機能推進機構 九州病院
福岡	産業医科大学病院
福岡	戸畑共立病院
福岡	国家公務員共済組合連合会 浜の町病院
福岡	公立学校共済組合 九州中央病院
佐賀	地方独立行政法人 佐賀県医療センター好生館
佐賀	国立大学法人 佐賀大学医学部附属病院
佐賀	唐津赤十字病院
佐賀	独立行政法人国立病院機構 嬉野医療センター
長崎	日本赤十字社長崎原爆病院
長崎	地方独立行政法人 佐世保市総合医療センター
長崎	独立行政法人国立病院機構長崎医療センター
長崎	国立大学法人 長崎大学病院
長崎	長崎県島原病院
長崎	独立行政法人地域医療機能推進機構 諫早総合病院
長崎	佐世保中央病院
熊本	熊本大学病院
熊本	独立行政法人労働者健康安全機構 熊本労災病院
熊本	人吉医療センター
熊本	熊本赤十字病院
熊本	国立病院機構 熊本医療センター
熊本	荒尾市立有明医療センター
熊本	国家公務員共済組合連合会 熊本中央病院
熊本	大腸肛門病センター高野病院
熊本	天草地域医療センター
熊本	熊本地域医療センター
大分	大分県立病院

都道府県	施設名称
大分	大分赤十字病院
大分	大分大学医学部附属病院
大分	大分県済生会日田病院
宮崎	宮崎県立宮崎病院
宮崎	国立病院機構 都城医療センター
鹿児島	鹿児島大学病院
鹿児島	国立病院機構 鹿児島医療センター
鹿児島	鹿児島県立薩南病院
鹿児島	独立行政法人国立病院機構南九州病院
鹿児島	県民健康プラザ鹿屋医療センター
鹿児島	鹿児島市立病院
鹿児島	公益社団法人 昭代会 いまきいれ総合病院
鹿児島	出水郡医師会広域医療センター
鹿児島	鹿児島市医師会病院
沖縄	地方独立行政法人那覇市立病院
沖縄	沖縄県立中部病院
沖縄	琉球大学病院
沖縄	社会医療法人かりゆし会 ハートライフ病院

関係者一覧

【監修】

松田 智大 国立がん研究センターがん対策研究所がん登録センター

石井 太祐 国立がん研究センターがん対策研究所がん登録センター院内がん登録分析室

【解析・執筆・編集】

石井 太祐 国立がん研究センターがん対策研究所がん登録センター院内がん登録分析室

渡部 万里 国立がん研究センターがん対策研究所がん登録センター院内がん登録分析室

新藤 奈奈世 国立がん研究センターがん対策研究所がん登録センター院内がん登録分析室

水落 美香 国立がん研究センターがん対策研究所がん登録センター院内がん登録分析室

【データ収集】

近藤 誓哉 国立がん研究センターがん対策研究所がん登録センター院内がん登録室

院内がん登録生存率集計事務局

国立がん研究センター がん対策研究所 がん登録センター院内がん登録分析室

担当：石井、渡部、新藤

〒104-0045 東京都中央区築地 5-1-1

電話:03-3547-5201(内線 1600)

メールアドレス:hbcr_analysis@ml.res.ncc.go.jp

院内がん登録 2012年10年生存率集計 報告書

2025年2月第1刷発行(非売品)

編集 松田智弘 石井太祐
発行 国立研究開発法人 国立がん研究センター
がん対策研究所 がん登録センター
問い合わせ先: 院内がん登録分析室
〒104-0045 東京都中央区築地五丁目1番1号
電話 03-3542-2511